

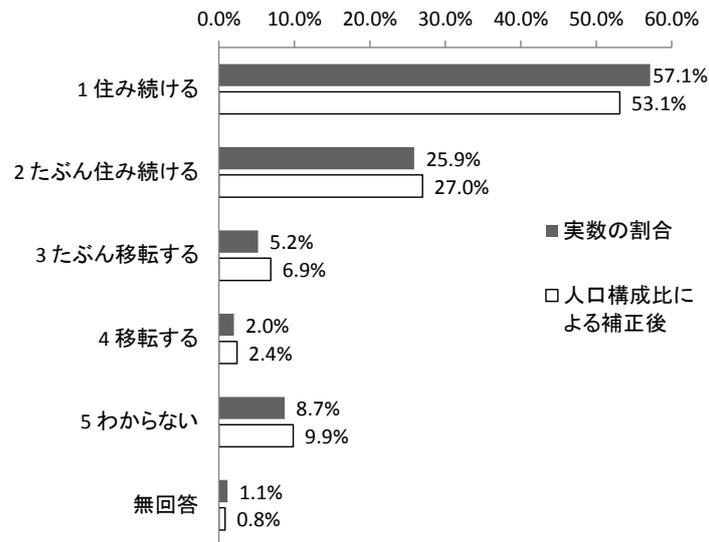
第2章 結果の概要

【1】あなたの今後における平塚市への居留意向などについて

(問1) あなたは、今後も平塚市に住み続けようと思いますか。(〇は1つ)

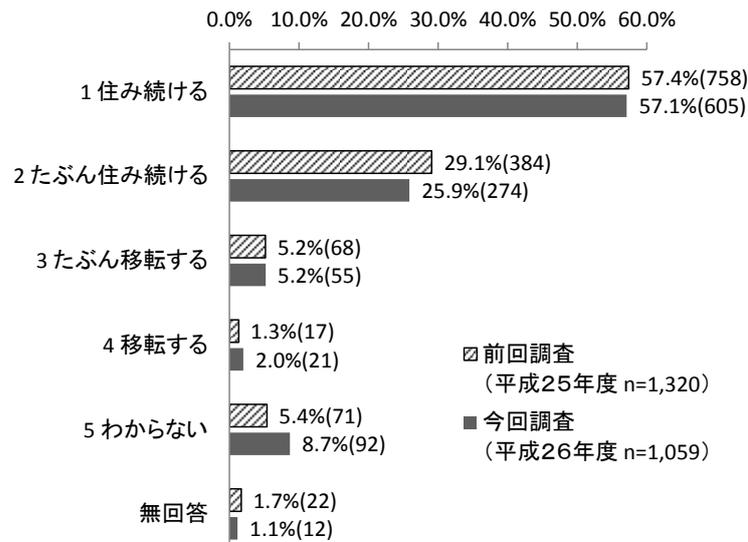
【全体の傾向】

平塚市への居留意向については、「1 住み続ける」が57.1%と最も多く、「2 たぶん住み続ける」の25.9%を合わせると83.0%となり、大半を占めている。また、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた市外への『移転意向』は7.2%となっている。



【前回調査との比較】

「2 たぶん住み続ける」が3.2ポイント減少し、「5 わからない」が3.3ポイント増加したが、前回調査と比較して全体的な傾向に変化は見られない。

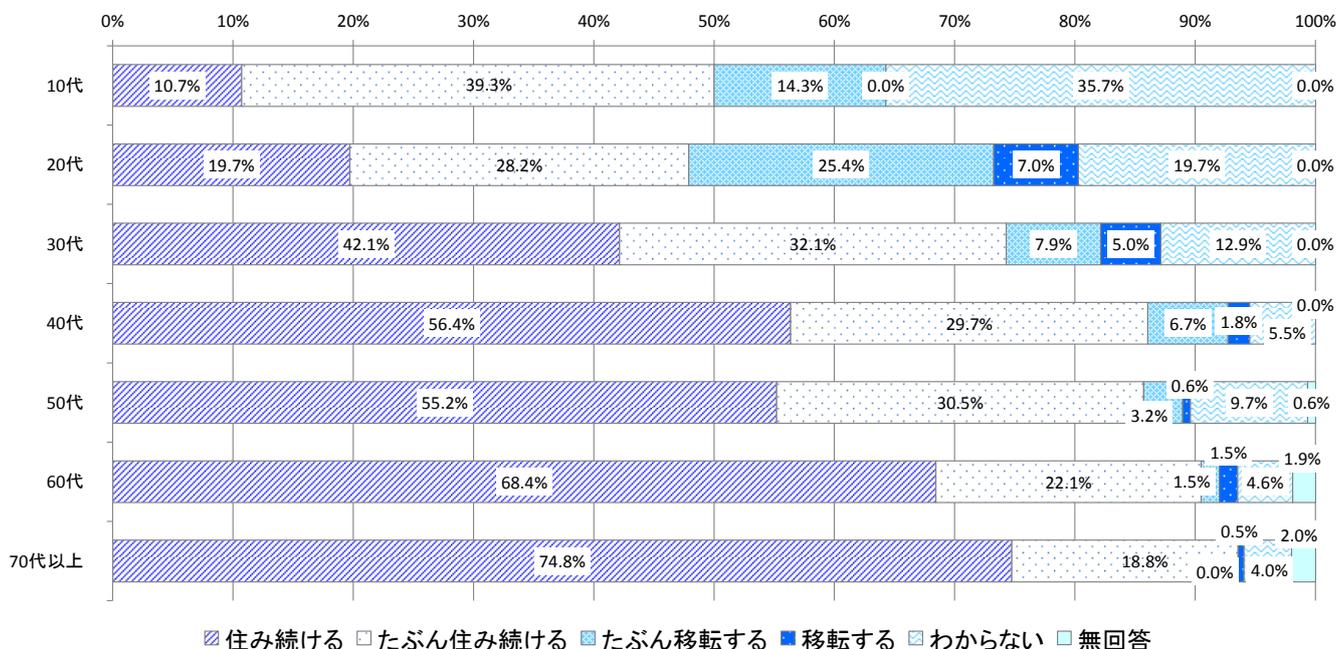


【注：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

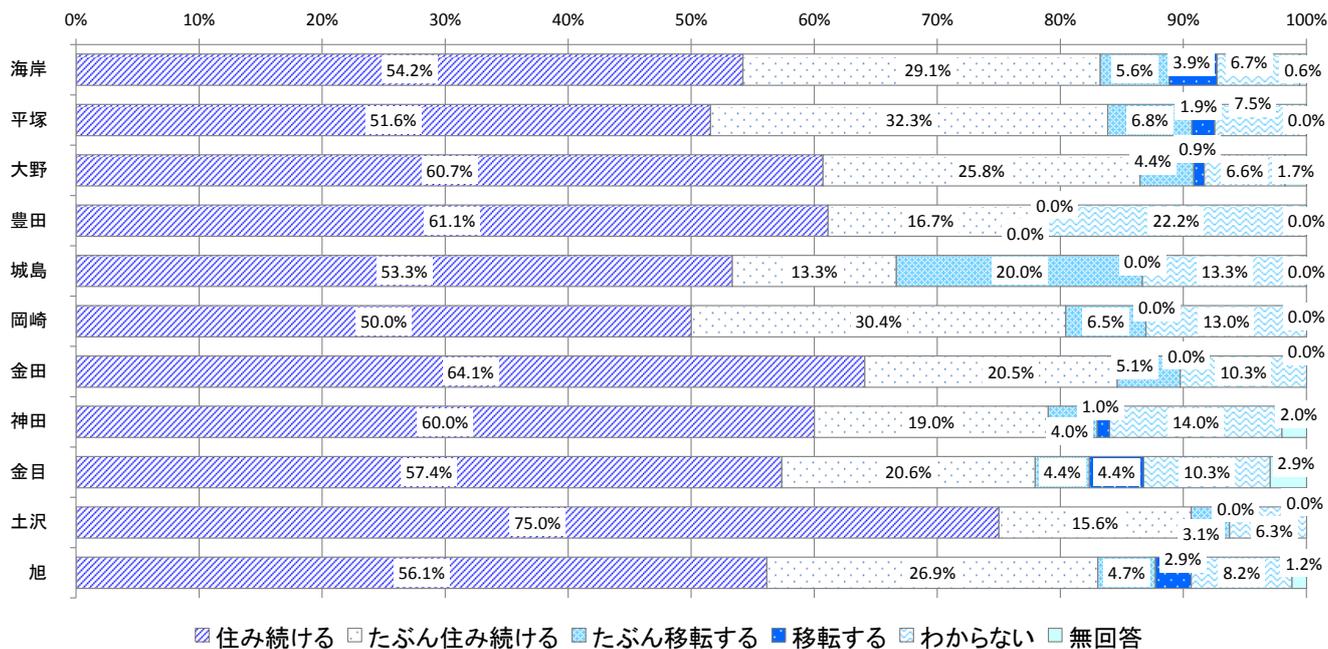
「1 住み続ける」と「2 たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』は、10代では50.0%、20代では47.9%となっているが、年代が上がるにしたがって増加する傾向にある。

一方、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた『移転意向』は20代が最も高く32.4%となっている。次いで、10代が14.3%と続いている。



【地区別の傾向】

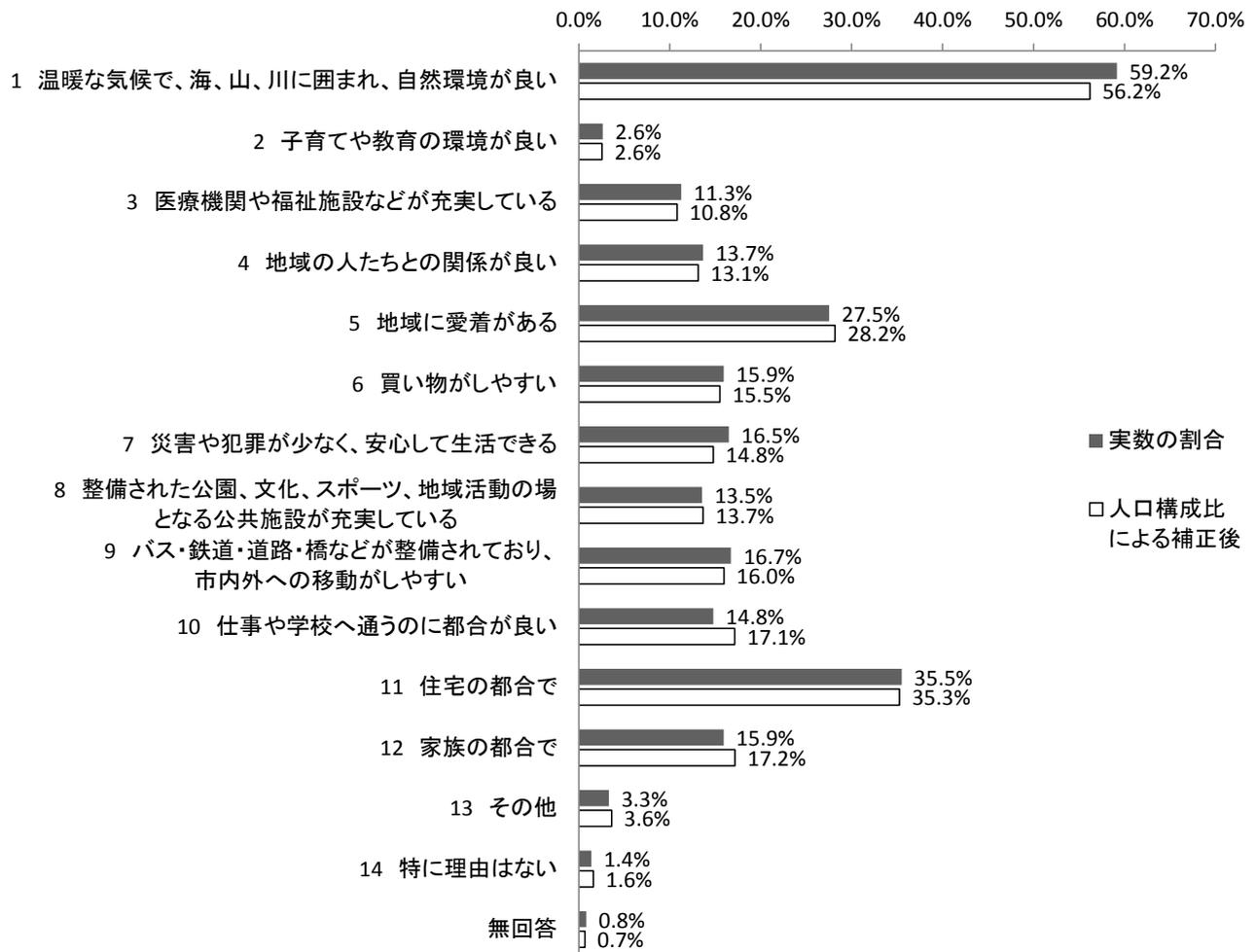
土沢地区では「1 住み続ける」と「2 たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』が高く、90%を超えている。一方、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた『移転意向』は城島地区が20.0%となり、最も高くなっている。



(問2)(問1)で「1」又は「2」と答えた方。平塚市に住み続けようと思う主な理由はどのようなことですか。(〇は3つまで)

【全体の傾向】

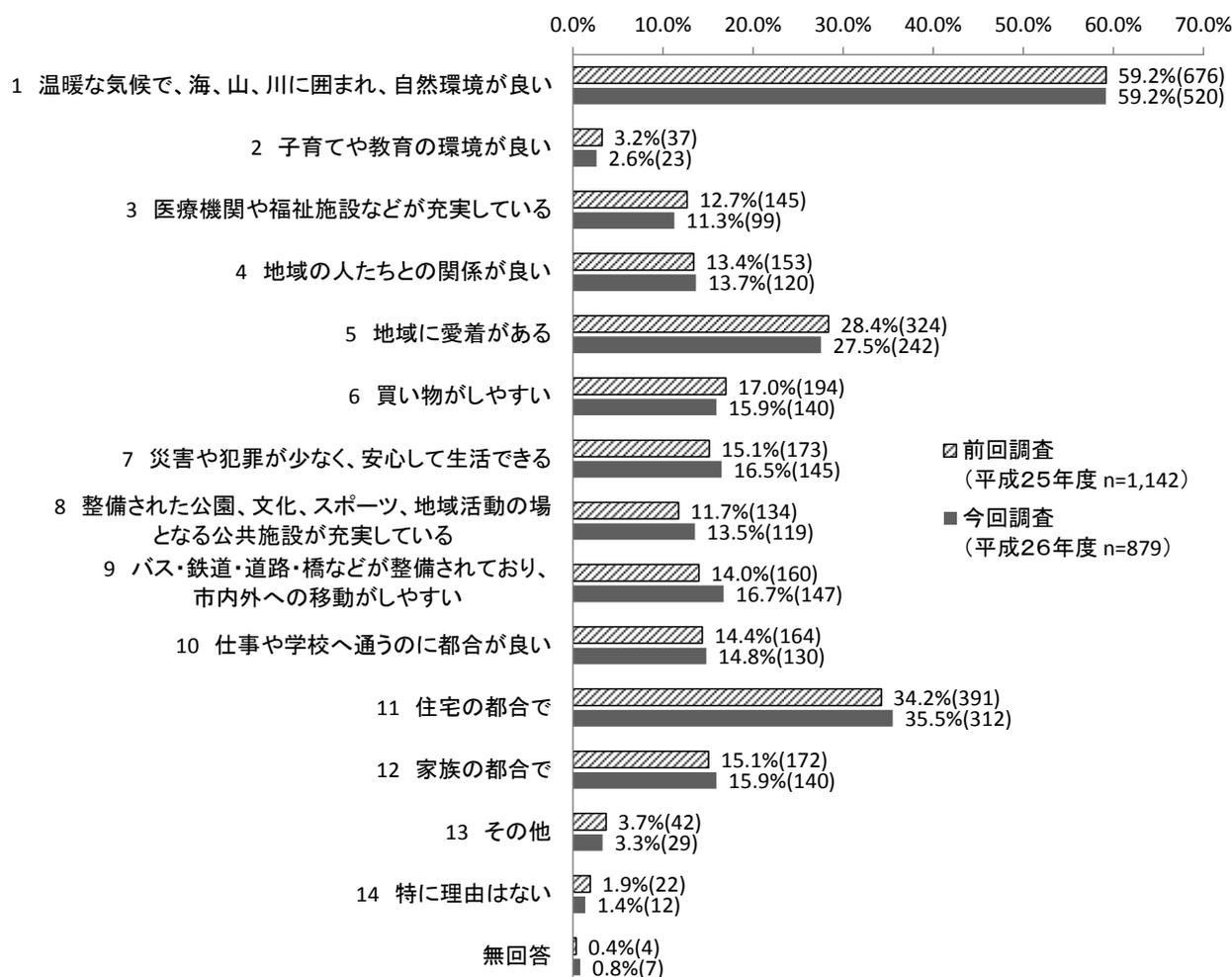
平塚市に住み続けようと思う主な理由は「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が59.2%で、最も高くなっている。次いで、「11 住宅の都合で」が35.5%、「5 地域に愛着がある」が27.5%と続いている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と最も異なった項目でも「9 バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい」の2.7ポイント差（増加）であり、全体的な傾向に変化はない。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

20代や40代以上では「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が平塚市に住み続けようと思う主な理由で最も高くなった。また、30代では「11 住宅の都合で」が最も高く42.3%となった。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	地域に愛着がある／仕事や学校へ通うのに都合が良い 35.7%		温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い／バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 28.6%		地域の人たちとの関係が良い 21.4%
20代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い／地域に愛着がある／仕事や学校へ通うのに都合が良い 38.2%			家族の都合で 26.5%	整備された公園、文化、スポーツ、地域活動の場となる公共施設が充実している 17.6%
30代	住宅の都合で 42.3%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い／地域に愛着がある 29.8%		仕事や学校へ通うのに都合が良い 28.8%	家族の都合で 27.9%
40代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 46.5%	住宅の都合で 45.8%	地域に愛着がある 29.6%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 23.9%	家族の都合で 19.7%
50代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 62.1%	住宅の都合で 47.7%	地域に愛着がある 23.5%	家族の都合で 22.7%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 20.5%
60代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 69.3%	住宅の都合で 32.8%	地域に愛着がある 26.9%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 23.5%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 23.1%
70代以上	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 74.6%	住宅の都合で 26.5%	地域に愛着がある 25.9%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 24.9%	医療機関や福祉施設などが充実している 20.6%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

10の地区で「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高くなり、9つの地区で5割を超えている。

また、9つの地区で「11 住宅の都合で」が1位又は2位になっている。中でも、城島地区、金田地区では5割を超えている。

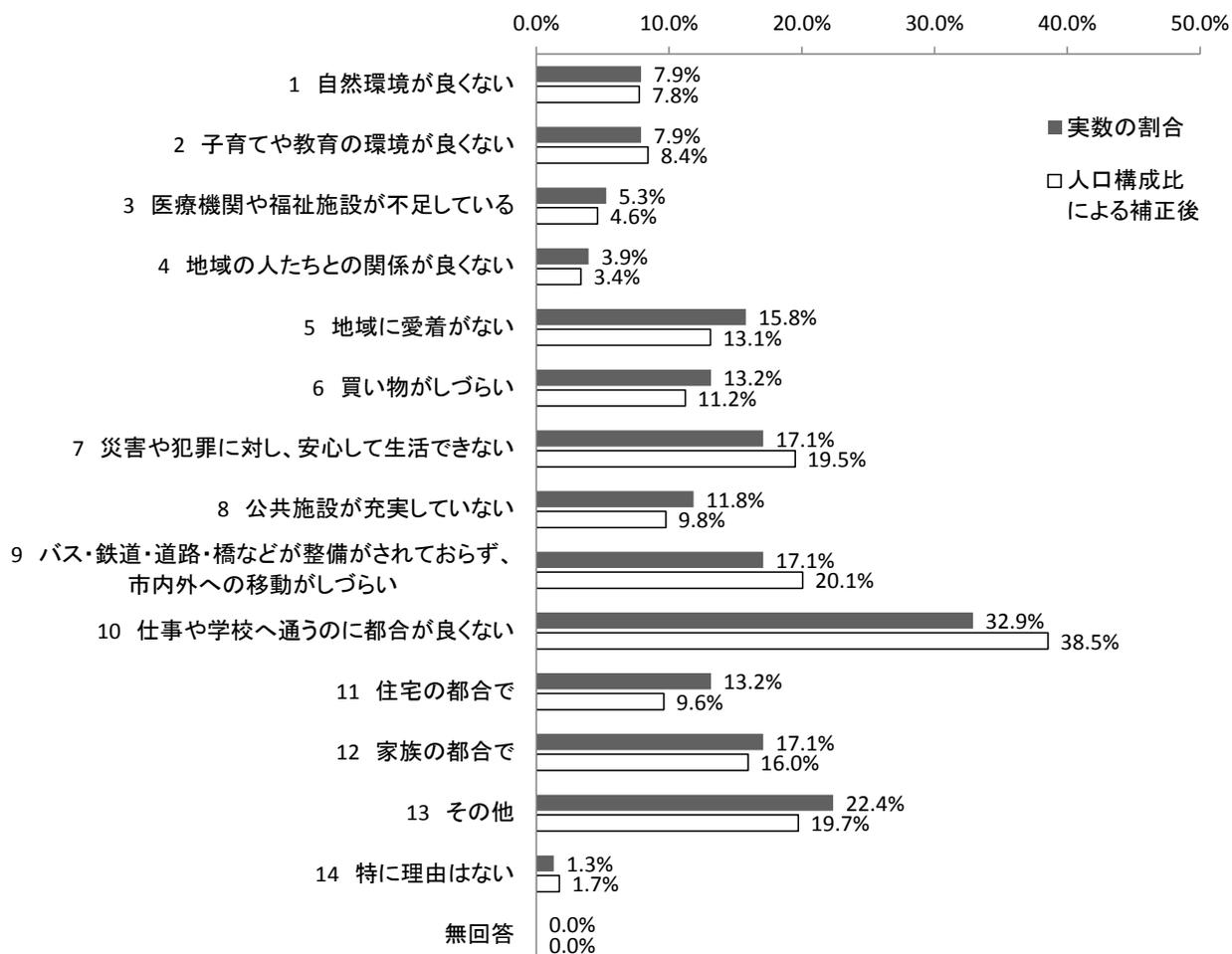
	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 66.4%	地域に愛着がある 33.6%	住宅の都合で 32.2%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 20.8%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 20.1%
平塚	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 58.5%	住宅の都合で 37.0%	地域に愛着がある 21.5%	整備された公園、文化、スポーツ、地域活動の場となる公共施設が充実している 20.0%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 17.0%
大野	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 52.5%	住宅の都合で 30.3%	地域に愛着がある 24.2%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 18.7%	買い物がしやすい 18.2%
豊田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 57.1%	地域の人たちとの関係が良い／地域に愛着がある／住宅の都合で 28.6%			災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 21.4%
城島	住宅の都合で 60.0%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 50.0%	地域の人たちとの関係が良い 30.0%	地域に愛着がある／災害や犯罪が少なく、安心して生活できる／仕事や学校へ通うのに都合が良い 20.0%	
岡崎	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 64.9%	住宅の都合で 43.2%	地域に愛着がある 24.3%	地域の人たちとの関係が良い 18.9%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 16.2%
金田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 63.6%	住宅の都合で 51.5%	地域に愛着がある 27.3%	医療機関や福祉施設などが充実している／地域の人たちとの関係が良い／買い物がしやすい／バス・鉄道・道路・橋などが整備 12.1%	
神田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 62.0%	地域に愛着がある 35.4%	住宅の都合で 31.6%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 27.8%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 20.3%
金目	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 49.1%	住宅の都合で 32.1%	地域に愛着がある 28.3%	地域の人たちとの関係が良い／仕事や学校へ通うのに都合が良い／家族の都合で 17.0%	
土沢	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 48.3%	住宅の都合で 41.4%	地域に愛着がある／家族の都合で 31.0%		災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 27.6%
旭	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 64.1%	住宅の都合で 40.1%	地域に愛着がある 27.5%	買い物がしやすい 23.2%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 16.9%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

(問3) (問1) で「3」又は「4」と答えた方。市外に移転しようと思う主な理由はどのようなことですか。(〇は3つまで)

【全体の傾向】

問1で市外への移転意向を持つと答えた7.2%の方に聞いたところ、その理由としては「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が32.9%と最も高くなった。次いで、「7 災害や犯罪に対し、安心して生活できない」、「9 バス・鉄道・道路・橋などが整備されておらず、市内外への移動がしづらい」、「12 家族の都合で」が17.1%と続いている。

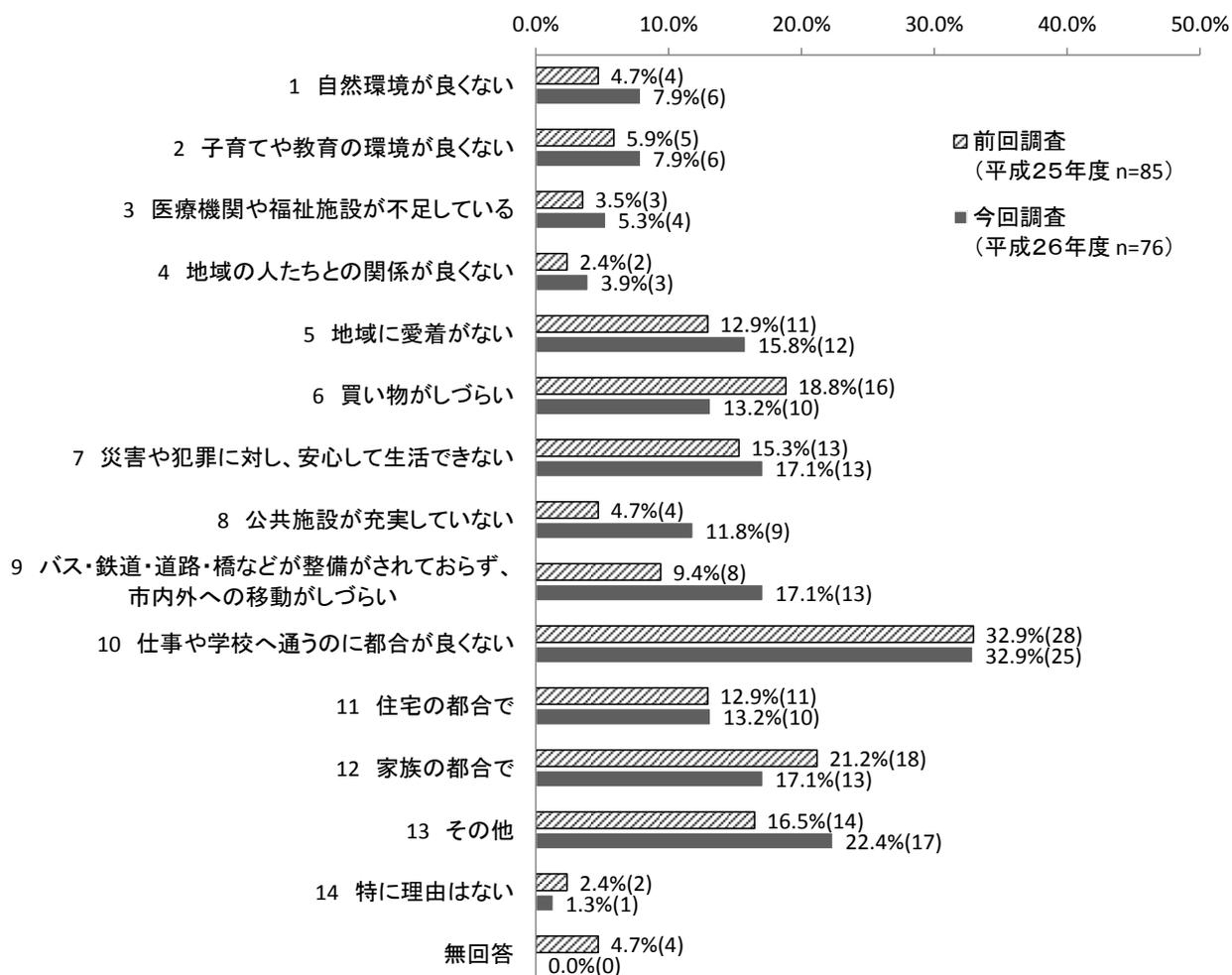


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較して変化が見られた項目は、「9 バス・鉄道・道路・橋などが整備されておらず、市内外への移動がしづらい」が7.7ポイント、「8 公共施設が充実していない」が7.1ポイント増加しているが、実数としての差は小さい。

前回調査で理由として高かった「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」や「12 家族の都合で」は、今回の調査でも高い結果となった。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

10代から30代までは主な理由として「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が最も高かった。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 50.0%	地域に愛着がない／買い物がしづらい／災害や犯罪に対し、安心して生活できない／バス・鉄道・道路・橋などが整備がされておらず、市内外への移動がしづらい／特に理由はない			25.0%
20代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 56.5%	災害や犯罪に対し、安心して生活できない／バス・鉄道・道路・橋などが整備がされておらず、市内外への移動がしづらい 26.1%	その他 17.4%	家族の都合で 13.0%	
30代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 33.3%	家族の都合で 27.8%	バス・鉄道・道路・橋などが整備がされておらず、市内外への移動がしづらい 22.2%	子育てや教育の環境が良くない／地域に愛着がない／災害や犯罪に対し、安心して生活できない／住宅の都合で 16.7%	
40代	買い物がしづらい 35.7%	医療機関や福祉施設が不足している／地域に愛着がない／公共施設が充実していない			仕事や学校へ通うのに都合が良くない／その他 21.4%
50代	その他 50.0%	住宅の都合で／家族の都合で 33.3%		自然環境が良くない 16.7%	
60代	その他 62.5%	公共施設が充実していない 37.5%	地域に愛着がない／買い物がしづらい／家族の都合で 25.0%		
70代以上	地域の人たちとの関係が良くない／災害や犯罪に対し、安心して生活できない 100.0%				

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

11 地区中7つの地区で「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が最も高くなっている。

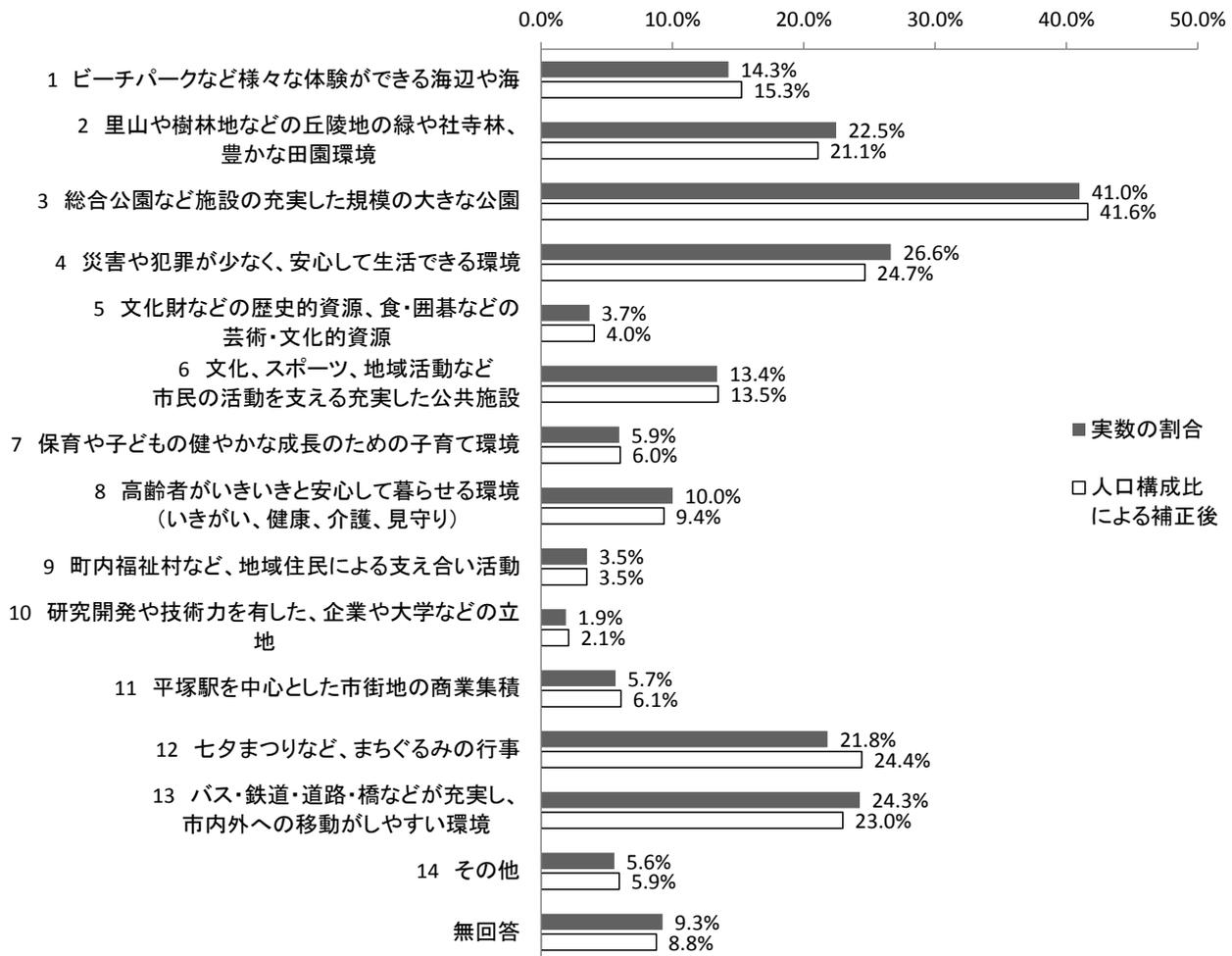
	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 41.2%	バス・鉄道・道路・橋などが整備がされておらず、市内外への移動がしづらい／住宅の都合で 23.5%		地域に愛着がない／買い物がしづらい／災害や犯罪に対し、安心して生活できない／公共施設が充実していない／その他 17.6%	
平塚	子育てや教育の環境が良くない／買い物がしづらい／災害や犯罪に対し、安心して生活できない／仕事や学校へ通うのに都合が良くない／家族の都合で 28.6%				
大野	家族の都合で／その他 41.7%		仕事や学校へ通うのに都合が良くない／住宅の都合で 16.7%		自然環境が良くない 8.3%
豊田					
城島	買い物がしづらい／バス・鉄道・道路・橋などが整備がされておらず、市内外への移動がしづらい／仕事や学校へ通うのに都合が良くない／家族の都合で／その他 33.3%				
岡崎	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 66.7%	地域に愛着がない／バス・鉄道・道路・橋などが整備がされておらず、市内外への移動がしづらい 33.3%			
金田	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 100.0%	自然環境が良くない／家族の都合で 50.0%			
神田	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 40.0%	医療機関や福祉施設が不足している／買い物がしづらい／災害や犯罪に対し、安心して生活できない／公共施設が充実していない／住宅の都合で 20.0%			
金目	その他 50.0%	地域に愛着がない／買い物がしづらい／災害や犯罪に対し、安心して生活できない／公共施設が充実していない／バス・鉄道・道路・橋などが整備がされておらず、市内外への移動がしづらい／仕事や学校へ通うのに都合が良くない／住宅の都合で 16.7%			
土沢	地域に愛着がない／公共施設が充実していない／バス・鉄道・道路・橋などが整備がされておらず、市内外への移動がしづらい 100.0%				
旭	災害や犯罪に対し、安心して生活できない／仕事や学校へ通うのに都合が良くない 30.8%		自然環境が良くない／その他 23.1%		地域の人たちとの関係が良くない 15.4%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

(問4) あなたが平塚市に魅力や誇りを感じるのは、どのようなことですか。(〇は3つまで)

【全体の傾向】

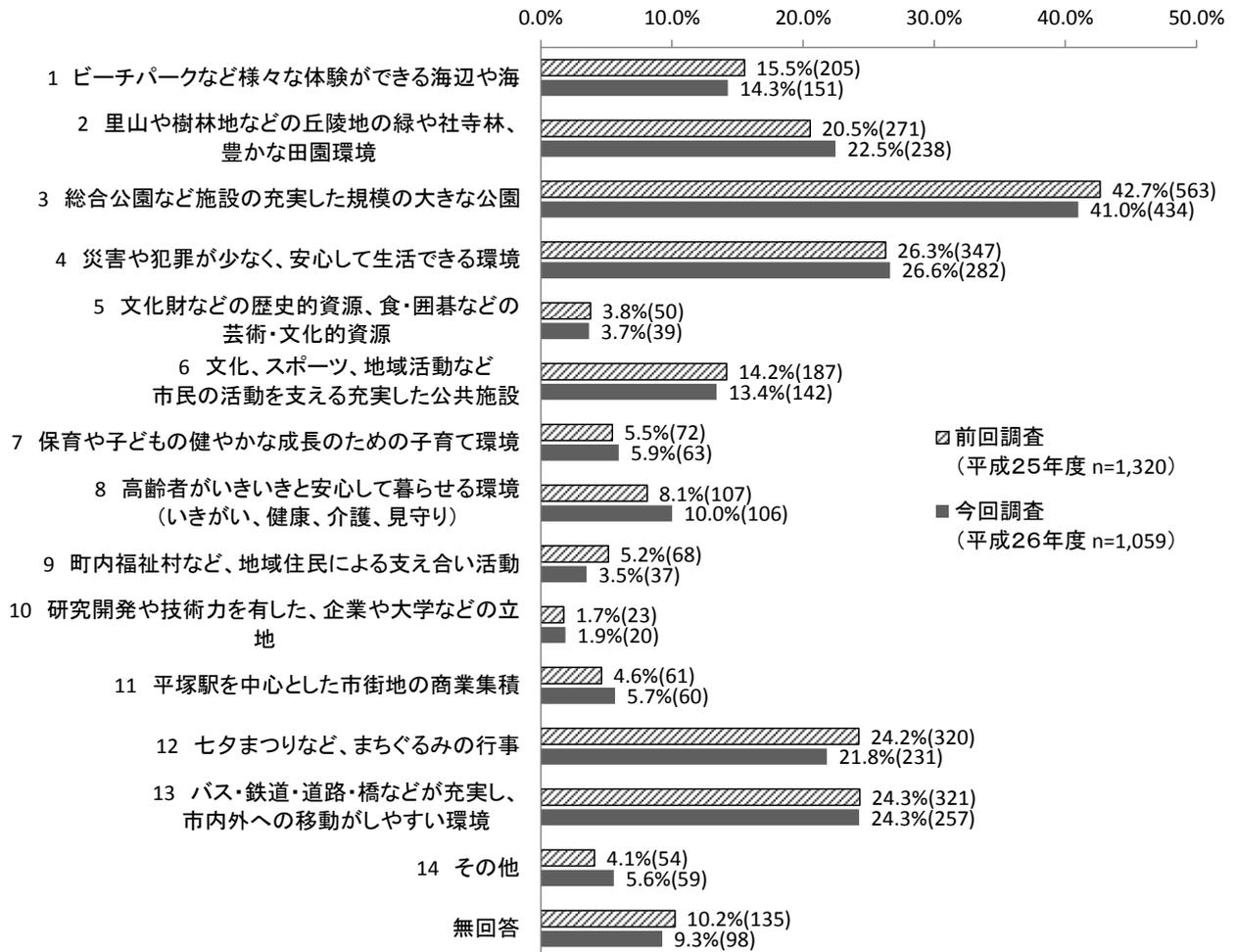
「3 総合公園など施設の充実した規模の大きな公園」が41.0%と最も高くなっている。次いで、「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」が26.6%、「13 バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境」が24.3%と続いている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

今回の調査で最も高くなった「3 総合公園など施設の充実した規模の大きな公園」は前回調査においても最も高く、他の項目も前回調査と同様の傾向となった。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

「3 総合公園など施設の充実した規模の大きな公園」はどの年代においても1位又は2位となっており、幅広い年代で平塚市の魅力と感じられている。

「12 七夕まつり等、まちぐるみの行事」は10代から40代で上位に、「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」は60代以上で上位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 57.1%	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 32.1%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境／バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 25.0%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 10.7%	
20代	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 49.3%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 35.2%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 21.1%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 15.5%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 14.1%
30代	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 44.3%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 33.6%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 20.7%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 18.6%	保育や子どもの健やかな成長のための子育て環境 13.6%
40代	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 40.0%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 25.5%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 19.4%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 17.6%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 16.4%
50代	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 42.2%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 29.2%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 27.3%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 24.0%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 16.9%
60代	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 39.2%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 33.1%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 28.5%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 27.4%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 16.3%
70代以上	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 47.0%	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 40.1%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 30.7%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 23.8%	高齢者がいきいきと安心して暮らせる環境（いきがい、健康、介護、見守り） 21.8%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

「3 総合公園など施設の充実した規模の大きな公園」はどの地区においても1位又は2位となっている。

また、「2 里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境」は全11地区中6つの地区で最も高くなっているが、駅周辺地区では他の地区よりも順位が低くなっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 34.6%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 31.8%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 26.8%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 26.3%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 22.3%
平塚	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 37.3%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 28.0%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 24.2%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 21.7%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 15.5%
大野	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 55.9%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 25.8%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 24.5%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 24.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 14.0%
豊田	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 61.1%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 38.9%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 27.8%	高齢者がいきいきと安心して暮らせる環境(いきがい、健康、介護、見守り)／七夕まつりなど、まちぐるみの行事／バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 22.2%	
城島	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 53.3%	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 33.3%	高齢者がいきいきと安心して暮らせる環境(いきがい、健康、介護、見守り) 26.7%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境／文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設／無回答 13.3%	
岡崎	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 34.8%	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 32.6%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 30.4%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 21.7%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 19.6%
金田	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 38.5%	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 35.9%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 23.1%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事／バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 15.4%	
神田	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 35.0%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 30.0%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 28.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 24.0%	文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設 17.0%
金目	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 32.4%	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 30.9%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境／七夕まつりなど、まちぐるみの行事 29.4%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 17.6%	
土沢	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 62.5%	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園／災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 37.5%	高齢者がいきいきと安心して暮らせる環境(いきがい、健康、介護、見守り)／七夕まつりなど、まちぐるみの行事／バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 18.8%		
旭	総合公園など施設の充実した規模の大きな公園 41.5%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 32.2%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 28.7%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 28.1%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 16.4%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

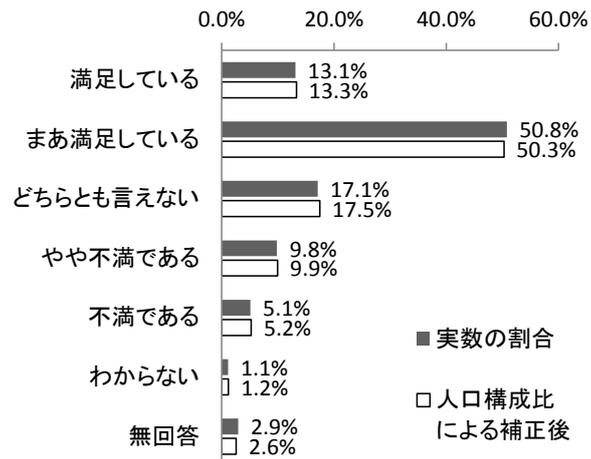
【2】 生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて

（問5）あなたは、現在のご自分の生活にどの程度満足していますか。（〇は1つ）

【全体の傾向】

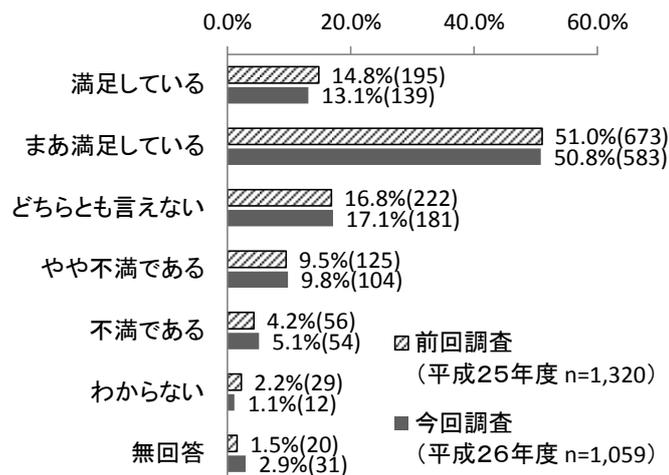
「2 まあ満足している」が50.8%で最も高く、「1 満足している」の13.1%と合わせると6割以上の人が満足している。

一方、「4 やや不満である」と「5 不満である」と回答した人は、合わせて14.9%であった。



【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「満足している」と「まあ満足している」の合計では、1.9ポイント減少し、「不満である」と「やや不満である」の合計では、1.2ポイント増加した。

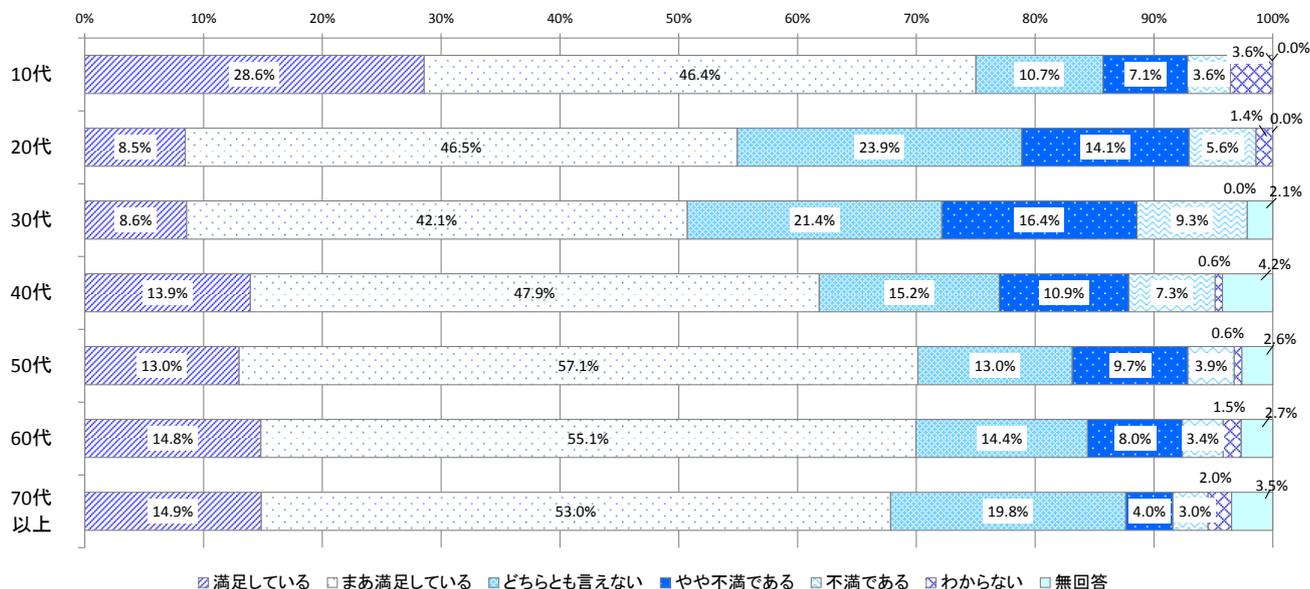


【注：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、10代が75.0%と最も高く、30代が50.7%と最も低くなっている。

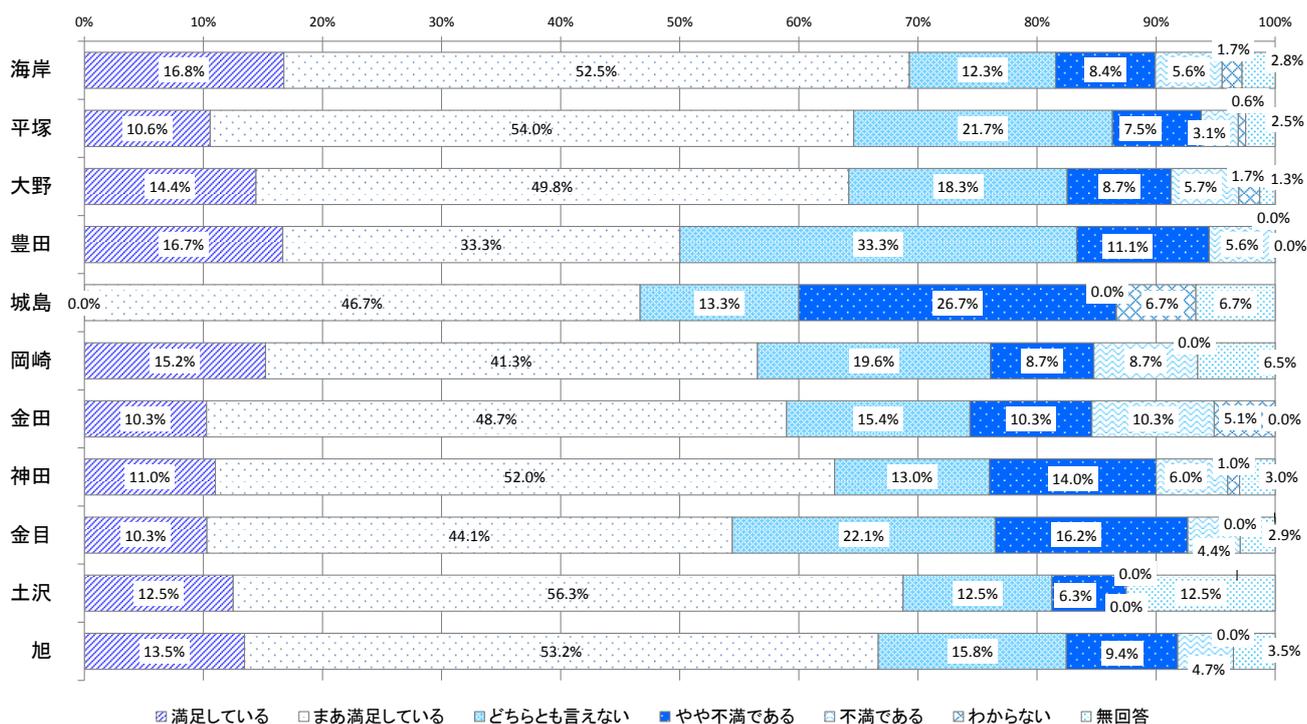
また、「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合も、30代が25.7%と全年代を通して最も高くなっている。



【地区別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、海岸地区と土沢地区が高く、約7割となっている。

また、「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合は、城島地区が高く、26.7%となっている。

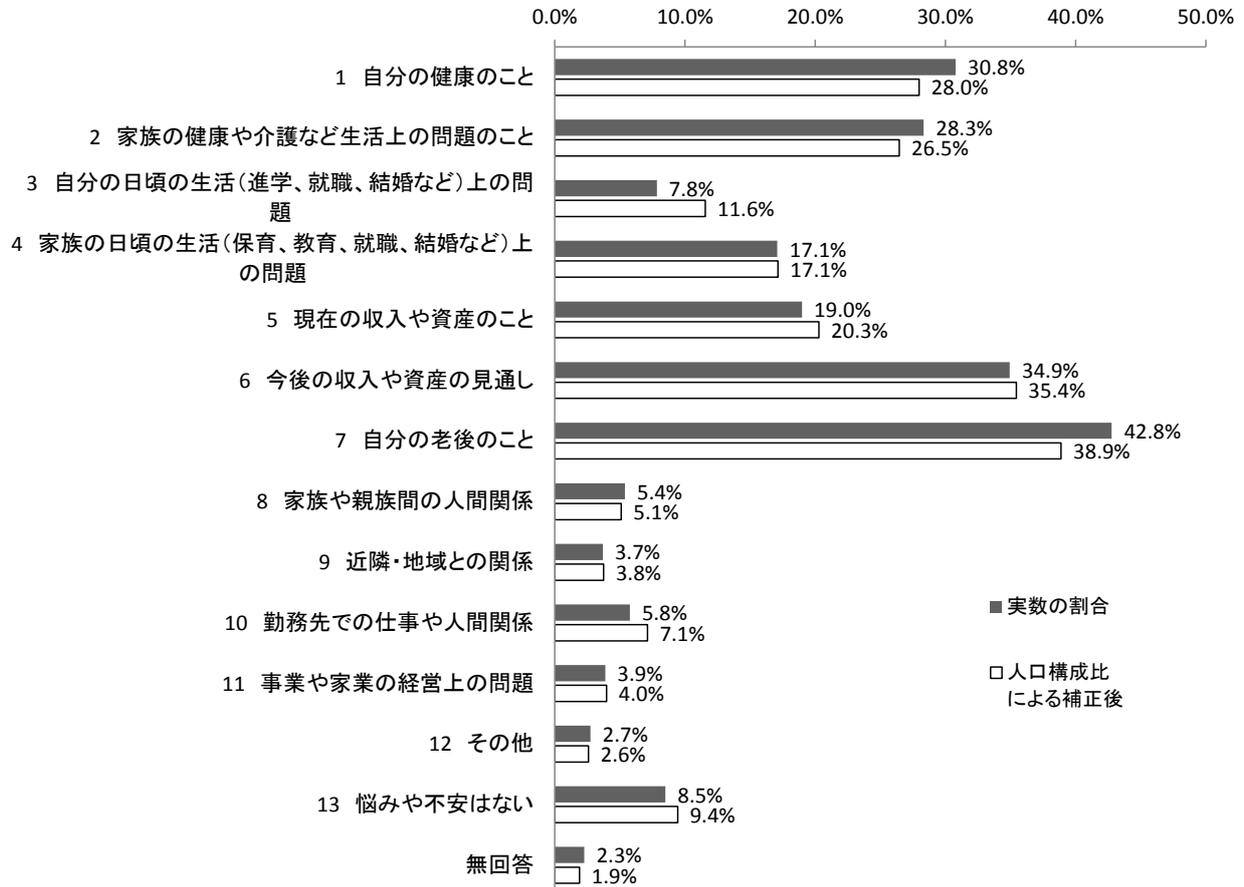


【問6】あなたは、ご自分やご家族のことで、困っていることや心配ごとがありますか。

(○は3つまで)

【全体の傾向】

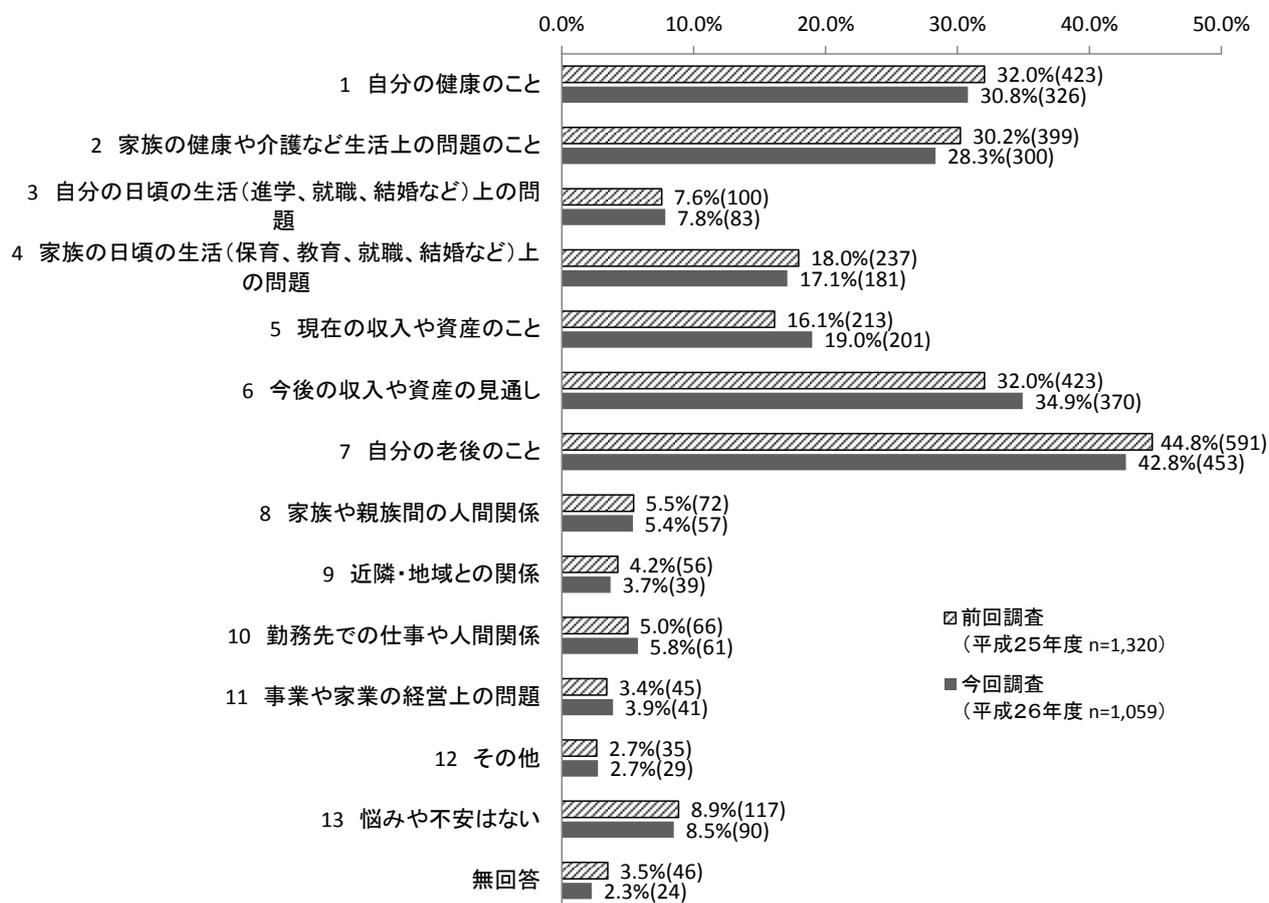
自分や家族のことで、困っていることや心配ごとを質問したところ、「7 自分の老後のこと」が42.8%と最も高く、次いで「6 今後の収入や資産の見通し」が34.9%、「1 自分の健康のこと」が30.8%と続いている。



【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

「5 現在の収入や資産のこと」や「6 今後の収入や資産の見通し」は前回調査よりも約3ポイント増加したが、全体的な傾向としては前回調査と同様の傾向となった。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

30代から40代までは、「6 今後の収入や資産の見通し」が最も高くなっている。一方、50代以上では「7 自分の老後のこと」や「1 自分の健康のこと」が困っていることや心配ごとの理由の上位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	自分の日頃の生活(進学、就職、結婚など)上の問題 46.4%	悩みや不安はない 25.0%	自分の健康のこと/今後の収入や資産の見通し 17.9%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 10.7%	
20代	自分の日頃の生活(進学、就職、結婚など)上の問題 46.5%	今後の収入や資産の見通し 42.3%	現在の収入や資産のこと 31.0%	自分の老後のこと/勤務先での仕事や人間関係 18.3%	
30代	今後の収入や資産の見通し 48.6%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 30.0%	現在の収入や資産のこと 28.6%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 18.6%	自分の老後のこと 17.9%
40代	今後の収入や資産の見通し 40.0%	自分の老後のこと 31.5%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 29.1%	現在の収入や資産のこと 27.9%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 27.3%
50代	自分の老後のこと 50.6%	今後の収入や資産の見通し 43.5%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 36.4%	自分の健康のこと 26.6%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 20.1%
60代	自分の老後のこと 53.2%	自分の健康のこと 38.4%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 35.0%	今後の収入や資産の見通し 29.3%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 15.2%
70代以上	自分の老後のこと 60.4%	自分の健康のこと 51.5%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 28.2%	今後の収入や資産の見通し 20.8%	現在の収入や資産のこと 13.4%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全11地区中8つの地区で「7 自分の老後のこと」が最も高くなっている。また、3つの地区では「6 今後の収入や資産の見通し」が最も高くなっており、4割を超えている。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	自分の老後のこと 42.5%	今後の収入や資産の見通し 33.0%	自分の健康のこと 31.3%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 30.2%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 19.6%
平塚	今後の収入や資産の見通し 42.9%	自分の老後のこと 42.2%	自分の健康のこと 30.4%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 28.6%	現在の収入や資産のこと 22.4%
大野	自分の老後のこと 41.9%	今後の収入や資産の見通し 32.3%	自分の健康のこと 30.1%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 26.2%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 18.8%
豊田	自分の健康のこと/自分の老後のこと 50.0%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと/家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題/自分の老後のこと 44.4%	現在の収入や資産のこと 22.2%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 16.7%	
城島	今後の収入や資産の見通し 40.0%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと/家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題/自分の老後のこと 33.3%	自分の健康のこと 26.7%		
岡崎	今後の収入や資産の見通し 43.5%	自分の老後のこと 39.1%	自分の健康のこと 32.6%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 21.7%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 17.4%
金田	自分の老後のこと 41.0%	今後の収入や資産の見通し 38.5%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 33.3%	現在の収入や資産のこと 28.2%	自分の健康のこと 25.6%
神田	自分の老後のこと 54.0%	自分の健康のこと 40.0%	今後の収入や資産の見通し 29.0%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 25.0%	現在の収入や資産のこと 17.0%
金目	家族の健康や介護など生活上の問題のこと/自分の老後のこと 33.8%	今後の収入や資産の見通し 32.4%	自分の健康のこと 19.1%		
土沢	自分の老後のこと 43.8%	今後の収入や資産の見通し 34.4%	自分の健康のこと 31.3%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 21.9%	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 18.8%
旭	自分の老後のこと 42.7%	今後の収入や資産の見通し 35.7%	自分の健康のこと 29.8%	家族の健康や介護など生活上の問題のこと 29.2%	現在の収入や資産のこと 20.5%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

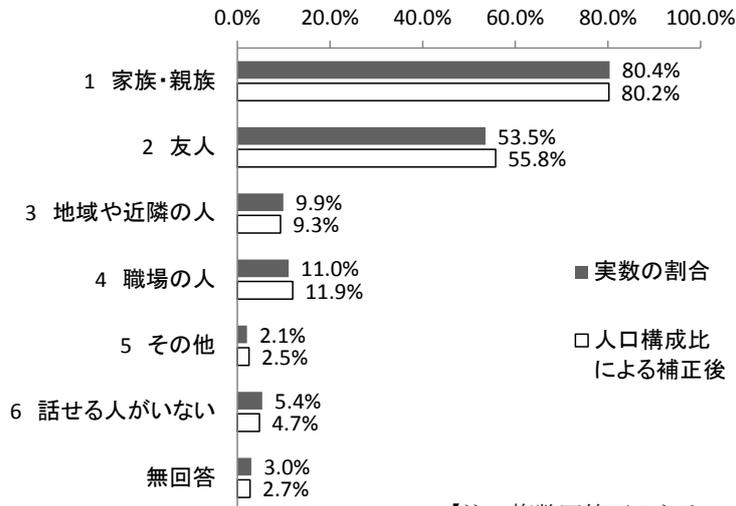
(問7) あなたには、悩みや不安を話せる人はいますか。相手はどのような人ですか。

(〇は3つまで)

【全体の傾向】

不安や悩みを話せる相手としては、「1 家族・親族」が 80.4%と最も高く、次いで「2 友人」が 53.5%となっている。

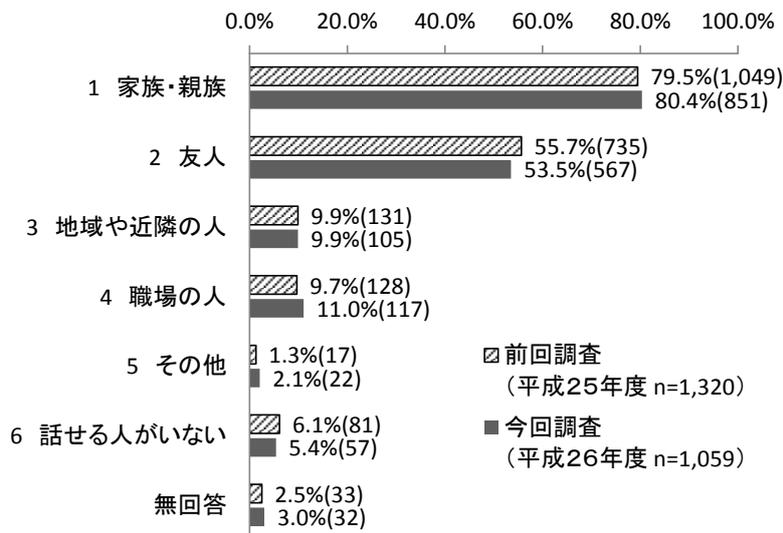
一方、5.4%の人は「6 話せる相手がない」と答えている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、「1 家族・親戚」や「4 職場の人」が約1ポイント増加した。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

20代以上では「1 家族・親族」が最も高くなっている。一方、10代では「2 友人」が85.7%と最も高く、「1 家族・親族」は71.4%となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	友人 85.7%	家族・親族 71.4%	職場の人／その他 10.7%		
20代	家族・親族 76.1%	友人 73.2%	職場の人 18.3%	地域や近隣の人／その他	5.6%
30代	家族・親族 82.1%	友人 55.7%	職場の人 18.6%	地域や近隣の人 6.4%	話せる人がいない 3.6%
40代	家族・親族 78.2%	友人 51.5%	職場の人 13.3%	話せる人がいない 8.5%	地域や近隣の人 6.1%
50代	家族・親族 82.5%	友人 48.1%	職場の人 18.2%	話せる人がいない 7.1%	地域や近隣の人 3.2%
60代	家族・親族 81.4%	友人 52.9%	地域や近隣の人 11.4%	職場の人 8.0%	話せる人がいない 5.7%
70代以上	家族・親族 82.7%	友人 49.5%	地域や近隣の人 21.3%	無回答 4.0%	話せる人がいない 3.0%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全ての地区で、「1 家族・親族」が最も高く、次いで「2 友人」となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	家族・親族 81.0%	友人 58.7%	職場の人 10.1%	地域や近隣の人 8.4%	話せる人がいない 5.6%
平塚	家族・親族 77.0%	友人 52.2%	職場の人 12.4%	地域や近隣の人 6.2%	話せる人がいない 5.0%
大野	家族・親族 80.8%	友人 51.5%	職場の人 14.0%	地域や近隣の人 11.8%	話せる人がいない 6.1%
豊田	家族・親族 83.3%	友人 44.4%	職場の人 16.7%	地域や近隣の人／話せる人がいない／無回答	5.6%
城島	家族・親族 86.7%	友人 40.0%	地域や近隣の人／職場の人／話せる人がいない		6.7%
岡崎	家族・親族 78.3%	友人 37.0%	職場の人 13.0%	地域や近隣の人 8.7%	話せる人がいない 6.5%
金田	家族・親族 76.9%	友人 61.5%	地域や近隣の人 10.3%	職場の人／無回答	5.1%
神田	家族・親族 79.0%	友人 53.0%	職場の人 8.0%	地域や近隣の人 7.0%	話せる人がいない 6.0%
金目	家族・親族 73.5%	友人 47.1%	地域や近隣の人 14.7%	話せる人がいない 8.8%	職場の人 5.9%
土沢	家族・親族 81.3%	友人 56.3%	地域や近隣の人 21.9%	職場の人／無回答	9.4%
旭	家族・親族 86.0%	友人 59.1%	職場の人 11.7%	地域や近隣の人 11.1%	話せる人がいない 4.7%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

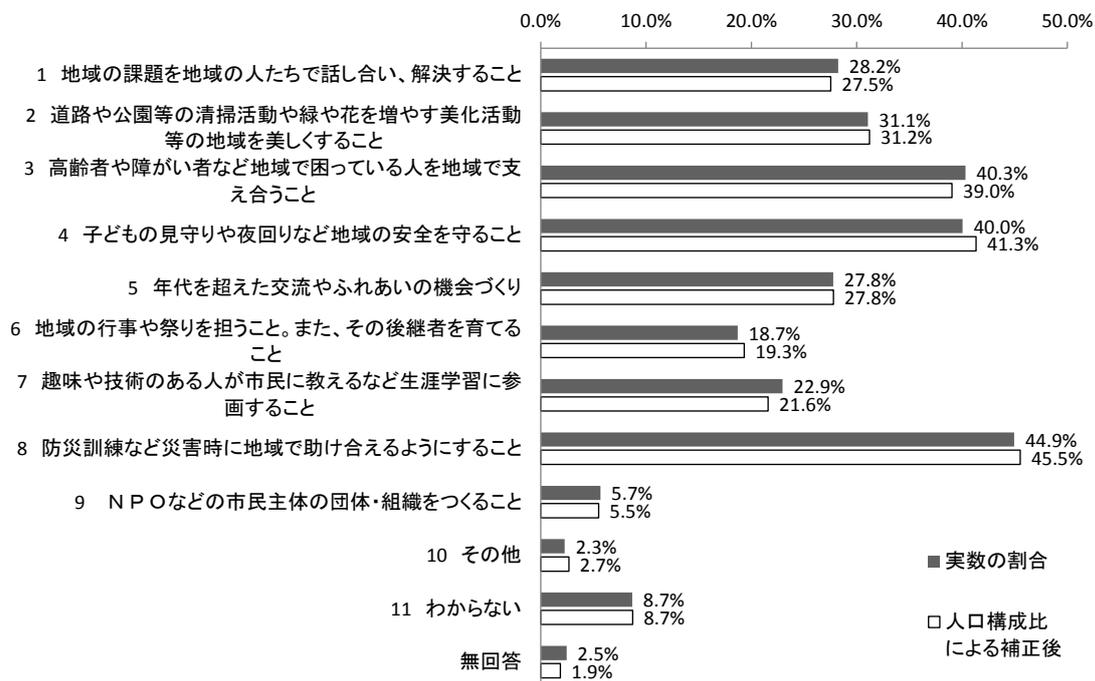
【3】 地域のために、地域（あなた）ができることについて

（問8）住みよい地域にするためには、市民の皆さんの関わりが必要です。住みよい地域にするために地域の皆さん（あなた）が力を合わせて取り組むと良いと思うことは何か。

（〇はいくつでも）

【全体の傾向】

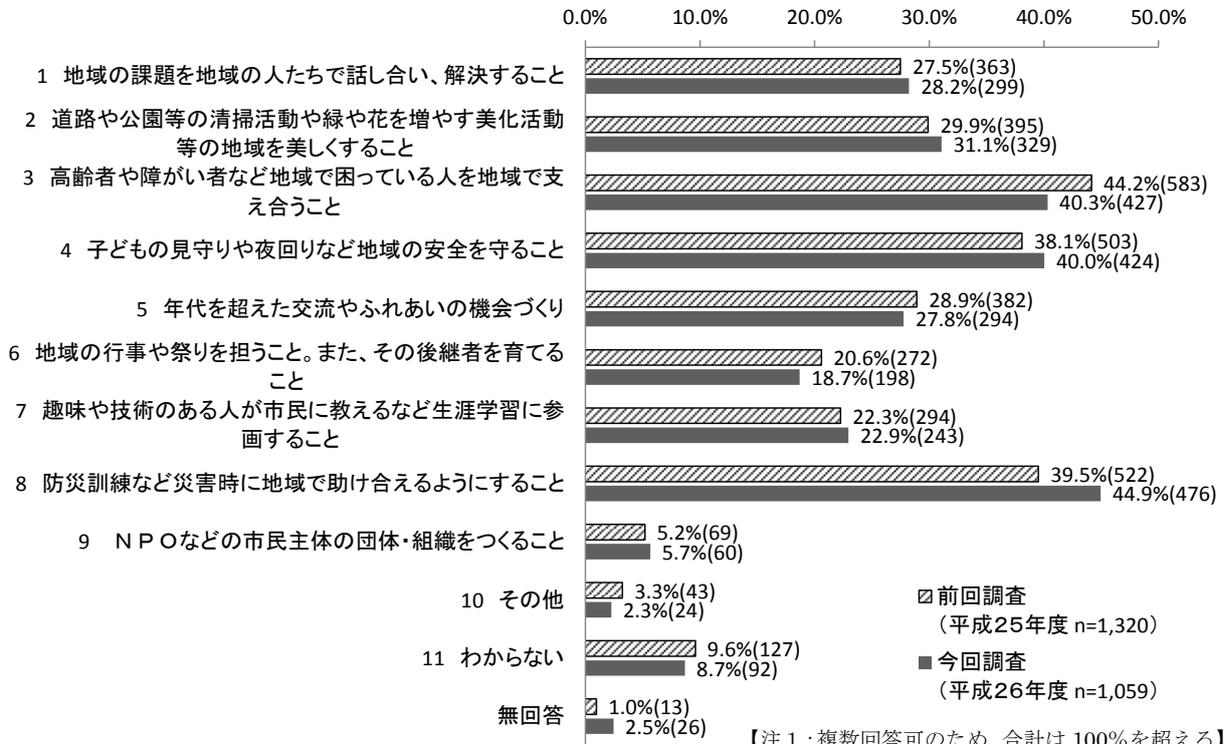
地域の皆さん（あなた）が力を合わせて取り組むと良いと思うことは何か、という問いに対して、「8 防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること」が44.9%と最も高くなった。次いで、「3 高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと」が40.3%、「4 子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること」が40.0%と続いている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、最もポイントが増加した項目は「8 防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること」で5.4ポイントの増加となった。一方、最もポイントが減少した項目は「3 高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと」で3.9ポイントの減少となった。



【年代別の傾向】

40代以下は「4 子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること」が上位となっており、特に30代では5割を超えている。
また、50代以上は「3 高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと」が上位となっており、4割を超えている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 46.4%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 42.9%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと／防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 39.3%		年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 28.6%
20代	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 47.9%	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 38.0%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 29.6%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと／年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 25.4%	
30代	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 58.6%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 50.0%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 33.6%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 29.3%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 27.9%
40代	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 49.1%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 43.0%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 36.4%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 29.1%	年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 26.7%
50代	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 48.1%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 43.5%	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 37.0%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること／年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 31.2%	
60代	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 45.2%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 43.3%	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 33.8%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 32.7%	趣味や技術のある人が市民に教えるなど生涯学習に参画すること 30.4%
70代以上	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 47.5%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 42.6%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 32.2%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること／子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること／年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 31.7%	

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

「8 防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること」が全 11 地区中 7つの地区で最も高くなっている。

また、海岸地区、城島地区、土沢地区では「4 子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること」が最も高くなっている。

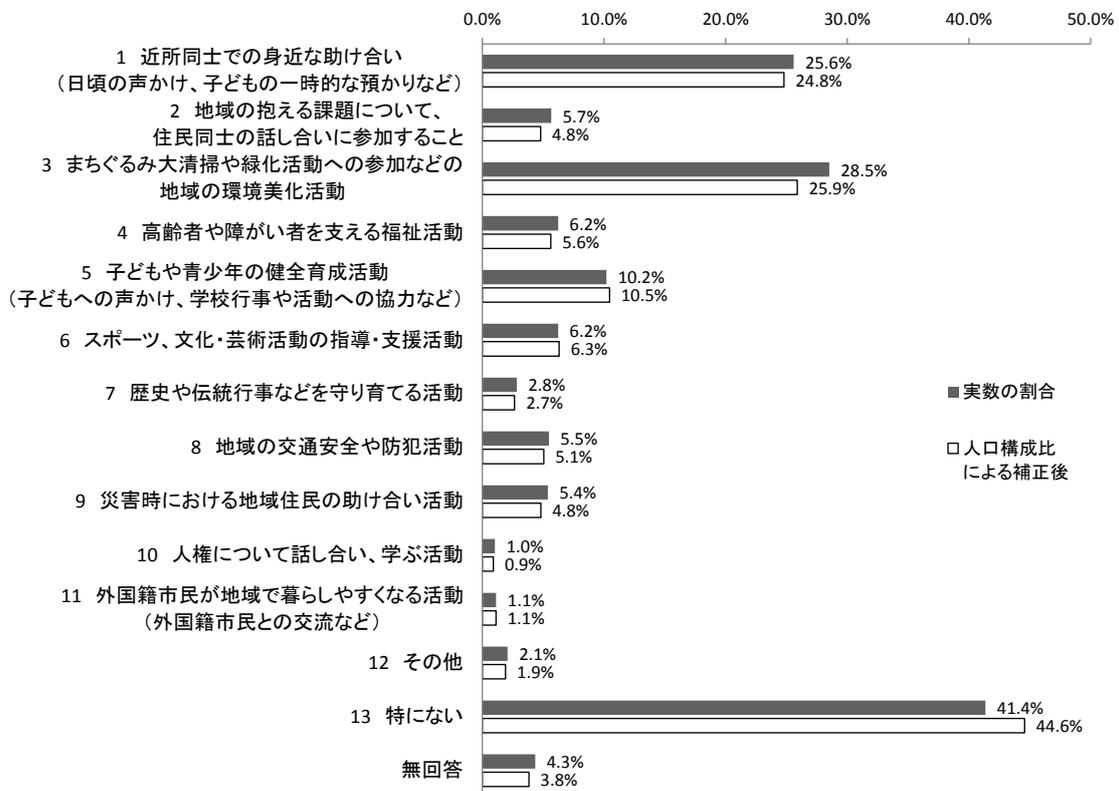
	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 44.7%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 43.0%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 40.2%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 29.1%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 27.9%
平塚	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 41.6%	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 39.8%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 38.5%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 32.3%	年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 29.8%
大野	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 45.9%	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 40.2%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 39.7%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 31.4%	年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 28.8%
豊田	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 50.0%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 38.9%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 33.3%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること／年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 27.8%	
城島	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること／防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 60.0%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 40.0%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 40.0%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること／道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 33.3%	
岡崎	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 45.7%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 39.1%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること／高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと／子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 37.0%		
金田	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 51.3%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 48.7%	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 43.6%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 30.8%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 28.2%
神田	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 53.0%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 38.0%	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 35.0%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 34.0%	年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 29.0%
金目	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 41.2%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 35.3%	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 33.8%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 29.4%	年代を超えた交流やふれあいの機会づくり 23.5%
土沢	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 59.4%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 53.1%	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 43.8%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 40.6%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 34.4%
旭	防災訓練など災害時に地域で助け合えるようにすること 47.4%	高齢者や障がい者など地域で困っている人を地域で支え合うこと 42.7%	子どもの見守りや夜回りなど地域の安全を守ること 38.0%	地域の課題を地域の人たちで話し合い、解決すること 31.6%	道路や公園等の清掃活動や緑や花を増やす美化活動等の地域を美しくすること 28.7%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は 100%を超える】

(問9) 地域のために、あなたが現在行っていることはありますか。(〇はいくつでも)

【全体の傾向】

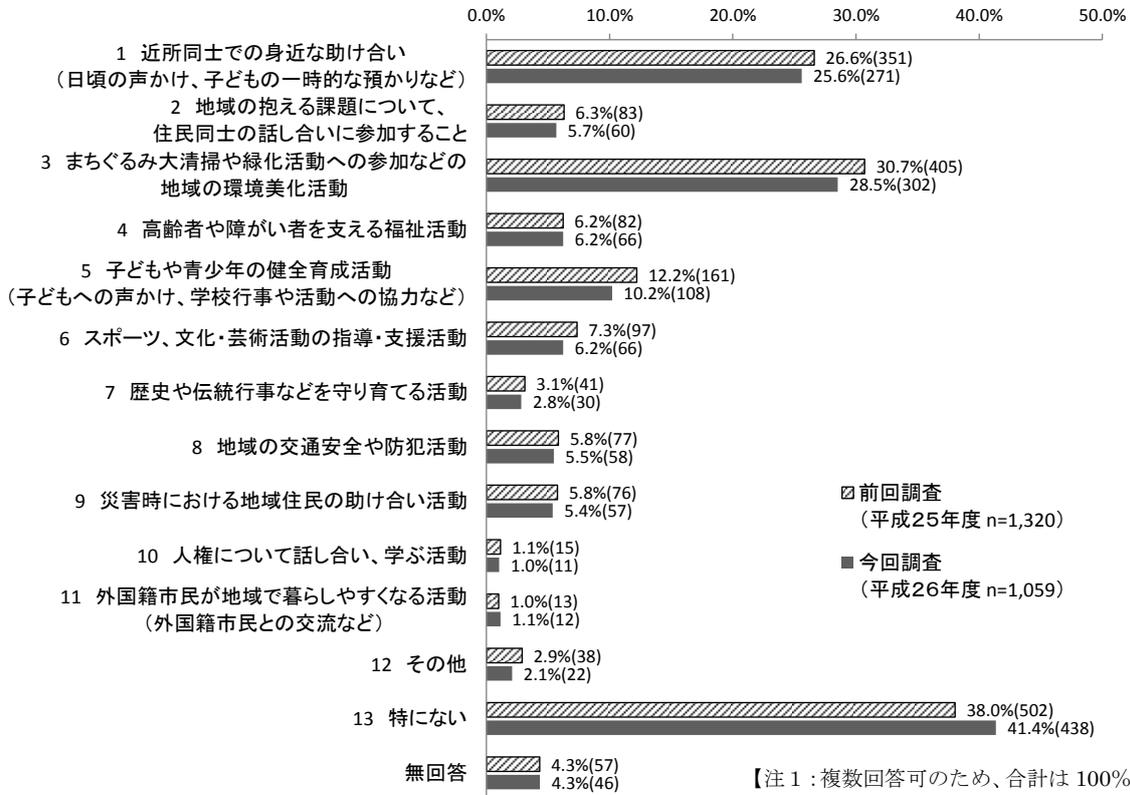
地域のために、現在行っている活動を質問したところ、「13 特にない」が41.4%と最も高かった。次いで、「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動」が28.5%、「1 近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)」が25.6%と続いている。



【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動」が2.2ポイント、「1 近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど）」が1.0ポイント減少する一方、「13 特にない」が3.4ポイント増加した。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

60代以上では「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動」が最も高くなっている。一方、「13 特にない」がいずれの年代でも上位に入り、10代から50代までは1位、60代と70代以上では2位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	特にない 64.3%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 14.3%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)／スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動／無回答		7.1%
20代	特にない 73.2%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 19.7%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 7.0%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 5.6%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事) 4.2%
30代	特にない 45.7%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 30.0%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事) 19.3%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 16.4%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 5.0%
40代	特にない 43.0%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 24.2%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事) 18.2%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 17.6%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 6.7%
50代	特にない 46.8%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 26.6%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 23.4%	子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事) 9.7%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 6.5%
60代	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 39.2%	特にない 31.6%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 28.1%	地域の抱える課題について、住民同士の話し合いに参加すること／高齢者や障がい者を支える福祉活動／災害時における地域住民の助け合い活動 8.0%	
70代以上	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 44.1%	特にない 32.2%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど) 26.7%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 12.4%	地域の抱える課題について、住民同士の話し合いに参加すること 11.9%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全 11 地区中 9 つの地区で「13 特にない」が、4 つの地区で「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動」が最も高くなっている。

「13 特にない」は全体で 41.4%であるが、大野地区では 52.0%、平塚地区では 48.4%と高くなっている。一方、土沢地区では 15.6%と低くなっている。

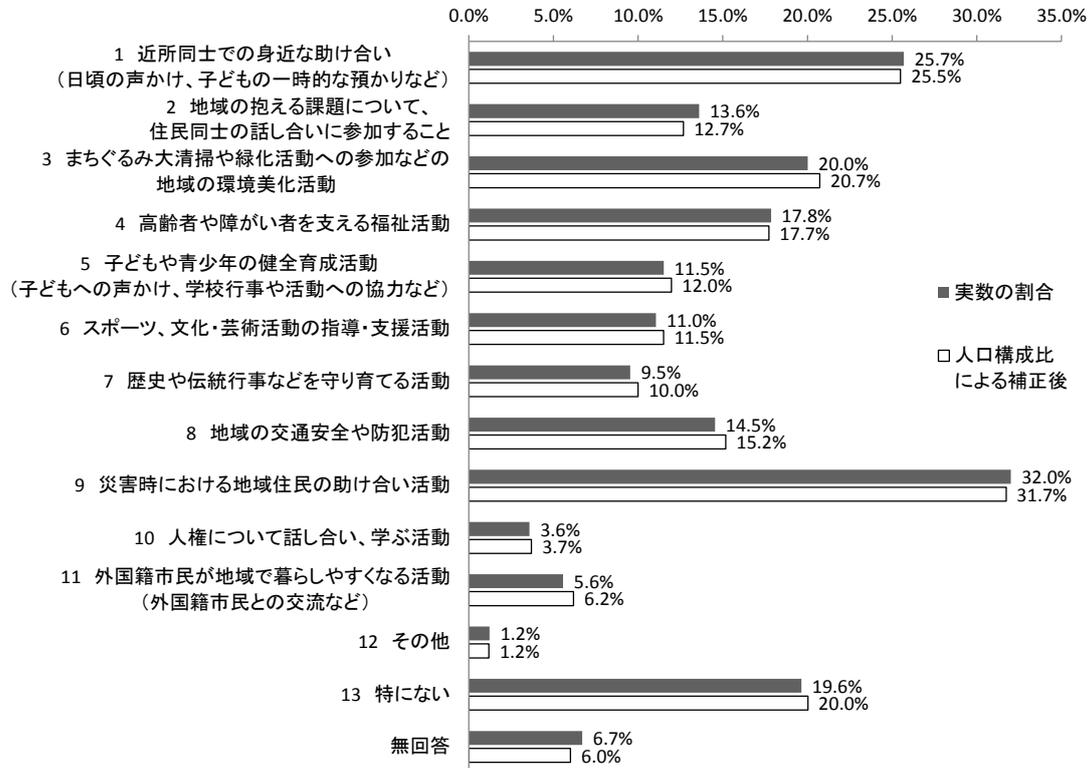
	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	特にない 41.9%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 29.1%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 25.1%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 10.1%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 5.0%
平塚	特にない 48.4%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 23.6%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 17.4%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 8.1%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 7.5%
大野	特にない 52.0%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 24.9%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 22.7%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 8.7%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 7.0%
豊田	特にない 33.3%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど）／まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 27.8%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 16.7%	地域を抱える課題について、住民同士の話し合いに参加すること 11.1%	
城島	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など）／特にない 33.3%		近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 20.0%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 20.0%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 13.3%
岡崎	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 34.8%	特にない 30.4%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 26.1%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 17.4%	地域の交通安全や防犯活動 13.0%
金田	特にない 46.2%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 30.8%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 20.5%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 10.3%	地域を抱える課題について、住民同士の話し合いに参加すること 7.7%
神田	特にない 37.0%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 33.0%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 30.0%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 10.0%	地域を抱える課題について、住民同士の話し合いに参加すること 9.0%
金目	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動／特にない 33.8%		近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 26.5%	災害時における地域住民の助け合い活動 10.3%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 8.8%
土沢	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 62.5%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 21.9%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど）／子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 18.8%		特にない 15.6%
旭	特にない 33.9%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 31.6%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 28.7%	子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 8.8%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動 7.6%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は 100%を超える】

(問10) 住みよい地域にするために、あなたができること(又はしてみたいこと)はありますか。
 なお、(問9)で答えた既に行っていることは除きます。(〇はいくつでも)

【全体の傾向】

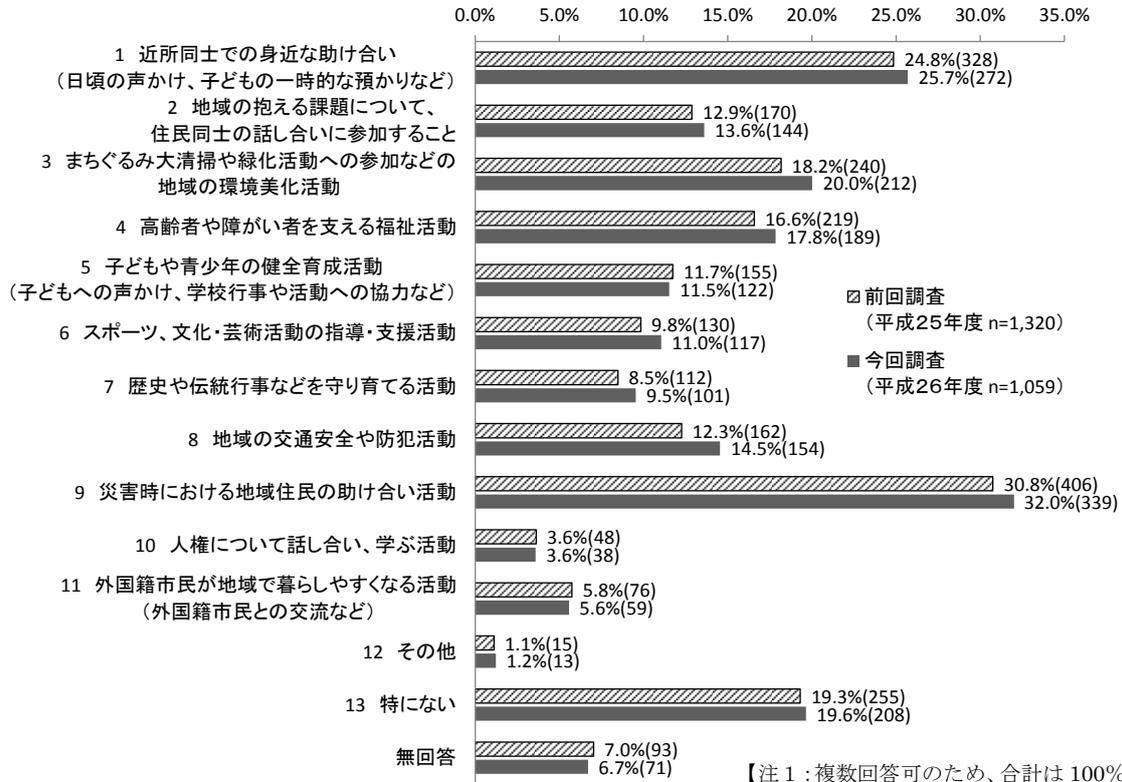
あなたができること(又はしてみたいこと)を質問したところ、「9 災害時における地域住民の助け合い活動」が32.0%と最も高くなった。次いで、「1 近所同士での身近な助け合い」が25.7%、「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動」が20.0%と続いている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

「13 特にない」や「12 その他」を除く 11 項目の中で、8 項目において前回調査からポイントが増加した。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

30代以上は「9 災害時における地域住民の助け合い活動」が最も高かった。一方、10代では「3 まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加など地域の環境美化活動」が35.7%、20代では「13 特にない」が28.2%と最も高かった。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 35.7%	スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動／地域の交通安全や防犯活動	32.1%	高齢者や障がい者を支える福祉活動／災害時における地域住民の助け合い活動	28.6%
20代	特にない 28.2%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)／災害時における地域住民の助け合い活動	25.4%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動	19.7%
30代	災害時における地域住民の助け合い活動 37.9%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)	28.6%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動／地域の交通安全や防犯活動	21.4%
40代	災害時における地域住民の助け合い活動 31.5%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)	20.6%	特にない	20.0%
50代	災害時における地域住民の助け合い活動 32.5%	高齢者や障がい者を支える福祉活動	25.3%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動	19.4%
60代	災害時における地域住民の助け合い活動 36.1%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)	30.0%	高齢者や障がい者を支える福祉活動	19.8%
70代以上	災害時における地域住民の助け合い活動 27.7%	近所同士での身近な助け合い(日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど)	25.7%	特にない	21.8%
				まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動	19.3%
				高齢者や障がい者を支える福祉活動	17.3%
				子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)	14.1%
				子どもや青少年の健全育成活動(子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など)	20.7%
				高齢者や障がい者を支える福祉活動	14.5%
				スポーツ、文化・芸術活動の指導・支援活動	18.8%
				特にない	19.4%
				地域の抱える課題について、住民同士の話し合いに参加すること	17.3%

【注：複数回答可のため、年代ごとの合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全 11 地区中 9 つの地区で「9 災害時における地域住民の助け合い活動」が最も高くなった。

一方、豊田地区では「13 特にない」が 38.9%、金目地区では「1 近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど）」が 35.3%と最も高くなっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	災害時における地域住民の助け合い活動 29.1%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 26.8%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動／高齢者や障がい者を支える福祉活動 16.8%		特にない 16.2%
平塚	災害時における地域住民の助け合い活動 32.3%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 25.5%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 20.5%	特にない 19.9%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 14.9%
大野	災害時における地域住民の助け合い活動 29.7%	特にない 25.3%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 24.9%	地域の交通安全や防犯活動 19.7%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 18.3%
豊田	特にない 38.9%	災害時における地域住民の助け合い活動 27.8%	高齢者や障がい者を支える福祉活動／子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 22.2%		歴史や伝統行事などを守り育てる活動 16.7%
城島	災害時における地域住民の助け合い活動 33.3%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動／無回答 20.0%		地域の抱える課題について、住民同士の話し合いに参加すること／高齢者や障がい者を支える福祉活動／子どもや青少年の健全育成活動（子どもへの声かけ、学校行事や活動への協力など） 13.3%	特にない
岡崎	災害時における地域住民の助け合い活動 32.6%	地域の抱える課題について、住民同士の話し合いに参加すること／まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 19.6%		近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 17.4%	特にない
金田	災害時における地域住民の助け合い活動 33.3%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 25.6%	特にない 23.1%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 20.5%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 17.9%
神田	災害時における地域住民の助け合い活動 35.0%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 24.0%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 23.0%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 22.0%	地域の交通安全や防犯活動 17.0%
金目	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 35.3%	災害時における地域住民の助け合い活動 22.1%	高齢者や障がい者を支える福祉活動 20.6%	特にない 19.1%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 17.6%
土沢	災害時における地域住民の助け合い活動 34.4%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 31.3%	地域の抱える課題について、住民同士の話し合いに参加すること 28.1%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動 21.9%	歴史や伝統行事などを守り育てる活動 18.8%
旭	災害時における地域住民の助け合い活動 39.2%	近所同士での身近な助け合い（日頃の声かけ、子どもの一時的な預かりなど） 27.5%	まちぐるみ大清掃や緑化活動への参加などの地域の環境美化活動／高齢者や障がい者を支える福祉活動 24.6%		特にない 15.8%

【注：複数回答可のため、地区ごとの合計は 100%を超える】

【4】 まちづくりの状況について

(問11) 平塚市のまちづくりに対するあなたの「満足度」、「重要度」についてお答えください。

《学校教育・生涯学習・交流》

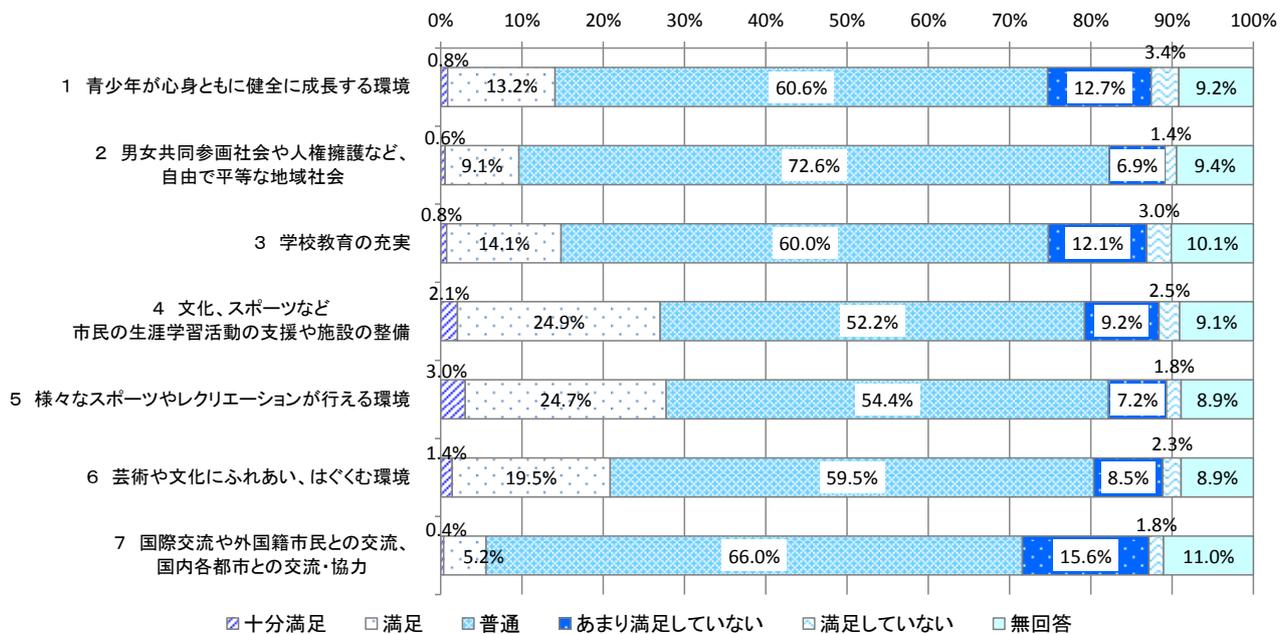
学校教育・生涯学習・交流分野「満足度」

【全体の傾向】

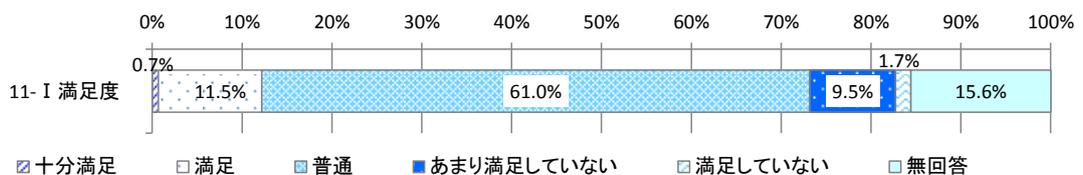
「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合をこの分野における項目で見ると、『5 様々なスポーツやレクリエーションが行える環境』が27.7%、『4 文化、スポーツなど市民の生涯学習活動支援や施設の整備』が27.0%と高くなっている。

一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『7 国際交流や外国籍市民との交流、国内各都市との交流・協力』が17.4%、『1 青少年が心身ともに健全に成長する環境』が16.1%、『3 学校教育の充実』が15.1%と高くなっている。

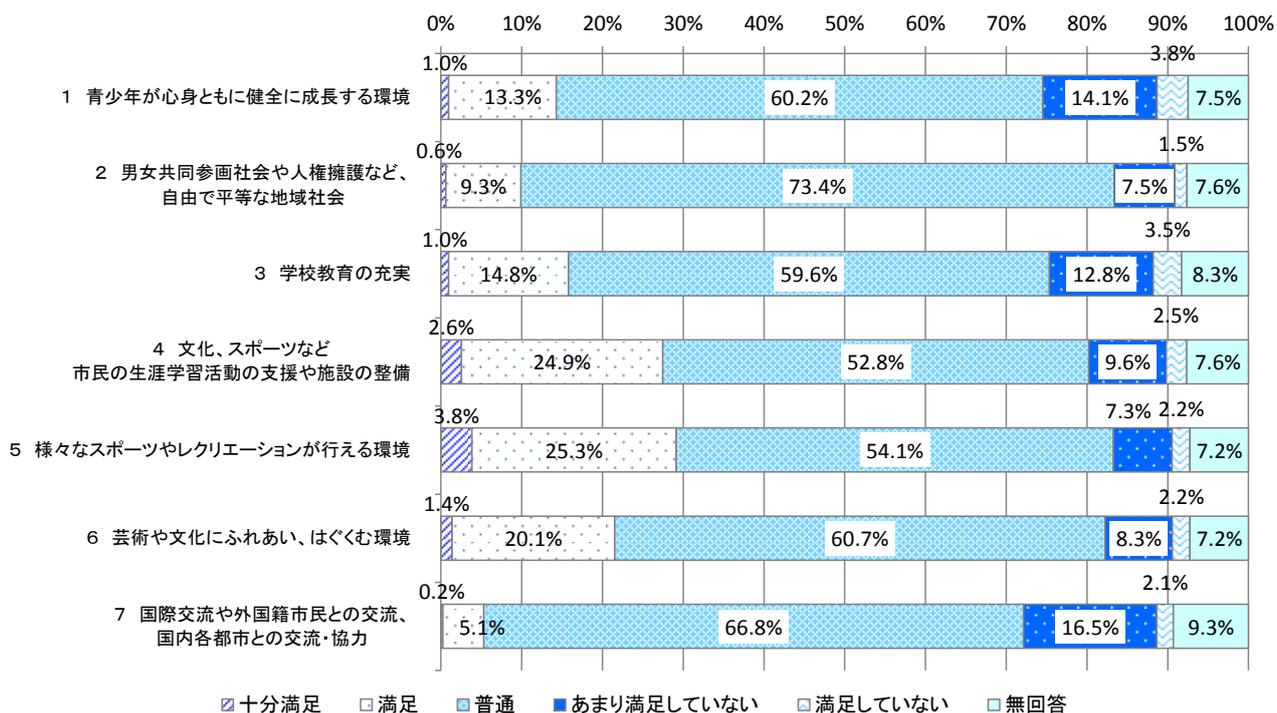
なお、「普通」の割合を見ると、この分野における全ての項目で5割を超えている。



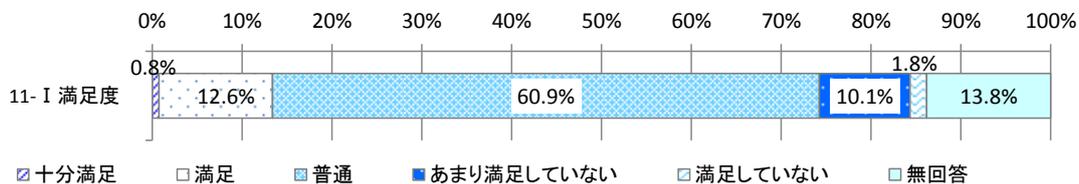
学校教育・生涯学習・交流の分野全体について 満足度



学校教育・生涯学習・交流分野「満足度」(人口比補正後)



学校教育・生涯学習・交流の分野全体について 満足度 (人口比補正後)



学校教育・生涯学習・交流分野全体について「満足度」の理由をご記入ください。(自由意見・抜粋)

■「十分満足」と答えた方の主な理由

- ・どれも参加しようと思えばできる環境が整っている。
- ・子どもと図書館や美術館、運動施設等をよく利用している。文化・スポーツ施設は充実していると思う。
- ・教育に力を入れているため。
- ・自治会や公民館などで高齢者の人達が集会などを行っているので満足している。

■「満足」と答えた方の主な理由

- ・学校がたくさんあり、それぞれに特色があつて子ども達のがびのがび育っていると思う。
- ・公民館、スポーツ施設等で良いイベントがたくさん行われており、利用することも多い。
- ・地域活動に参加しているので、自分自身満足している。
- ・子どもが音楽等の芸術文化に触れる機会が多い。
- ・公民館を通しての高齢者学級など、交流の場を市は広げていると感じる。
- ・高齢の私でも参加できる施設に自転車等を使って行くことができるので。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・近隣市町村と比較して、市の規模からこの程度かと思う。
- ・市が力を入れている文化事業やスポーツ事業に偏りがある。
- ・まだ満足するほど参加していないため。
- ・以前と比較すると良くなってきていると思うが、もう少しいいじめ問題や生涯学習活動に力を入れて欲しい。
- ・生涯学習やグループ活動などの開催が程よく行われているが、参加者が偏っているように見受けられる。
- ・子どもが未就学児なので、これから満足できる教育を与えたい。

■「あまり満足していない」と答えた方の主な理由

- ・男女共同参画社会と言っても、働く母親、特に小さい子を持つ母親が働きやすい環境になっていない。
- ・都内の大学に通い、授業の内容に差を感じる。もっと英語の勉強を小学校から密にやりたかった。
- ・教育水準が低く、文化レベルも低水準。まちに高い文化の香りが無い。
- ・外国籍市民の方と交流する機会がなく、協力することもできない。
- ・平塚市という規模の行政では美術館を持つことは不安だと感じる。近隣に横浜美術館や上野周辺に博物館があるので優待券を配布する等して欲しい。地の利を生かして効率よく運営してほしい。

■「満足していない」と答えた方の主な理由

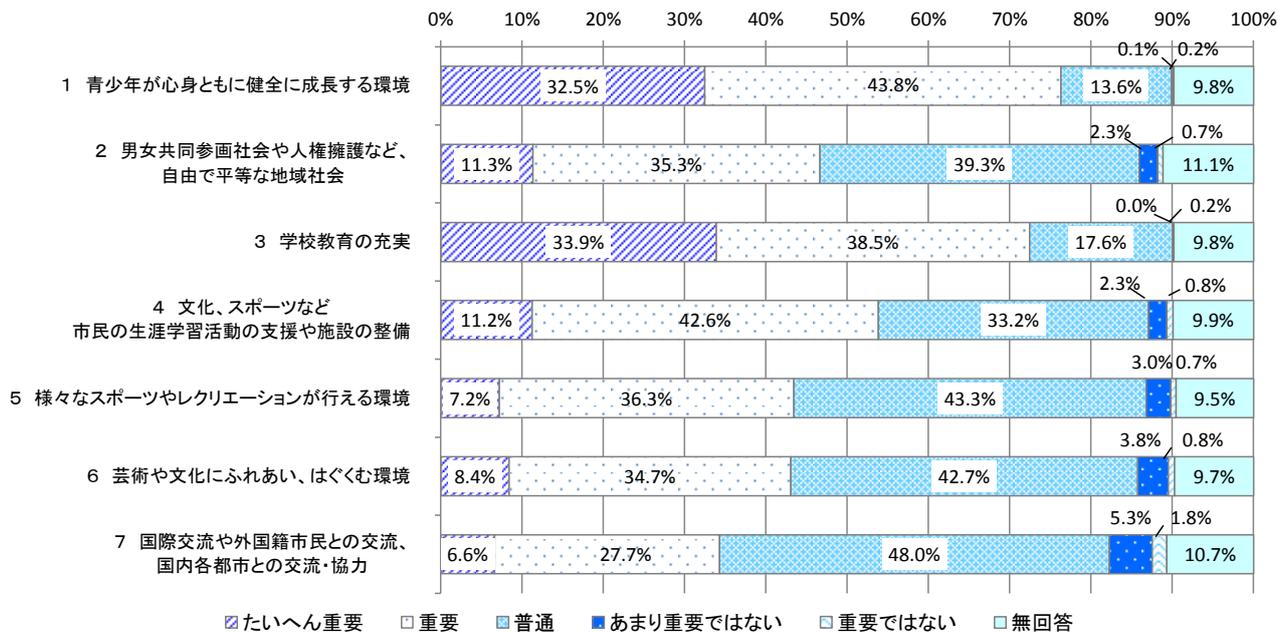
- ・アートや音楽など、文化の発信とまではいなくても、そういったものに触れられる機会、場所が少なすぎる。できるだけ新しい文化に触れられる風通しの良さが必要。

学校教育・生涯学習・交流分野「重要度」

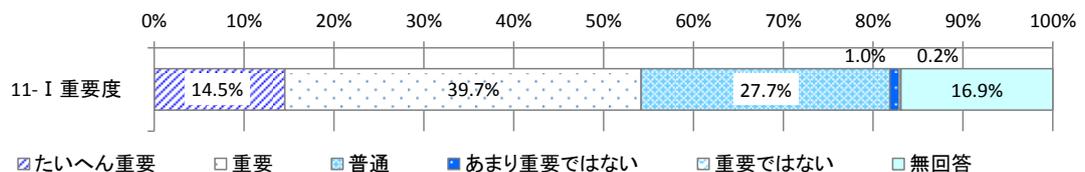
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『1 青少年が心身ともに健全に成長する環境』が76.3%、『3 学校教育の充実』が72.4%と高くなっている。

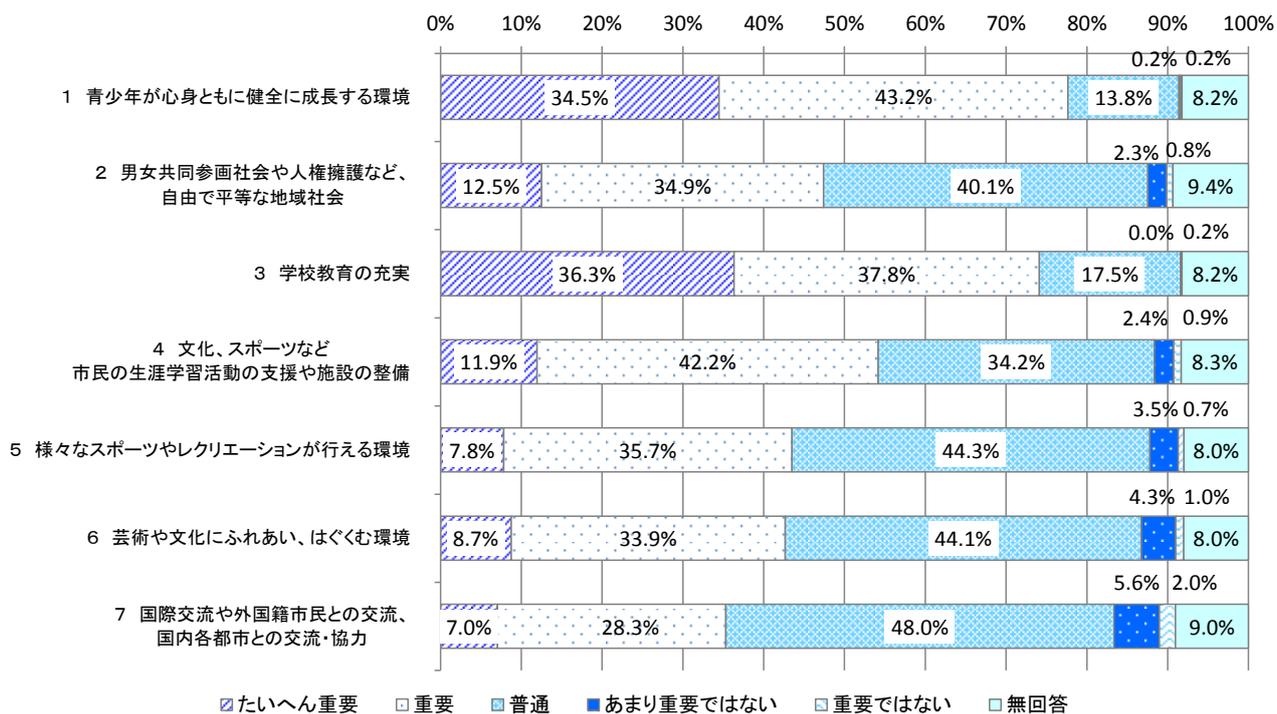
一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『7 国際交流や外国籍市民との交流、国内各都市との交流・協力』が他の項目と比べて若干高く7.1%となっている。



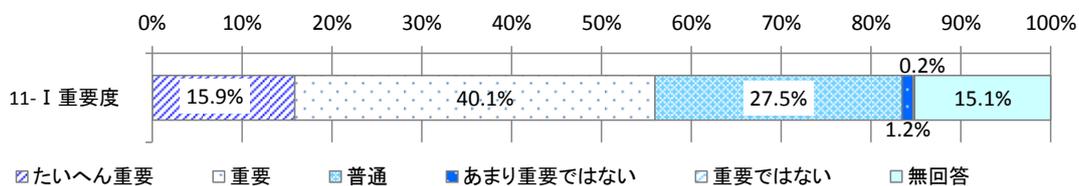
学校教育・生涯学習・交流の分野全体について 重要度



学校教育・生涯学習・交流分野「重要度」(人口比補正後)



学校教育・生涯学習・交流の分野全体について 重要度 (人口比補正後)



学校教育・生涯学習・交流分野全体について「重要度」の理由をご記入ください。(自由意見・抜粋)

■「たいへん重要」と答えた方の主な理由

- ・外国籍の子どもが増え、普通クラスでは十分対応できなくなっている。
- ・これからの将来を担う人の育成は、すごく大事なこと。
- ・未来を背負っていく子ども達にもっといろいろな力をつけさせてあげたい。まちづくりの原点だと思う。
- ・外国籍市民など人との交流は、将来役に立つと思う。
- ・必要不可欠な公共サービスとして、教育と人権尊重は大変重要だと考える。その他は、他の自治体や民間事業者でもサービスが受けられるので、予算との兼ね合いかと思う。

■「重要」と答えた方の主な理由

- ・若者も高齢者も目的をもって自由に学習することができる場があることで、良い意識を持って、積極的なまちづくりにつながると思う。
- ・子育て世代や高齢者が共に充実した生活をするために重要。
- ・青少年の育成を第一にして欲しい。老人福祉は世界一で、これ以上考える必要はないと思う。
- ・学校教育の1つとして道徳を教える必要性を感じる。親の態度も非常識な場面があり、これからの子どもに教育すべき。
- ・環境が人を形成する以上、人のサポート、設備のサポートは大切な人間の土台になると思う。
- ・貧困の連鎖は教育によって断ち切るべきであるから。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・どの設問も重要であるが、何に的を絞っていいか難しい。
- ・子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域が最優先で、芸術とかは二の次でいいと思っている。
- ・幅広い年代で施設整備や学習、交流面は健全な心身の成長と維持に重要。
- ・他の分野とバランスをとるべきなので普通程度が良いと思う。
- ・子供の教育は重要度が高い。生涯学習や交流は地域に頼らず自力でできる。
- ・不安なく生活できることはとても重要。
- ・個々の積極性が影響するので重要の判断は難しい。
- ・将来を担う子ども達の健全な成長と教育が最も重要。その他は、余裕があればの話だと思う。
- ・教育は人にとって一番重要である。芸術、スポーツなどが行える施設や環境はいくつあっても良い。

■「あまり重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・必要性や価値観は個人差があるため。

■「重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・個々の考え方の違い。

《地域づくり・子育て・福祉》

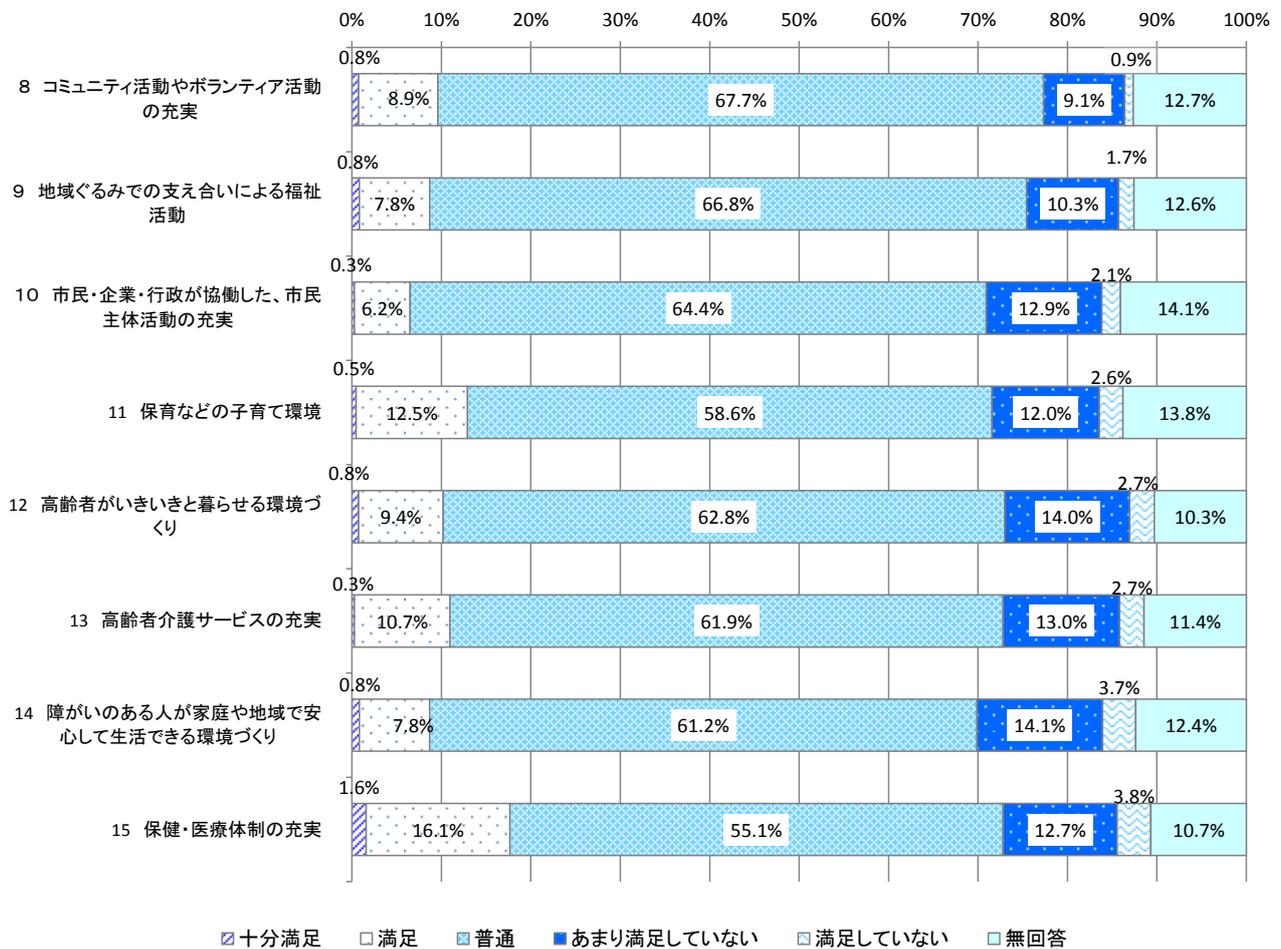
地域づくり・子育て・福祉分野「満足度」

【全体の傾向】

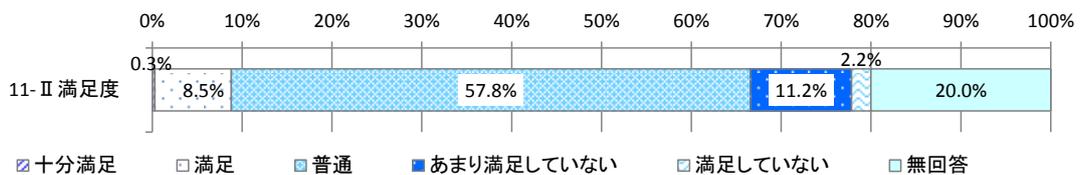
「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『15 保健・医療体制の充実』が最も高く 17.7%となっている。次いで『11 保育などの子育て環境』が 13.0%、『13 高齢者介護サービスの充実』が 11.0%となっている。

また、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『14 障がいのある人が家庭や地域で安心して生活できる環境づくり』が 17.8%、『12 高齢者がいきいき暮らせる環境づくり』が 16.7%、『15 保健・医療体制の充実』が 16.5%となっている。

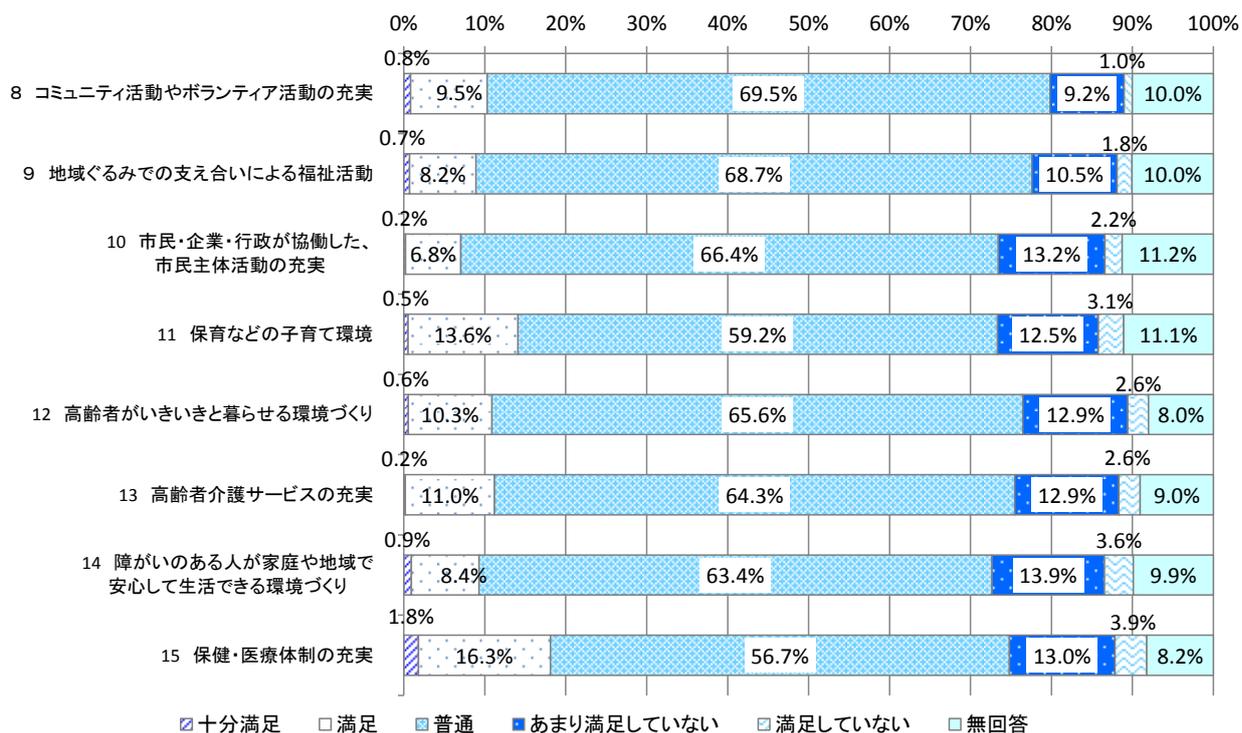
なお、「普通」の割合を見ると、この分野における全ての項目で6割前後となっている。



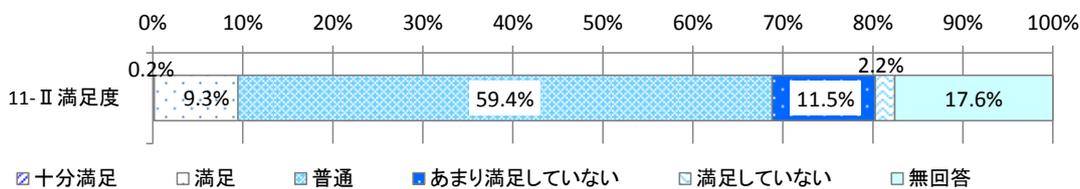
地域づくり・子育て・福祉の分野全体について 満足度



地域づくり・子育て・福祉分野「満足度」(人口比補正後)



地域づくり・子育て・福祉の分野全体について 満足度 (人口比補正後)



地域づくり・子育て・福祉分野全体について「満足度」の理由をご記入ください。(自由意見・抜粋)

■「十分満足」と答えた方の主な理由

- ・乳児がいるが、様々な地域に子育てセンターがあり、とても満足している。

■「満足」と答えた方の主な理由

- ・子どもの医療費補助がとても適当だと思う。
- ・高齢者の施設も医療もとても充実している。
- ・保育園や病院がたくさんあること。
- ・子育て支援は充実させるのは大事だが、受ける側が当然と思い、もっと要求してきたりする。また、本当に必要としている人に届かず、要求した人には届くということも多々ある。
- ・幼児への食事指導サービスに感謝している。夜間診療も非常に助かった。
- ・納税額を考えれば十分だと思う。
- ・高齢者の介護に関しては手厚いサービスだと感じている。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・子育てをされていて不満に思うことはない。
- ・精力的に行っているのかもしれないが、活動が伝わってこない。そのため地域で支えている感覚が持てない。
- ・どの園でも延長保育があり、幼稚園通いでも働いている母親が多い。
- ・ボランティア活動については、興味があっても情報が少ないように感じる。
- ・子育てや福祉に大きな不満はないが、他市と比較して特に優れた点や特徴のあるアピールができるレベルでもない。
- ・タウン誌などでいろいろ行っているのを知っている。
- ・子育て、福祉で困った話をあまり聞かないため。

■「あまり満足していない」と答えた方の主な理由

- ・子どもを抱えて仕事をしている人々が大勢いるにもかかわらず、子育て、福祉の面で他のまちより遅れているとみられる。
- ・障がいのある人には道路の整備などがまだまだ十分でない。
- ・利用していないが、充実しているように感じない。
- ・力を入れて対応しているとは思えない。目に見えない。
- ・県内の他の市町と比べ、子どもの医療費補助が特に充実しているわけではない。

■「満足していない」と答えた方の主な理由

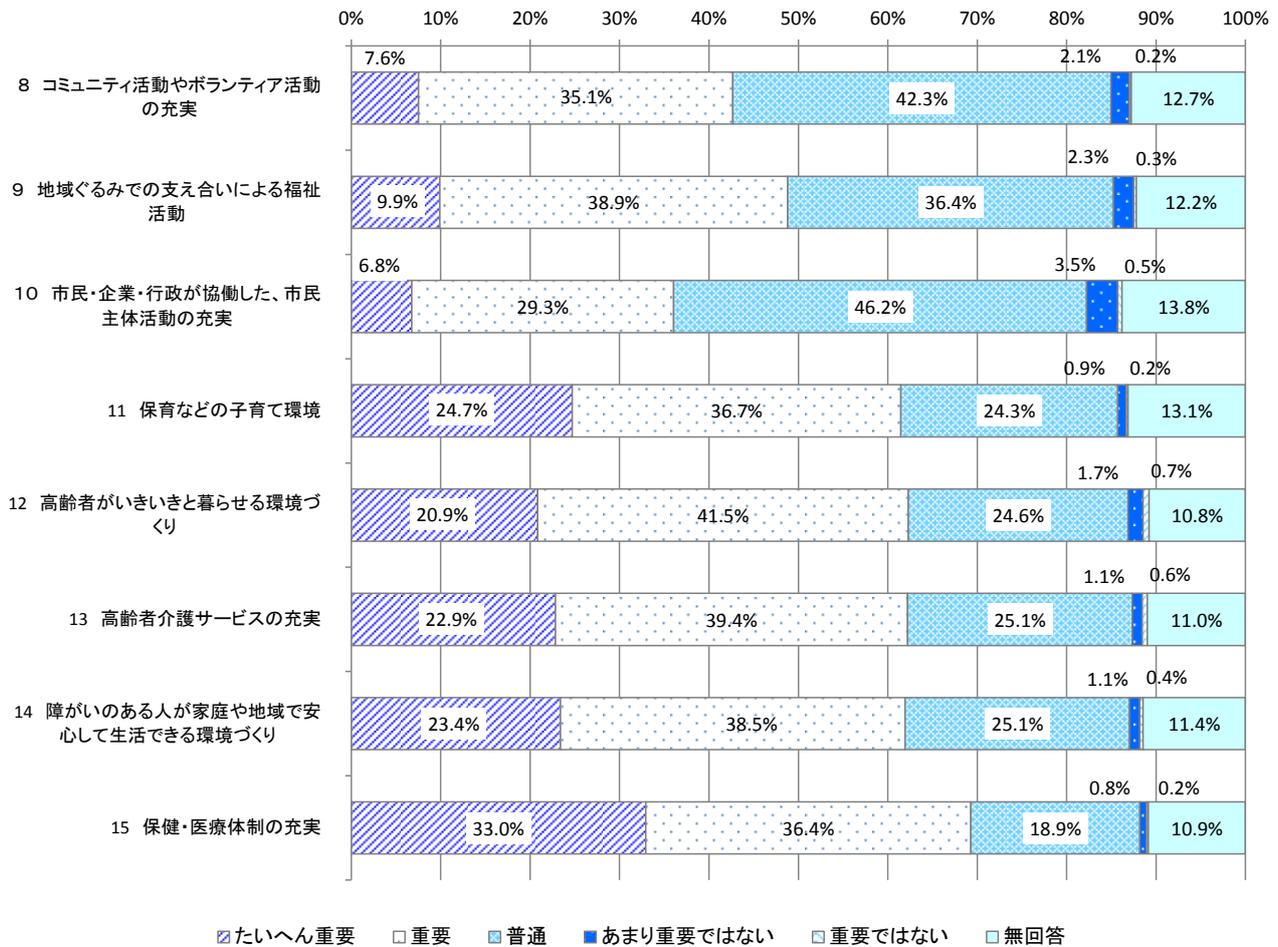
- ・子育てや福祉について詳しい情報が届かない。
- ・子育て、福祉などの良いニュースを全く聞かない。
- ・現在住んでいる地域に保育園が少ないので、仕事復帰ができずに困っている。

地域づくり・子育て・福祉分野「重要度」

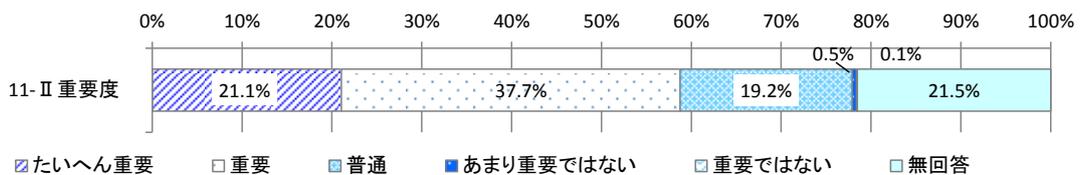
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『15 保健・医療体制の充実』が 69.4%、『12 高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり』が 62.4%、『13 高齢者介護サービスの充実』が 62.3%となっている。

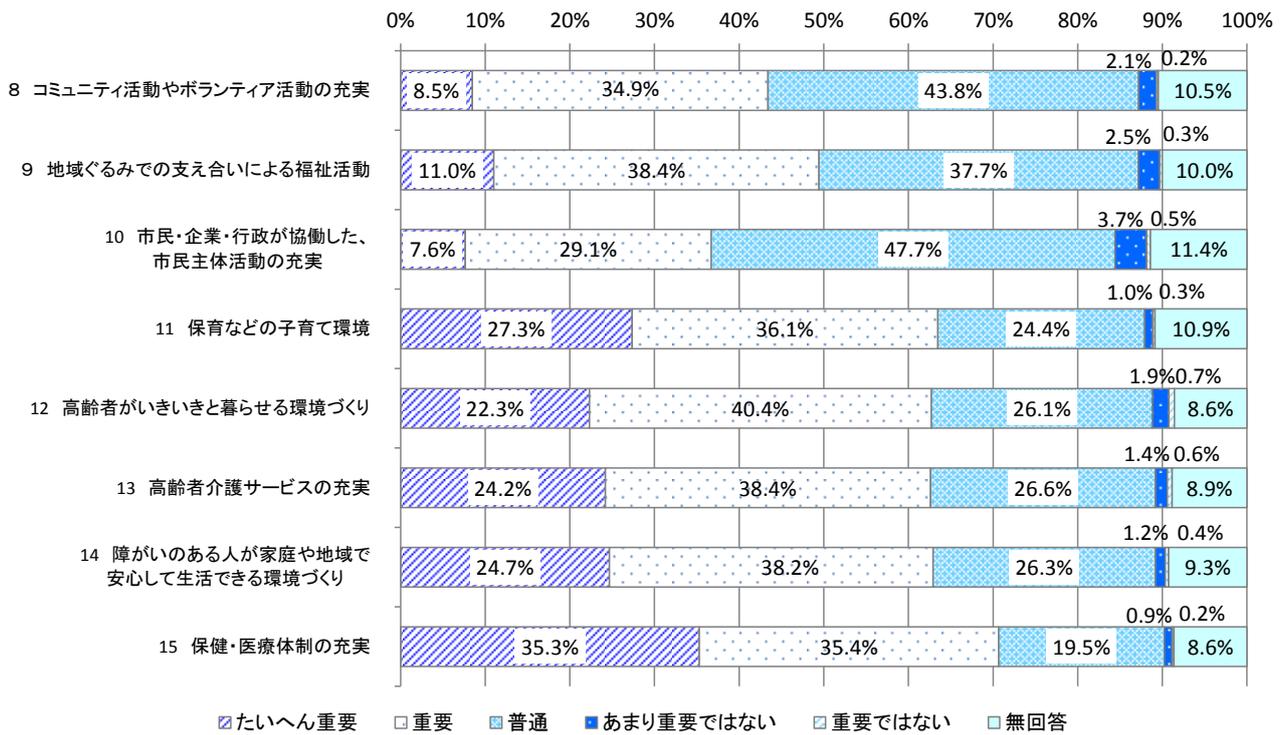
また、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、この分野における全ての項目で数%程度に留まっている。



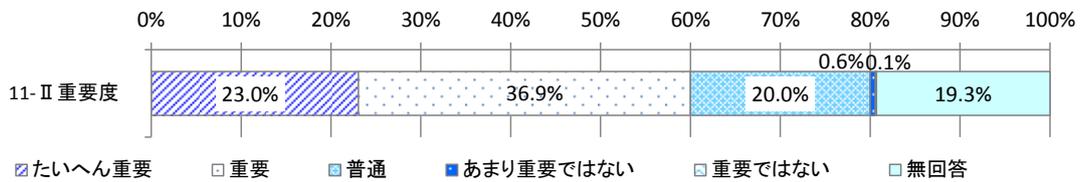
地域づくり・子育て・福祉の分野全体について 重要度



地域づくり・子育て・福祉分野「重要度」(人口比補正後)



地域づくり・子育て・福祉の分野全体について 重要度 (人口比補正後)



地域づくり・子育て・福祉分野全体について「重要度」の理由をご記入ください。(自由意見・抜粋)

■「たいへん重要」と答えた方の主な理由

- ・女性に仕事をしながら子育てをすることが求められるが、得られる収入とサービスを利用するための料金があわず、改善していくべき課題が多い分野と思う。
- ・限られた予算の中で子育てや福祉への支出は今後も増えていくはずなので、地域住民で支え合う活動の充実はとても重要だと思う。
- ・仕事と育児を両立している家庭が多いので、子育て環境に力を入れて欲しい。
- ・高齢者社会では病院施設の拡充は重要である。
- ・子育て世代を市外から呼び込むため、又は流出防止のため、保育、医療費支援をさらに充実させることは大変重要である。
- ・頼れる人が身近におらず、何かあった時にすぐに預けられる施設やシステムがないと、保育園や学童があっても意味がない。
- ・高齢社会で元気な高齢者を生きがいのある環境にすることが大切だと思う。

■「重要」と答えた方の主な理由

- ・安心して子育てができる環境や、中高年が感じる大事な環境とは、治安、医療、物価のトータルバランスだと思う。
- ・高齢化に向けて医療サービスの充実に力をいれていただきたい。
- ・コミュニティ、ボランティア活動に抵抗があるが、近隣の手助けは心がけたい。
- ・コミュニティ維持のために重要。
- ・皆の力を持ってすることに幸せを感じる必要がある。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・地域で子育てを助け合えるような文化が、安全なまちづくりにつながると思う。
- ・近所でもお年寄りや一人暮らしの高齢者が増えているので、重要度を実感している。
- ・高齢者が増える中、一人住まいの人への対応を災害、安全面で図る必要があると考える。
- ・行政ではなく住民が主導でなければならない。
- ・全て平均的で良い。

■「あまり重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・特になし

■「重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・子どもと未来のまちにしたいのか。高齢者商売のまちにしたいのか、はっきりさせるべき。目指さないものに取り組む必要はない。

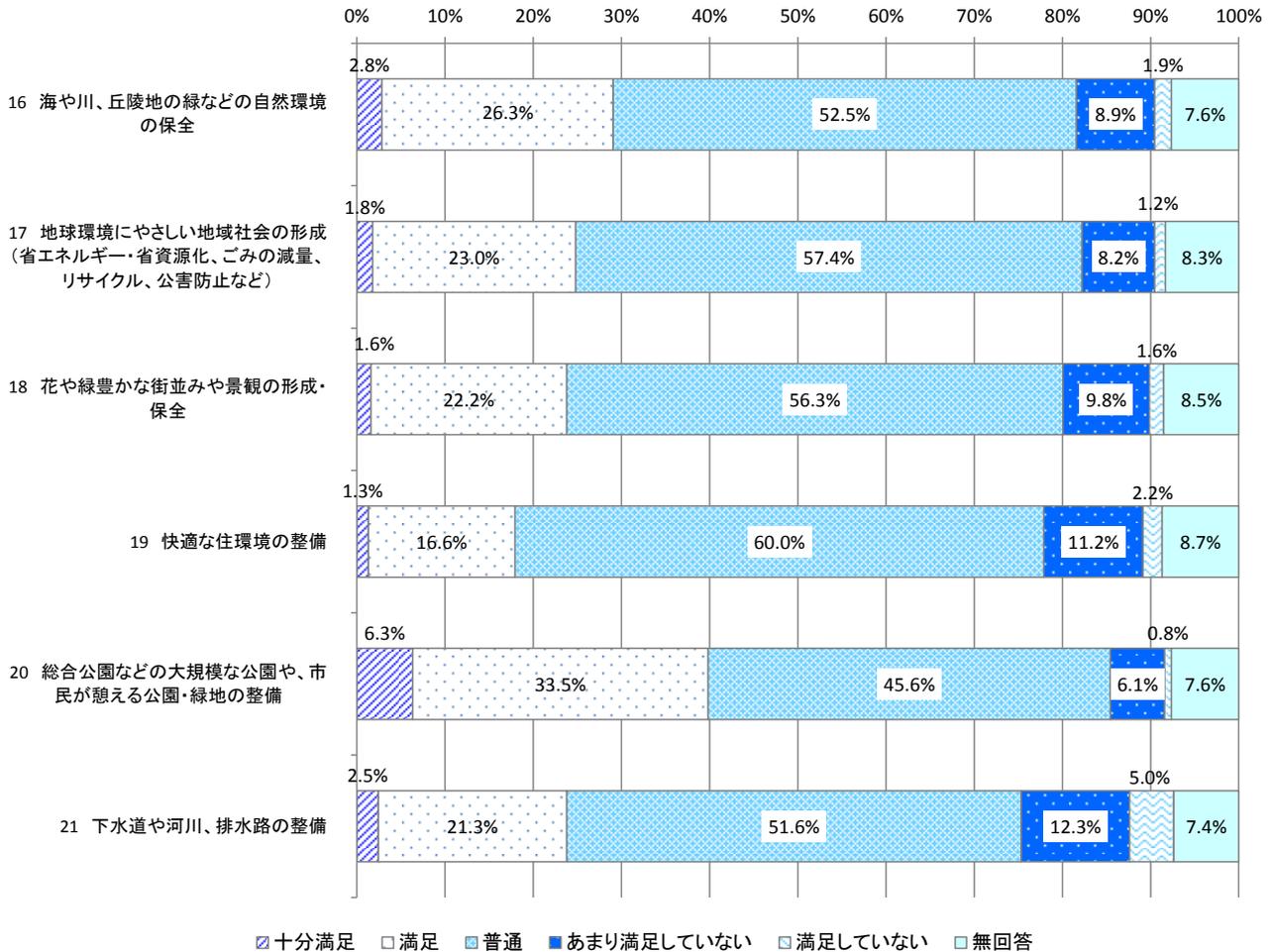
《環境・都市基盤》

環境・都市基盤分野「満足度」

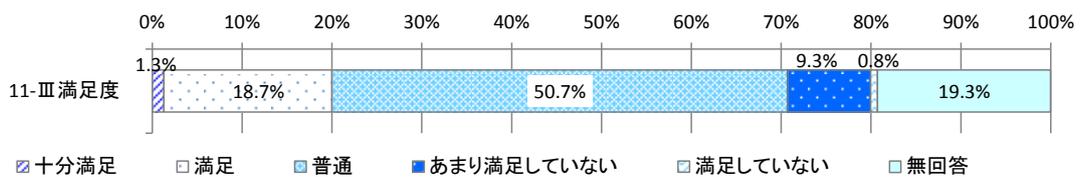
【全体の傾向】

「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『20 総合公園などの大規模な公園や、市民が憩える公園・緑地の整備』が 39.8%と最も高くなっている。

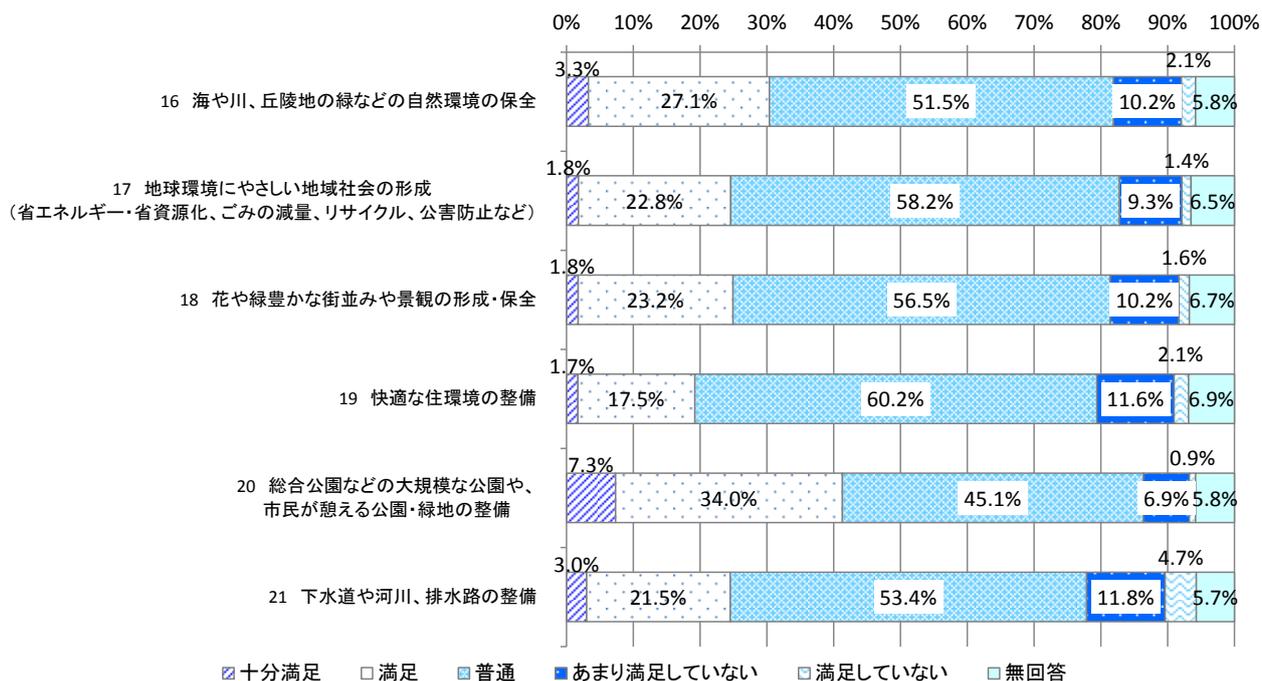
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は『21 下水道や河川、排水路の整備』が 17.3%、『19 快適な住環境の整備』が 13.4%となっている。



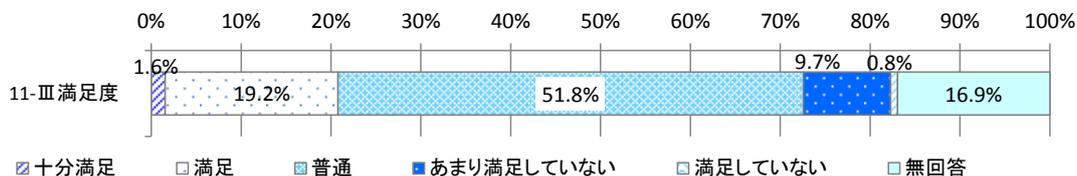
環境・都市基盤の分野全体について 満足度



環境・都市基盤分野「満足度」(人口比補正後)



環境・都市基盤の分野全体について 満足度 (人口比補正後)



環境・都市基盤分野全体について「満足度」の理由をご記入ください。（自由意見・抜粋）

■「十分満足」と答えた方の主な理由

- ・公園が広く美しい。道路、特に歩道が広く整備されている地区なので永住したいと思う。
- ・海、山、川等、自然が豊かである。

■「満足」と答えた方の主な理由

- ・とても住みやすいと思う。
- ・現状の自然環境と都市基盤に対して特に不満はない。
- ・自然環境はとても良いと思う。少しずつ破壊されていると思うがそれでも良い方だと思う。
- ・海岸、河川等の整備又は下水道の整備はかなり充実している。災害にも耐えうる状況だと思われる。
- ・ごみの減量やリサイクル、道の景観の良さなど、とても良い方だと思えたので。
- ・他県から引っ越してきて、山や川がきれいだと思った。
- ・緑あふれる、きれいな街だと思う。子供も育ちやすいし、自然に触れる機会も多い。災害も少ない。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・公園がたくさんあるのは助かる。
- ・ごみの減量やリサイクルが徹底されていない。
- ・市民個々の意識も重要であり、行政だけに期待してはいけない。
- ・10年以上平塚市に住んでいて、特に不足に感じたことはないため。
- ・平塚でも地域によって差があるように感じる。
- ・自然豊かな場所であり、普通から触れ合えるのがいいと思う。
- ・自然はそれなりにあるが、放置されている印象がある。
- ・街並み、公園施設は整備されているが、そのメンテナンスがおろそかになっていることが多い。

■「あまり満足していない」と答えた方の主な理由

- ・海が汚い。川からごみが流れている可能性があるので川の清掃も必要かと思う。
- ・公園が少なく、総合公園はいつも混んでいて遊べない。
- ・ごみの出し方が悪く、投げ捨てても日常的に見られる。
- ・台風の時、排水溝にごみがたまり、排水が不良な所があった。河川も美化されてきたが、まだ満足できないところがある。

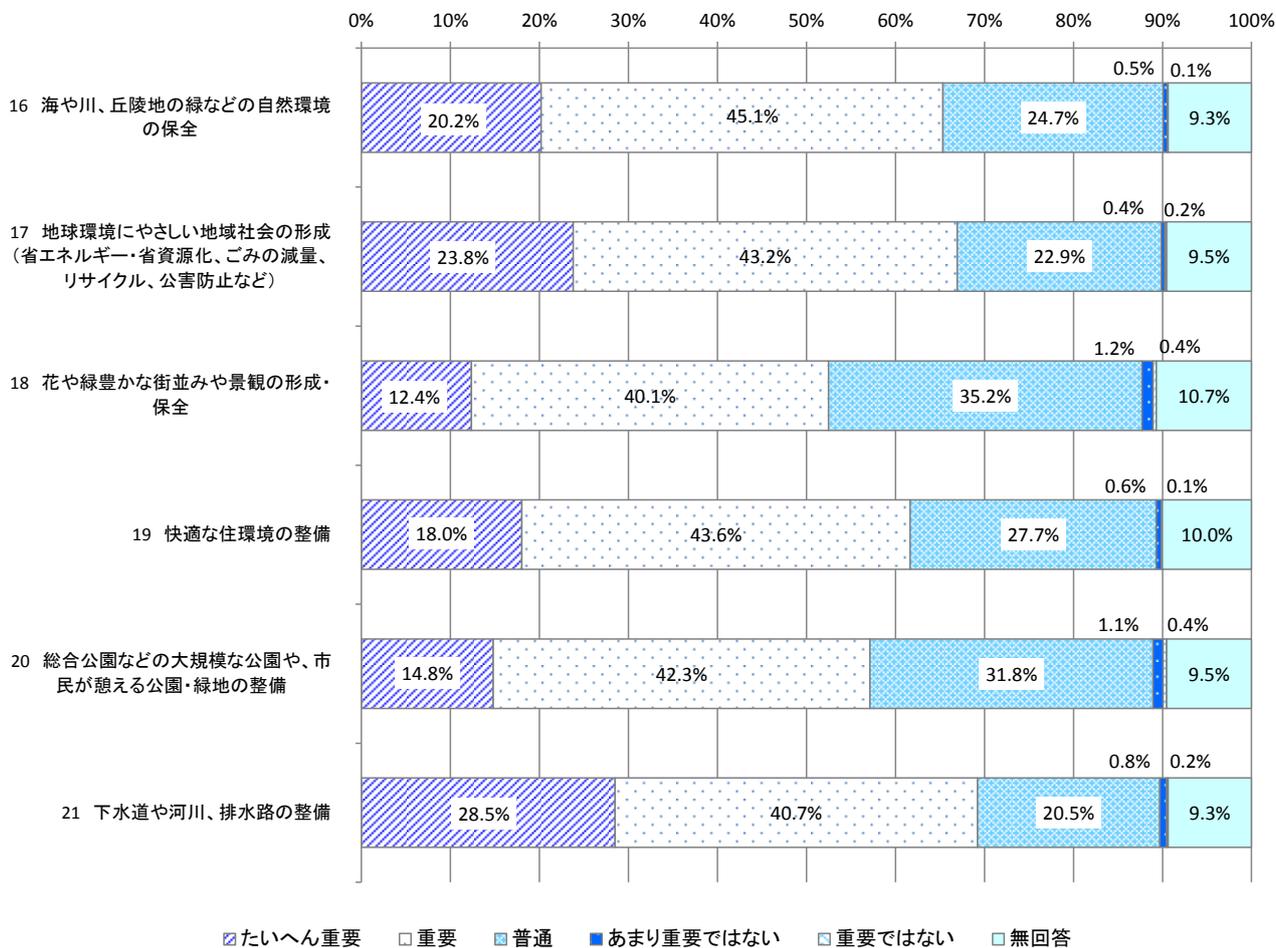
■「満足していない」と答えた方の主な理由

- ・都市基盤、特に下水道や河川排水路の整備が遅れている。
- ・去年も台風で浸水したのに今年もまた浸水した。

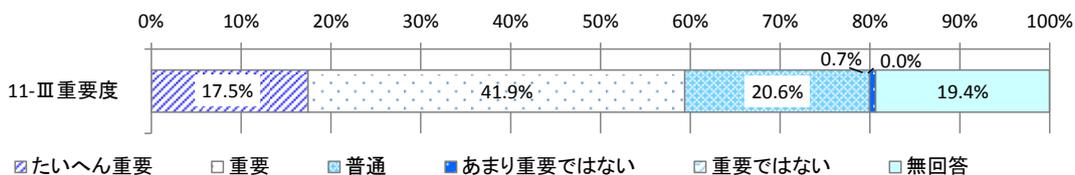
環境・都市基盤分野「重要度」

【全体の傾向】

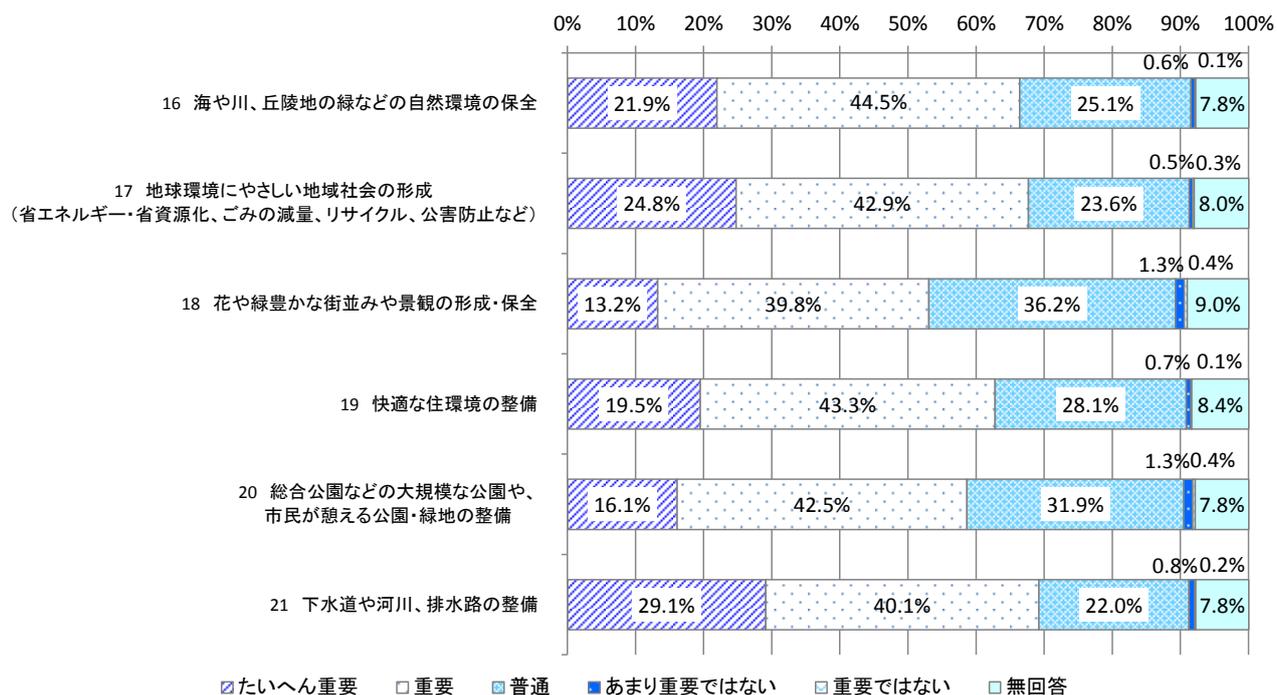
「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『21 下水道や河川、排水路の整備』が 69.2%、『17 地球にやさしい地域社会の形成』が 67.0%、『16 海や川、丘陵地などの自然環境の保全』が 65.3%となっている。



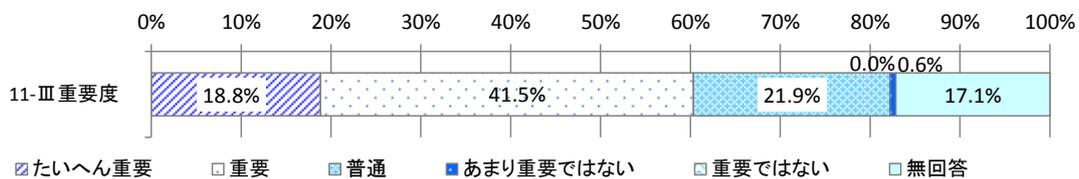
環境・都市基盤の分野全体について 重要度



環境・都市基盤分野「重要度」(人口比補正後)



環境・都市基盤の分野全体について 重要度 (人口比補正後)



環境・都市基盤分野全体について「重要度」の理由をご記入ください。（自由意見・抜粋）

■「たいへん重要」と答えた方の主な理由

- ・生活に直接関係しているから。
- ・環境に恵まれているため、もっと質をあげられると思う。
- ・生活の中で環境はとても重要であり、心身の健康や成長に影響が大きいと思う。
- ・異常気象が日常化する恐れがあるので、下水道、河川、排水路の整備は重要になる。
- ・将来の子どもたちのために自然を残して欲しい。
- ・一時的な開発などではなく、長く愛されるようなまちづくり、又は環境保全をして欲しい。
- ・まちの自然環境が良くなければ、住み心地が悪くなる。
- ・環境にやさしい都市基盤が整っていれば、安心して暮らせ、まちの価値も高まる。

■「重要」と答えた方の主な理由

- ・他市からの移住や市民の流出を防ぐために都市基盤の整備は重要。
- ・現状維持できれば良いと思う。
- ・安心して生活するには、水、空気がきれいであれば健康を害する可能性が高いから。
- ・海、山、川、あらゆる災害に対応したまちづくりは、まちを守り、人を守るものとして重要。
- ・行政主導でなければできないので重要。
- ・整備できれば安心して生活でき、誇れる市になる。好きな平塚にしたい。
- ・自然と共存して快適に暮らすことが幸せにつながる。
- ・住みたいまちの条件として、まちなみがきれいで近くに広い公園があることが挙げられるから。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・もっと花や緑があったら素敵だと思う。
- ・生活をしていく上での最低限の都市基盤が整っていればよい。過剰なインフラ投資はお金の無駄。
- ・生活する上での基準は満たしているので現状維持、向上が出来たら良い。
- ・特に最優先で取り組むものではないが、不可欠なものでもある。
- ・河川や排水路の整備は、水害対策としてとても重要。その他は市がどうのこうのというより、市民のマナーの問題だと思う。
- ・台風などが来て不安なので、重要だと思う。

■「あまり重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・必要以上に税金を使用するべきではないと考える。

■「重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・特になし

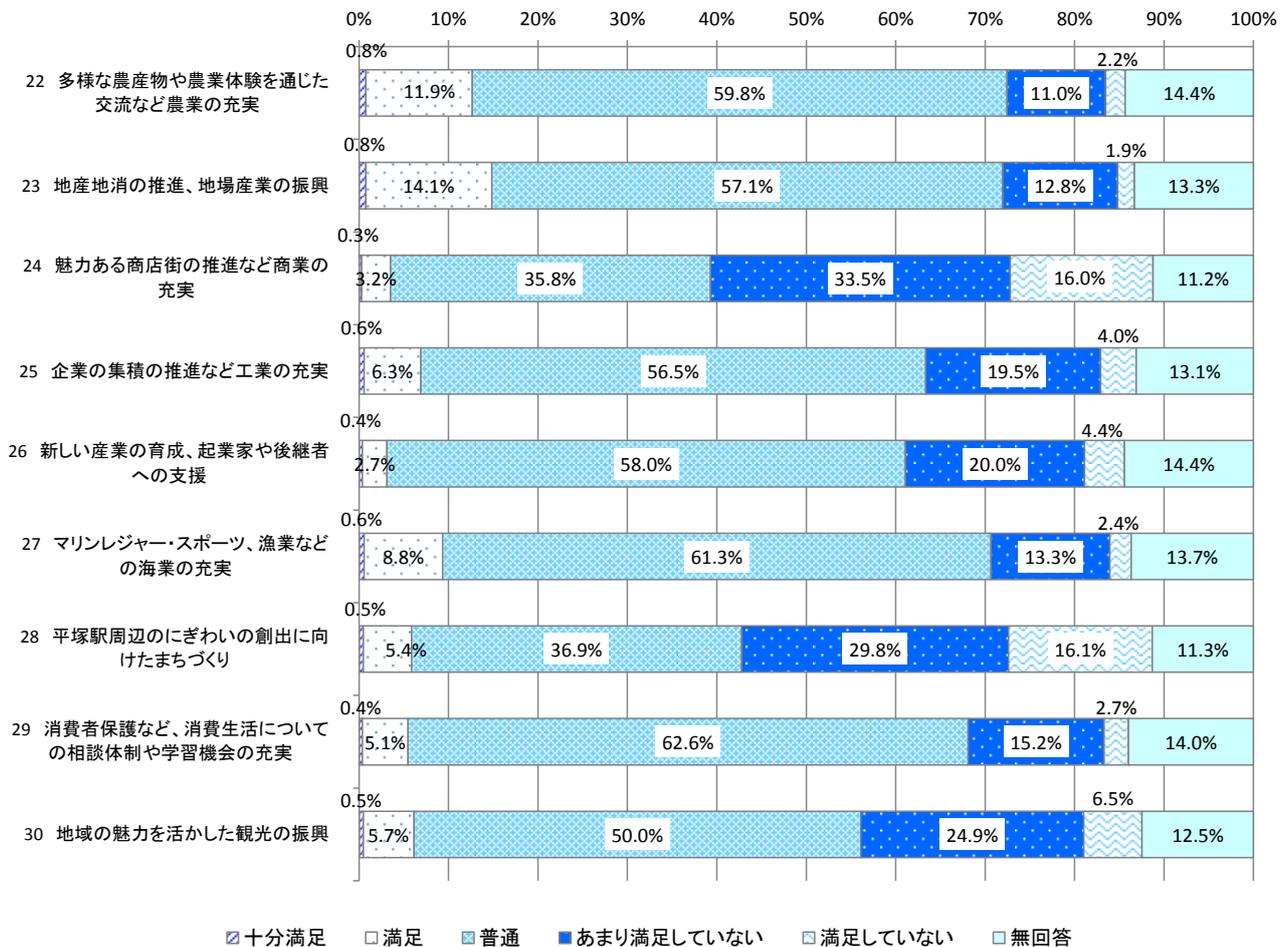
《産業》

産業分野「満足度」

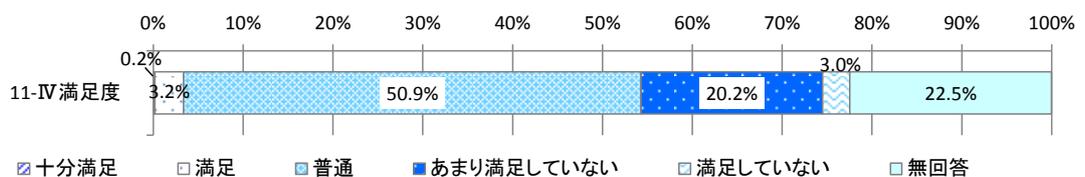
【全体の傾向】

産業分野については全体的に満足度が低く、「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、この分野の項目において、高いもので『23 地産地消の推進、地場産業の振興』の14.9%となっている。

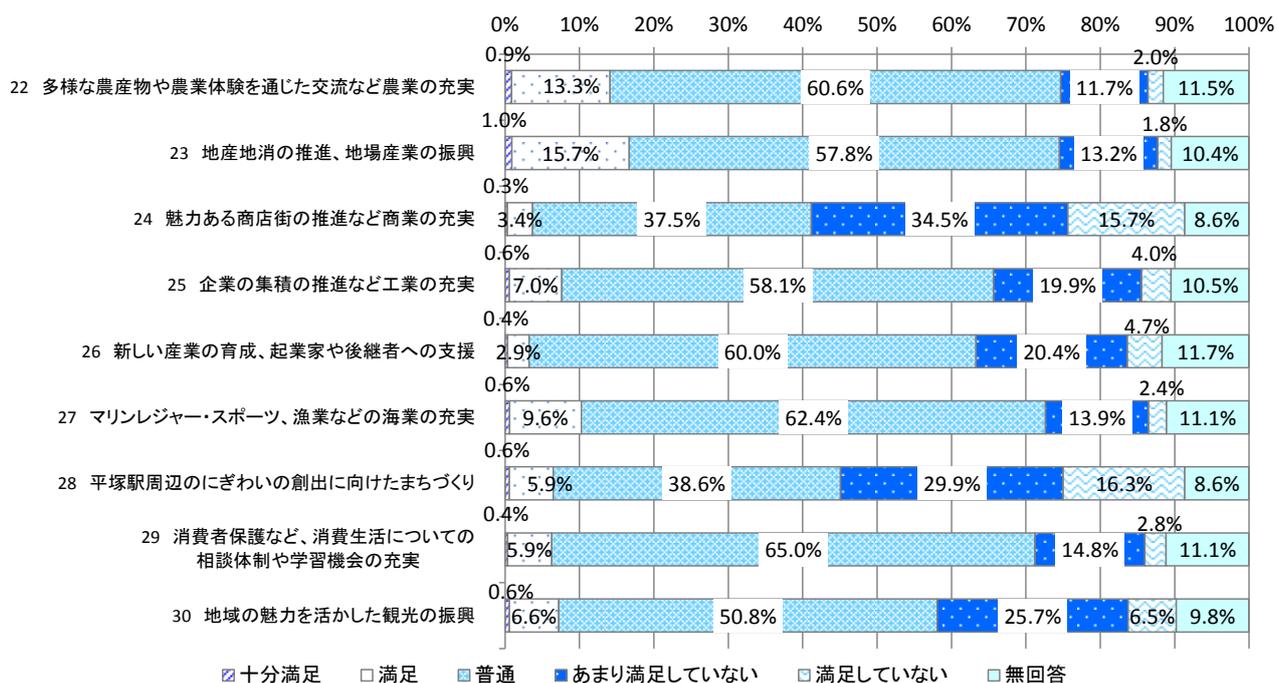
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『24 魅力ある商店街の推進など商業の充実』が49.5%、『28 平塚駅周辺のにぎわいの創出に向けたまちづくり』が45.9%となっている。



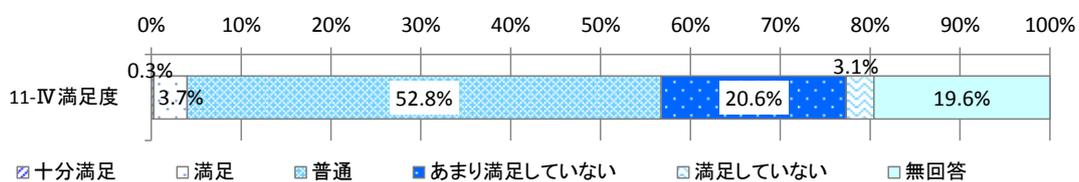
産業の分野全体について 満足度



産業分野「満足度」(人口比補正後)



産業の分野全体について 満足度 (人口比補正後)



産業分野全体について「満足度」の理由をご記入ください。(自由意見・抜粋)

■「十分満足」と答えた方の主な理由

- ・湘南という立地条件に恵まれているので観光は大いに期待している。

■「満足」と答えた方の主な理由

- ・農業、工業、漁業がバランス良く充実していると思う。
- ・あさつゆ広場が好き。JA直売所でもよく購入する。野菜がおいしい。
- ・平塚駅周辺には昔ながらの素晴らしい商店もたくさん残っていてうれしい気持ちに。昔の趣を残しながら発展して欲しい。
- ・花菜ガーデンなど、子どもがいても楽しめ、野菜も買えて満足。
- ・小学校では給食や授業で産業分野の体験をする機会が多くあり、ありがたい。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・平塚市街地の産業の今後に不安がある。
- ・市内において新しい産業もできてきていると思うが、まだ成長発達の途中であると考えため。
- ・周辺市町と比べてかなり劣っているとは思えない点で普通と感じた。
- ・地産地消については市の様々な場所で平塚産の野菜を見かけ、店側もPRしている。ベジ太はつどいの広場に設置する絵本で親子共に馴染みがある。
- ・産業全体で少し活気がないように思える。
- ・収穫体験の募集や平塚産の食材を利用した給食、消費生活の講座開催などいろいろ頑張っていると思う。
- ・七夕祭りが年々小さくなって残念。
- ・漁港に食堂ができ、魅力がある場所が増えたように感じる。

■「あまり満足していない」と答えた方の主な理由

- ・大企業の撤退、メインストリートのシャッター街等、不満の方が多い。
- ・まちとしてのアピール度に欠ける。
- ・全てに満足していない。市内はマンションばかり建ち、産業が育っていない。
- ・農業や工場については地域が集積されているが、商業については大きな施設もなく、また特別魅力がある店舗もなく、市外へ買い物に行っているため。

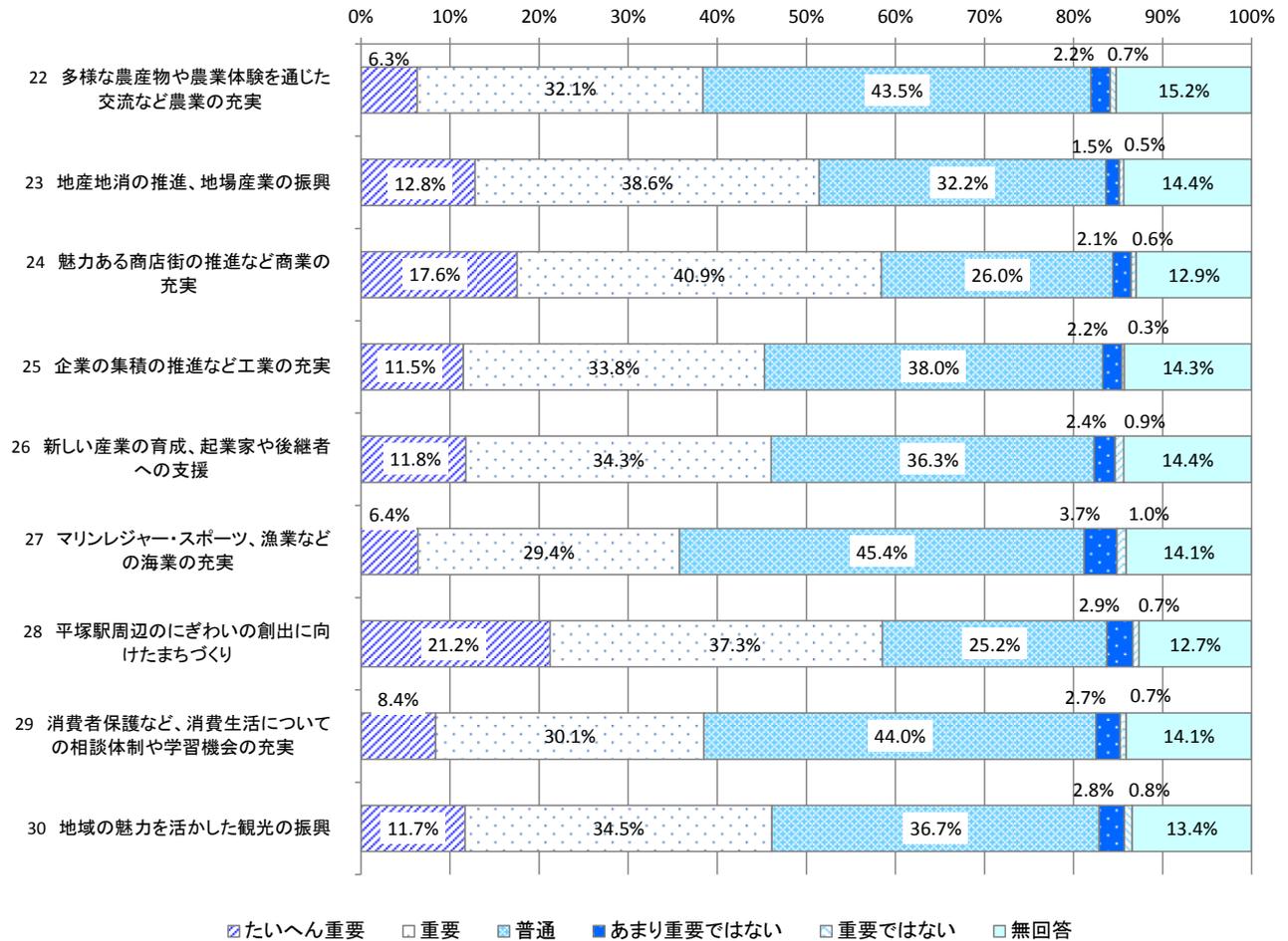
■「満足していない」と答えた方の主な理由

- ・駅周辺の商業等、近隣市と比べると魅力に欠ける。
- ・駅前に活気がなさすぎる。
- ・駅前の商店街が寂れていて、買い物する気がしない。
- ・地産地消にしても何が特産なのか分かりづらく、置いてある店も少ない。

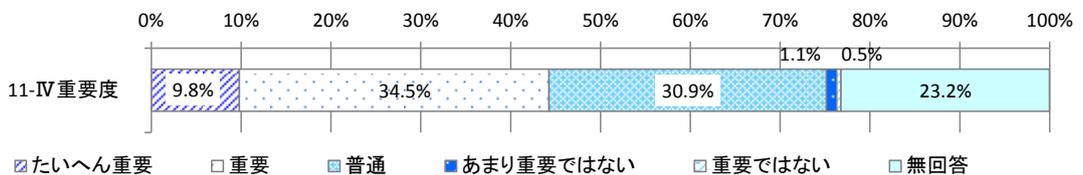
産業分野「重要度」

【全体の傾向】

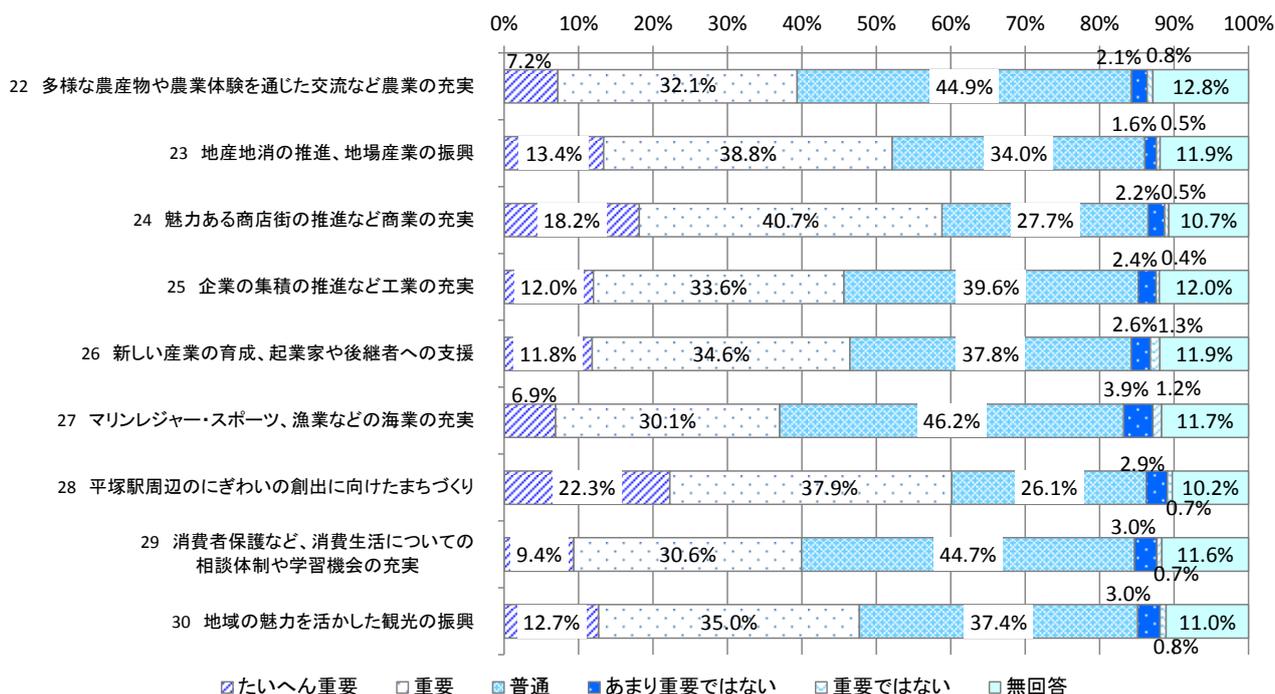
「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『24 魅力ある商店街の推進など商業の充実』と『28 平塚駅周辺のにぎわいの創出に向けたまちづくり』が共に 58.5%、『23 地産地消の推進、地場産業の振興』が 51.4%となっている。



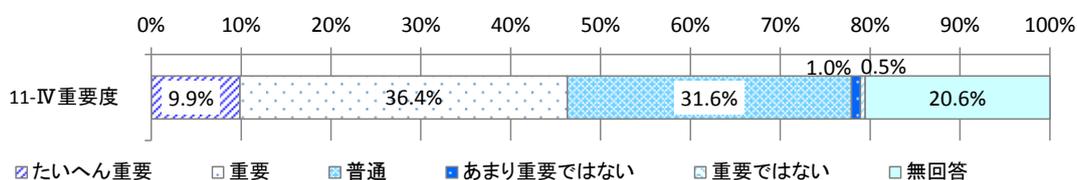
産業の分野全体について 重要度



産業分野「重要度」(人口比補正後)



産業の分野全体について 重要度 (人口比補正後)



産業分野全体について「重要度」の理由をご記入ください。(自由意見・抜粋)

■「たいへん重要」と答えた方の主な理由

- ・平塚を明るいにぎやかなまちにするために重要。
- ・仕事がなければ消費はよくなる。
- ・地産地消や農業、漁業の六次産業化が進めば、地域が活性化する。地元での雇用が増えれば子育て中の女性も働きやすい。
- ・市の活性化、税収も上がらなければまちが衰退してしまう。
- ・平塚市の良さを前面に出すことが、平塚市の存在感をアピールすることにつながるため。
- ・まちの特色が強くなるのが産業分野だと思う。他地域に自慢できるものが少なければ、まちとしての盛り上がりも欠けるから。

■「重要」と答えた方の主な理由

- ・他のまちからたくさん人が集まるようなまちにして欲しい。
- ・まちのイメージをつくるためにも重要。
- ・快適な生活には切り離せない項目であるため。
- ・人が来なければ活性化しない。
- ・住み続けるからには、自慢できる産業が欲しい。
- ・現在の経済状況からみて諸産業の発展は大変重要。
- ・市がもっと活性化するのに新しい産業は必要。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・今できることを将来に続けていければよいのではないかと。税金の使い方を大切にしたい。
- ・農業体験をさせてもらったことがあるが、とてもいい経験になった。
- ・身近に感じるものではないため。
- ・商業誘致はお金の無駄。税収が見込める産業誘致をすべき。
- ・企業の誘致や商店街の充実が活気をもたらすだけでなく、治安の維持などにも関係していると思う。
- ・他に優先すべきことがあると思う。
- ・近隣都市との差別化が図れなければ、衰退すると思われる。

■「あまり重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・観光地にはなりきれないと思う。観光に投資するなら住環境の整備を優先して欲しい。駅周辺ばかり栄えても暮らしづらい。

■「重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・産業は自分達の努力ですべきであり、税金を使う必要はない。

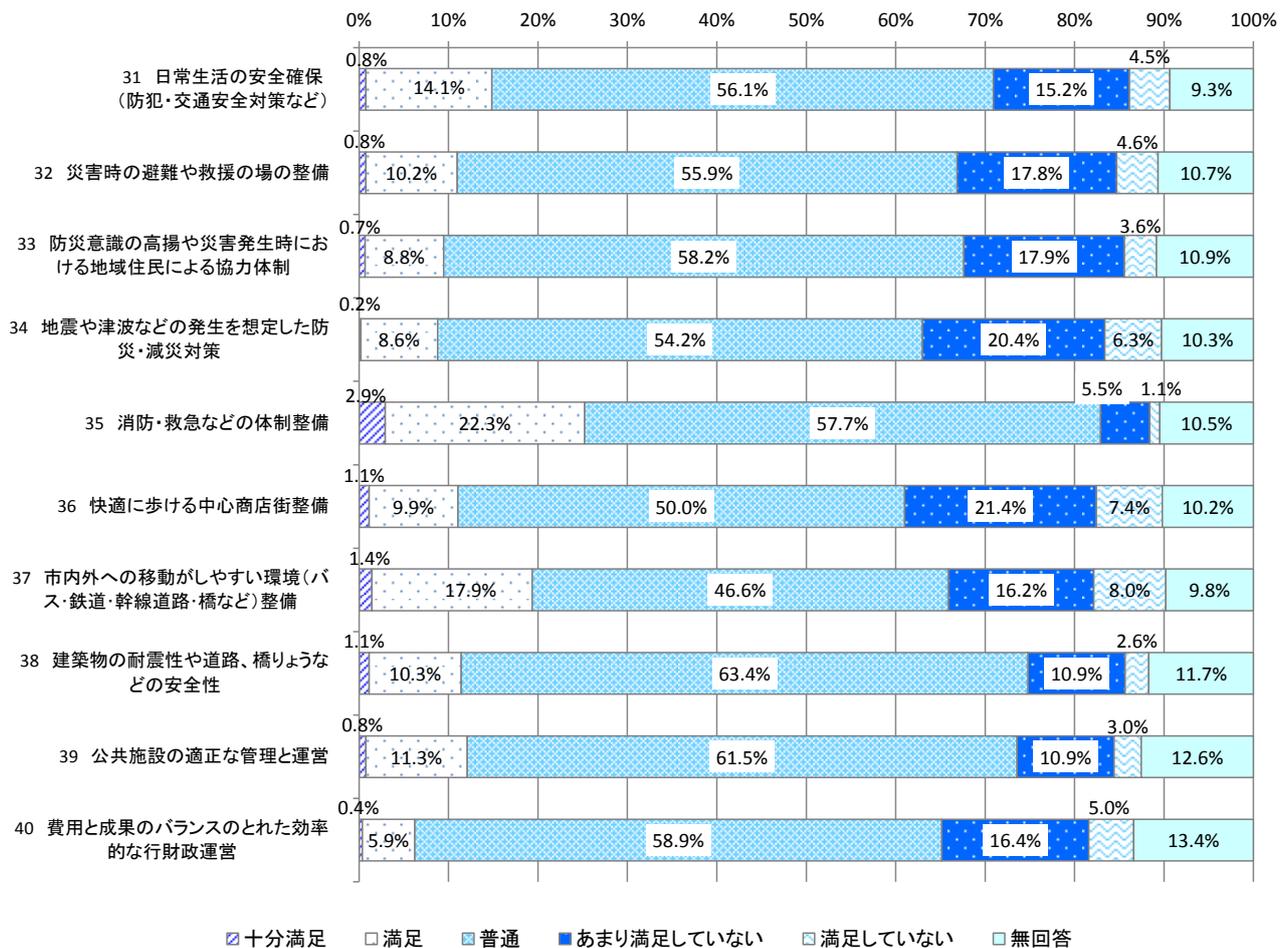
《安全・快適・行政》

安全・快適・行政分野「満足度」

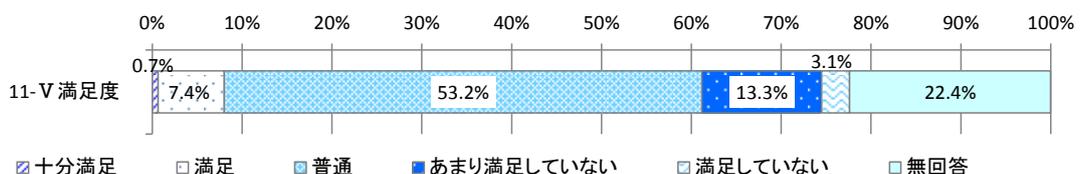
【全体の傾向】

「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、高いものから順に『35 消防・救急などの体制整備』が 25.2%、『37 市内外への異動がしやすい環境整備』が 19.3%となっている。

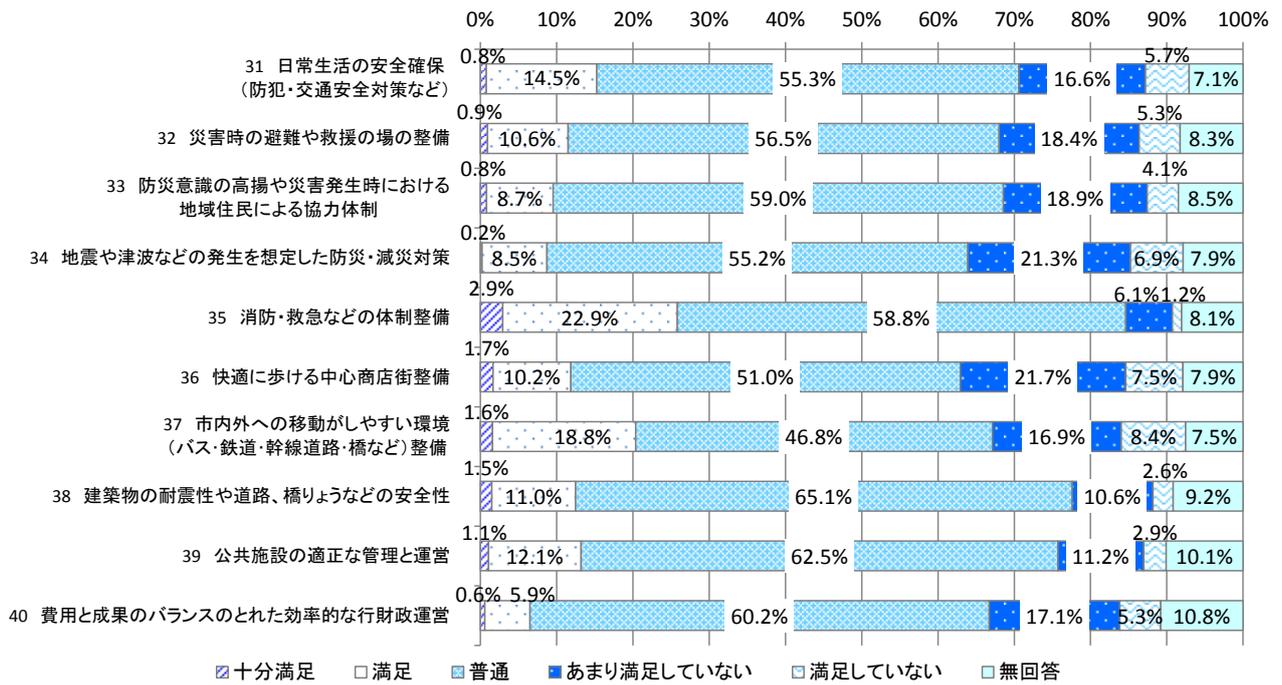
また「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『36 快適に歩ける中心商店街整備』が 28.8%、『34 地震や津波などの発生を想定した防災・減災対策』が 26.7%となっている。



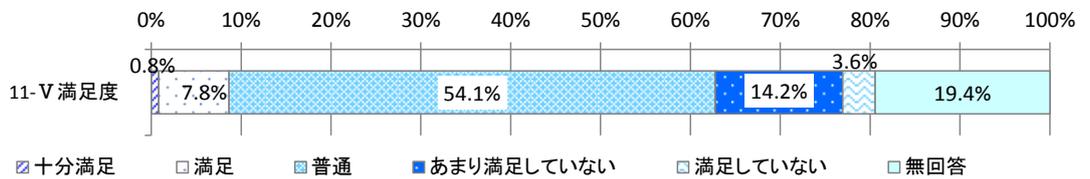
安全・快適・行政の分野全体について 満足度



安全・快適・行政分野分野「満足度」(人口比補正後)



安全・快適・行政の分野全体について 満足度 (人口比補正後)



安全・快適・行政分野全体について「満足度」の理由をご記入ください。（自由意見・抜粋）

■「十分満足」と答えた方の主な理由

- ・ハザードマップを配付していたり、駐輪場の整備がきちんと行われていたりしているため。
- ・防犯、防災など市民の安全のための環境整備は問題なく、満足している。
- ・今は不自由していない。

■「満足」と答えた方の主な理由

- ・自治会単位で日頃訓練を実施しており、やや満足している。
- ・危険な噂を耳にするが、目に見えて生活が脅かされる事態になっていないため良い。ただし、鉄道等で県外に行くのは不便。
- ・自然災害が増えているのを感じており、住民も意識が高くなっている。
- ・公民館、福社会館等、他市と比べ平塚は良く整備されていると思う。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・平時、非常時とも安心、安全、快適は重要だが、ヒト、モノ、カネは有限であるため、どうバランスをとればいいのか判断が難しい。
- ・夜間の駅周辺の安全が確保されていない。
- ・車や自転車のマナーが悪すぎる。
- ・自治会で最近とても話し合いが行われており、意識が高くなっているため。
- ・家屋の耐震化工事の助成が的確になされ、安心できた。津波の講演会があり認識が深まった。
- ・駅周辺の自転車置き場がいつもいっぱい置く場所がない。
- ・備えあれば憂い無しだが、限りある財源の中で、最大の施策がされている。
- ・バスに乗って外出してみると、平塚は安心して外出することができるとても良いまちだと思う。

■「あまり満足していない」と答えた方の主な理由

- ・犯罪が多いし、安心して歩けないため。
- ・避難場所が良くわからない。
- ・河川が2本もあるのにあまり対策がされていない。津波避難ビルが増えているのは良い。
- ・災害活動の体制づくり、システム整備ができていると思えない。
- ・災害時の具体的な計画を知らせて欲しいが、わからないことが多い。

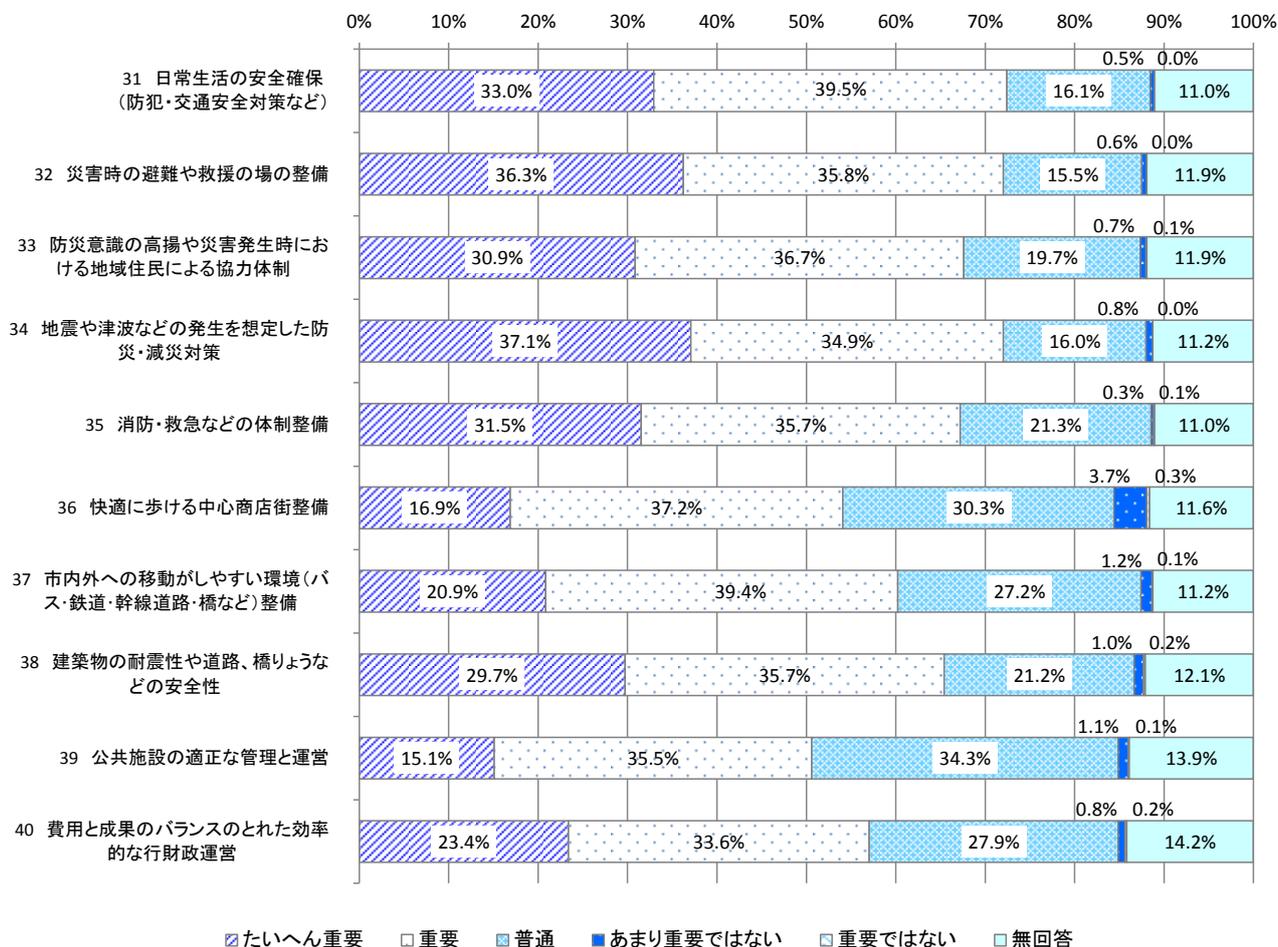
■「満足していない」と答えた方の主な理由

- ・バス移動だけで交通手段が少ない。
- ・箱モノが多すぎる。特定の市民のみ使っている。
- ・自転車通勤をしているが、危ないと思う所が何か所もある。歩道が狭く、車が多く通るところは自転車通行帯が欲しい。
- ・信号無視など、安全が確保できていない。駅周辺は、夜怖くて歩けない。

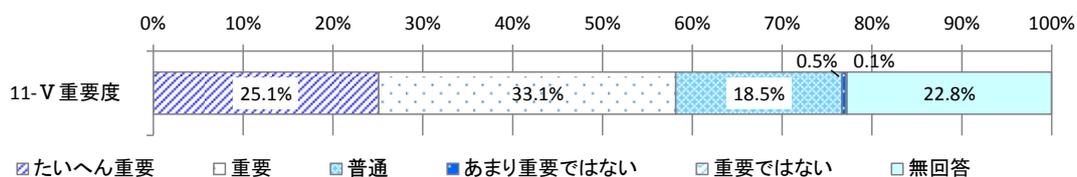
安全・快適・行政分野「重要度」

【全体の傾向】

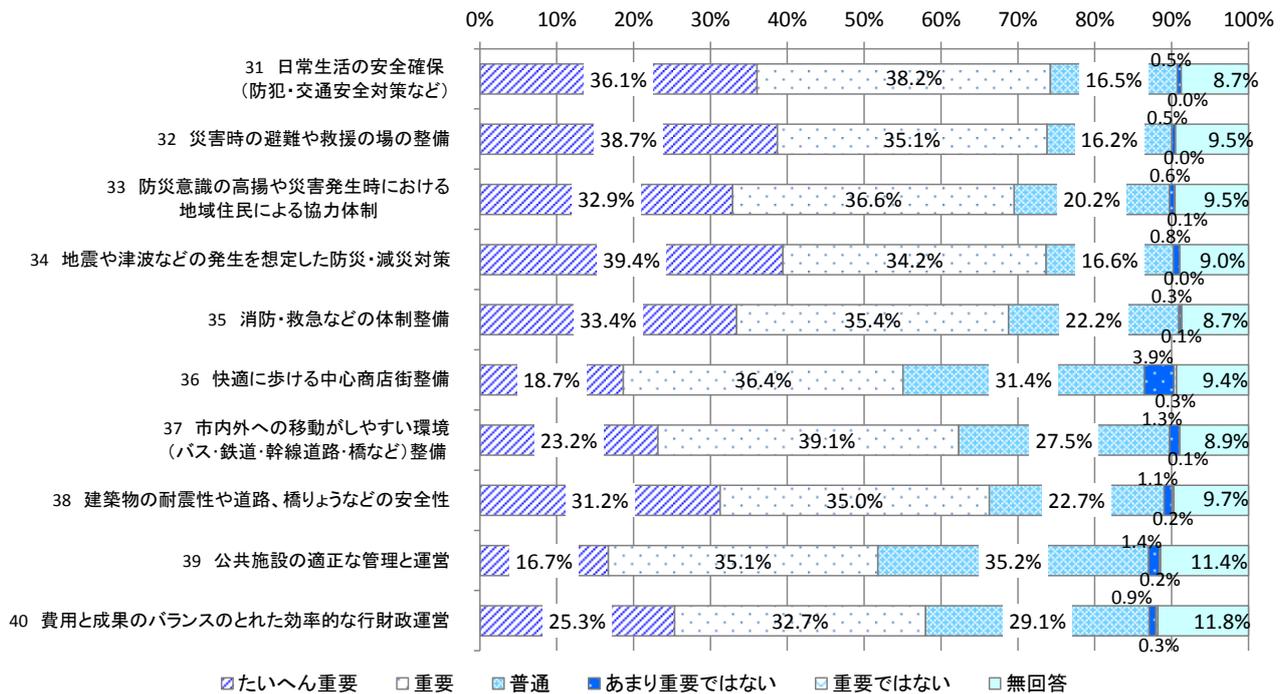
「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『31 日常生活の安全確保』が72.5%、『32 災害時の避難や救援の場の整備』が72.1%、『34 地震や津波などの発生を想定した防災・減災対策』が72.0%となっており、災害時や日常の安全に関する項目で高くなっている。



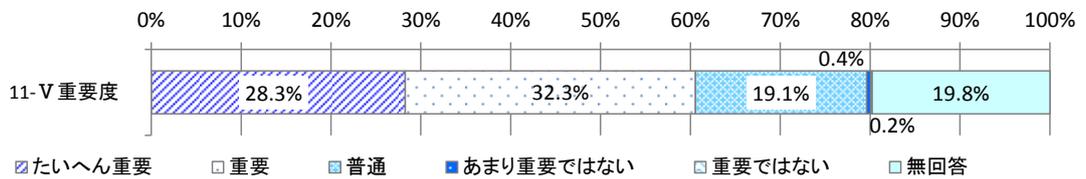
安全・快適・行政の分野全体について 重要度



安全・快適・行政分野分野「重要度」(人口比補正後)



安全・快適・行政の分野全体について 重要度 (人口比補正後)



安全・快適・行政分野全体について「重要度」の理由をご記入ください。（自由意見・抜粋）

■「たいへん重要」と答えた方の主な理由

- ・災害時の各自の意識を高める必要がある。
- ・生活インフラの整備は、平塚再生のためにも重要なテーマ。
- ・公共施設での交流をするための適正な管理や運営、設備が重要だと思う。
- ・頻度は低くても命に関わることのため重要。
- ・安心して生活できるまちづくりは、子育てする上でも大変重要。
- ・今後は高齢者が多くなり、安全安心な施設が今以上に必要である。
- ・海、川に囲まれた地域であるため、重要な課題であると思う。

■「重要」と答えた方の主な理由

- ・行政で行える範囲で効率的に行い、市民に負担がかからないようにして欲しい。
- ・安心して快適な毎日を過ごすことに越したことはない。
- ・東海道線がストップすると交通マヒを起こしてしまうのは問題。
- ・この分野は本市の魅力に直結するもの考える。
- ・一部の意見を偏重する傾向があり、費用をかけ過ぎている部分が多いと思う。
- ・住民税が高い割に効率的な行政運営ができていない。成果をもっと期待する。
- ・地震や津波が心配。道路や橋の老朽化が心配。
- ・治安は重要。犯罪が身近にある生活は将来設計が不安になる。

■「普通」と答えた方の主な理由

- ・非常時に効果が発揮されるため重要であるが、日常ではあまり重要性を感じなくなった。
- ・中心商店街に行くことはほとんどないため、駅周辺商店街の整備が必要とも思わない。
- ・災害が身近に感じられるため、防災、減災対策は重要視して欲しい。

■「あまり重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・箱モノはいらない。

■「重要ではない」と答えた方の主な理由

- ・特になし

満足度と重要度の相関

【4】のまちづくりの状況について、項目間の比較をするため、次の式で各項目の評価点を算出し、散布図を作成した。

指数計算式

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「十分満足 (たいへん重要)」} \times 2 \text{点}) + (\text{「満足 (重要)」} \times 1 \text{点}) + (\text{「普通」} \times 0 \text{点}) + (\text{「あまり満足していない (あまり重要ではない)」} \times -1 \text{点}) + (\text{「満足していない (重要ではない)」} \times -2 \text{点})}{\text{回答数} - \text{無回答数}}$$

上記の計算式で算出した評価点を、横軸に「満足度」、縦軸に重要度としてグラフ化した。(図1) 散布図内の番号は各項目の番号を表している。

なお、散布図内にある補助線は、全項目の平均値である。

分野	項目	評価点	
		満足度	重要度
生涯学習・教育・交流	1 青少年が心身ともに健全に成長する環境	-0.05	1.20
	2 男女共同参画社会や人権擁護など、自由で平等な地域社会	0.01	0.61
	3 学校教育の充実	-0.03	1.17
	4 文化、スポーツなど市民の生涯学習活動の支援や施設の整備	0.16	0.68
	5 様々なスポーツやレクリエーションが行える環境	0.22	0.51
	6 芸術や文化にふれあい、はぐくむ環境	0.10	0.51
	7 国際交流や外国籍市民との交流、国内各都市との交流・協力	-0.15	0.36
子育て・福祉	8 コミュニティ活動やボランティア活動の充実	-0.01	0.55
	9 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	-0.05	0.64
	10 市民・企業・行政が協働した、市民主体活動の充実	-0.12	0.45
	11 保育などの子育て環境	-0.04	0.98
	12 高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり	-0.09	0.90
	13 高齢者介護サービスの充実	-0.08	0.93
	14 障がいのある人が家庭や地域で安心して生活できる環境づくり	-0.14	0.94
15 保健・医療体制の充実	-0.01	1.13	
環境・都市基盤	16 海や川、丘陵地の緑などの自然環境の保全	0.21	0.94
	17 地球環境にやさしい地域社会の形成 (省エネルギー・省資源化、ごみの減量、リサイクル、公害防止など)	0.17	0.99
	18 花や緑豊かな街並みや景観の形成・保全	0.14	0.70
	19 快適な住環境の整備	0.04	0.88
	20 総合公園などの大規模な公園や、市民が憩える公園・緑地の整備	0.42	0.77
21 下水道や河川、排水路の整備	0.04	1.07	
産業	22 多様な農産物や農業体験を通じた交流など農業の充実	-0.02	0.49
	23 地産地消の推進、地場産業の振興	-0.01	0.72
	24 魅力ある商店街の推進など商業の充実	-0.69	0.84
	25 企業の集積の推進など工業の充実	-0.23	0.63
	26 新しい産業の育成、起業家や後継者への支援	-0.30	0.63
	27 マリンレジャー・スポーツ、漁業などの海業の充実	-0.09	0.42
	28 平塚駅周辺のにぎわいの創出に向けたまちづくり	-0.63	0.86
	29 消費者保護など、消費生活についての相談体制や学習機会の充実	-0.17	0.50
	30 地域の魅力を活かした観光の振興	-0.36	0.62
安心・安全・快適・行政	31 日常生活の安全確保(防犯・交通安全対策など)	-0.10	1.18
	32 災害時の避難や救援の場の整備	-0.17	1.22
	33 防災意識の高揚や災害発生時における地域住民による協力体制	-0.17	1.11
	34 地震や津波などの発生を想定した防災・減災対策	-0.27	1.22
	35 消防・救急などの体制整備	0.23	1.11
	36 快適に歩ける中心商店街整備	-0.27	0.76
	37 市内外への移動がしやすい環境(バス・鉄道・幹線道路・橋など)整備	-0.13	0.90
	38 建築物の耐震性や道路、橋りょうなどの安全性	-0.04	1.07
	39 公共施設の適正な管理と運営	-0.05	0.75
	40 費用と成果のバランスのとれた効率的な行財政運営	-0.23	0.92

【全体の傾向】

【4】まちづくりの状況における全40項目を比較した結果、重要度が高く、満足度も高いものは『35 消防・救急などの体制整備』や『17 地球にやさしい地域社会の形成（省エネルギー・省資源化、ごみの減量、リサイクル、公害防止など）』など10項目だった。

重要度は高いが、満足度が低い項目は『34 地震や津波などの発生を想定した防災・減災対策』や『28 平塚駅周辺のにぎわい創出に向けたまちづくり』など11項目だった。

また、重要度は低いが、満足度が高い項目は『20 総合公園など大規模な公園や、市民が憩える公園・緑地の整備』や『5 様々なスポーツやレクリエーションが行える環境』など11項目だった。

さらに、重要度が低く、満足度も低い項目は『7 国際交流や外国籍市民との交流、国内各都市との交流・協力』や『27 マリンレジャー・スポーツ、漁業などの海業の充実』など8項目だった。

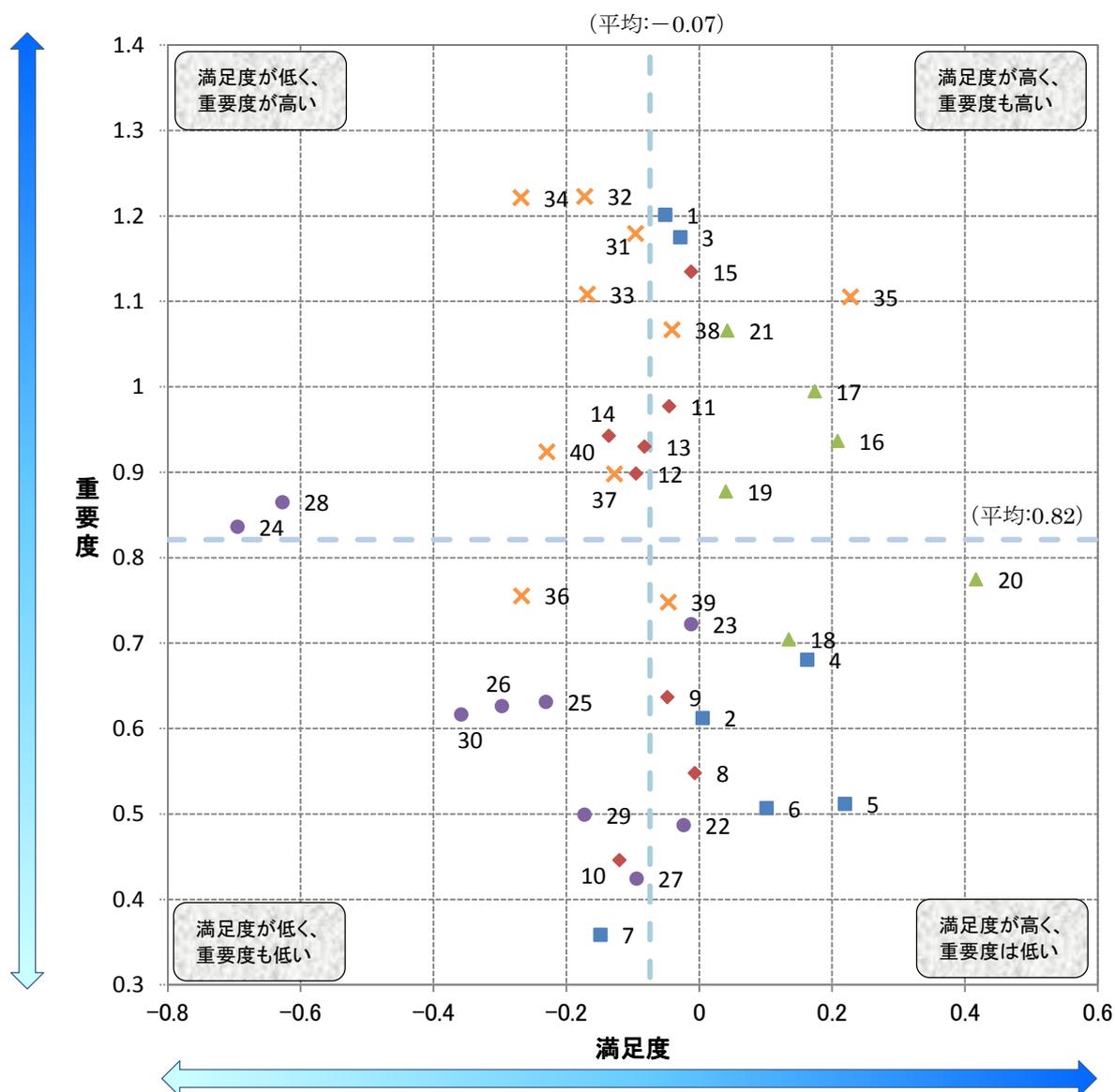


図1 満足度と重要度の相関関係

【分野ごとの傾向】

下図は、前ページに掲載した散布図を、各分野に該当する項目でグループ化したものである。

この図を見ると、「環境・都市基盤」の分野（▲）は満足度が比較的高くなっている。

また、「安全・快適・行政」の分野（×）については、全般的に重要度が高いと回答されている一方、「産業」分野（●）の重要度は他の分野と比較すると低めになっている。

「地域づくり・子育て・福祉」の分野（◆）や「学校教育・生涯学習・交流」の分野（■）は、満足度が平均値に近くなるが、重要度が分野によって大きく異なる結果となっている。

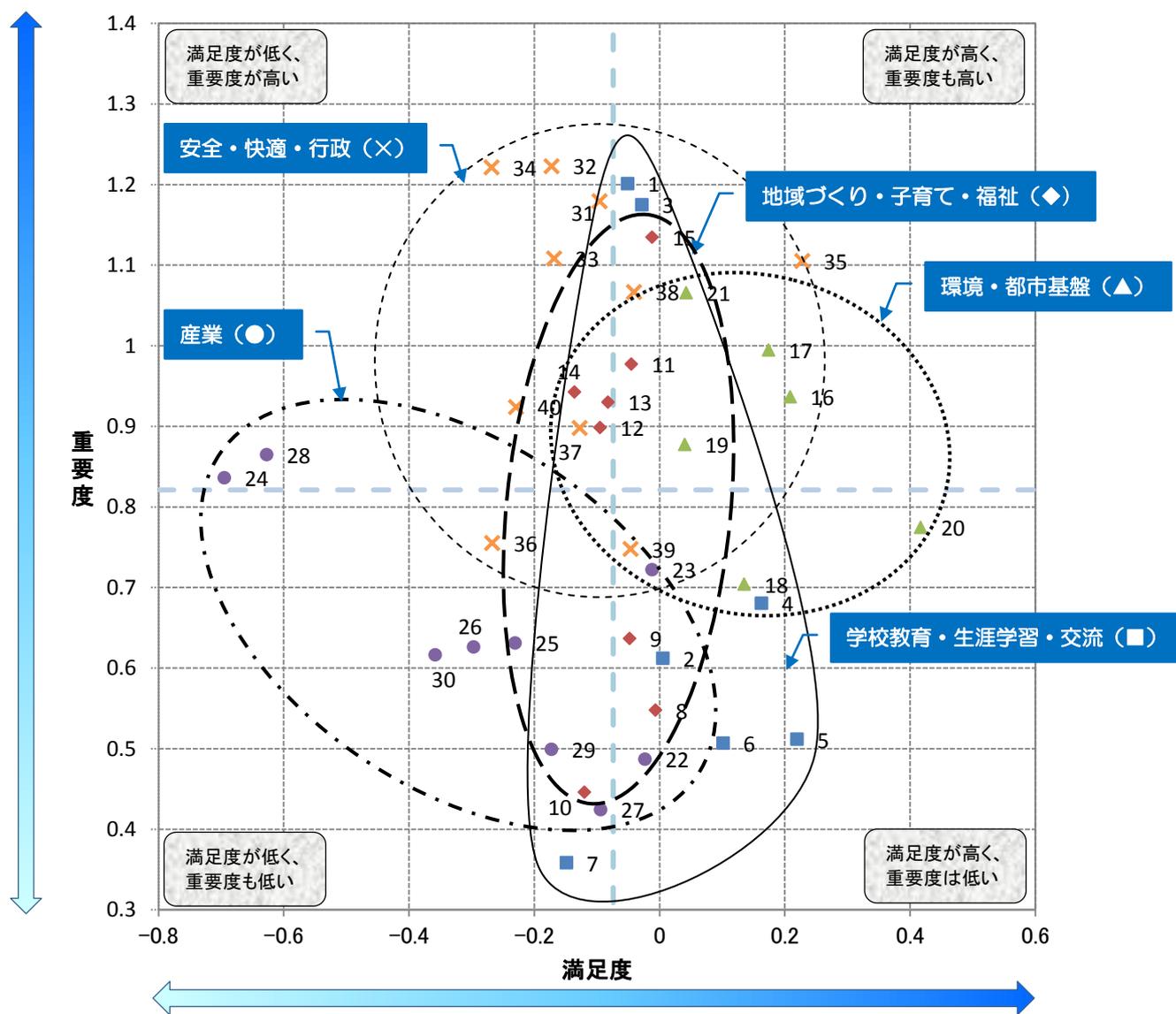


図1 満足度と重要度の相関関係

人口比補正による満足度と重要度の順位の変化

【4】のまちづくりの状況について、満足度と重要度の順位を平塚市の人口比による補正前と補正後と比較した。なお、順位付けは相関を比較するために算出した評価点を用いている。

◆人口比補正による満足度の変化

項目	順位		補正前ー補正後
	人口補正前	人口補正後	
20 総合公園などの大規模な公園や、市民が憩える公園・緑地の整備	1	1	0
35 消防・救急などの体制整備	2	3	-1
5 様々なスポーツやレクリエーションが行える環境	3	2	1
16 海や川、丘陵地の緑などの自然環境の保全	4	4	0
17 地球環境にやさしい地域社会の形成 (省エネルギー・省資源化、ごみの減量、リサイクル、公害防止など)	5	6	-1
4 文化、スポーツなど市民の生涯学習活動の支援や施設の整備	6	5	1
18 花や緑豊かな街並みや景観の形成・保全	7	7	0
6 芸術や文化にふれあい、はぐくむ環境	8	8	0
21 下水道や河川、排水路の整備	9	9	0
19 快適な住環境の整備	10	10	0
2 男女共同参画社会や人権擁護など、自由で平等な地域社会	11	12	-1
8 コミュニティ活動やボランティア活動の充実	12	13	-1
15 保健・医療体制の充実	13	15	-2
23 地産地消の推進、地場産業の振興	14	11	3
22 多様な農産物や農業体験を通じた交流など農業の充実	15	14	1
3 学校教育の充実	16	18	-2
38 建築物の耐震性や道路、橋りょうなどの安全性	17	16	1
11 保育などの子育て環境	18	19	-1
39 公共施設の適正な管理と運営	19	17	2
9 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	20	20	0
1 青少年が心身ともに健全に成長する環境	21	21	0
13 高齢者介護サービスの充実	22	23	-1
27 マリンレジャー・スポーツ、漁業などの海業の充実	23	24	-1
12 高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり	24	22	2
31 日常生活の安全確保(防犯・交通安全対策など)	25	28	-3
10 市民・企業・行政が協働した、市民主体活動の充実	26	25	1
37 市内外への移動がしやすい環境(バス・鉄道・幹線道路・橋など)整備	27	27	0
14 障がいのある人が家庭や地域で安心して生活できる環境づくり	28	26	2
7 国際交流や外国籍市民との交流、国内各都市との交流・協力	29	30	-1
33 防災意識の高揚や災害発生時における地域住民による協力体制	30	32	-2
32 災害時の避難や救援の場の整備	31	31	0
29 消費者保護など、消費生活についての相談体制や学習機会の充実	32	29	3
40 費用と成果のバランスのとれた効率的な行財政運営	33	34	-1
25 企業の集積の推進など工業の充実	34	33	1
36 快適に歩ける中心商店街整備	35	35	0
34 地震や津波などの発生を想定した防災・減災対策	36	36	0
26 新しい産業の育成、起業家や後継者への支援	37	37	0
30 地域の魅力を活かした観光の振興	38	38	0
28 平塚駅周辺のにぎわいの創出に向けたまちづくり	39	39	0
24 魅力ある商店街の推進など商業の充実	40	40	0

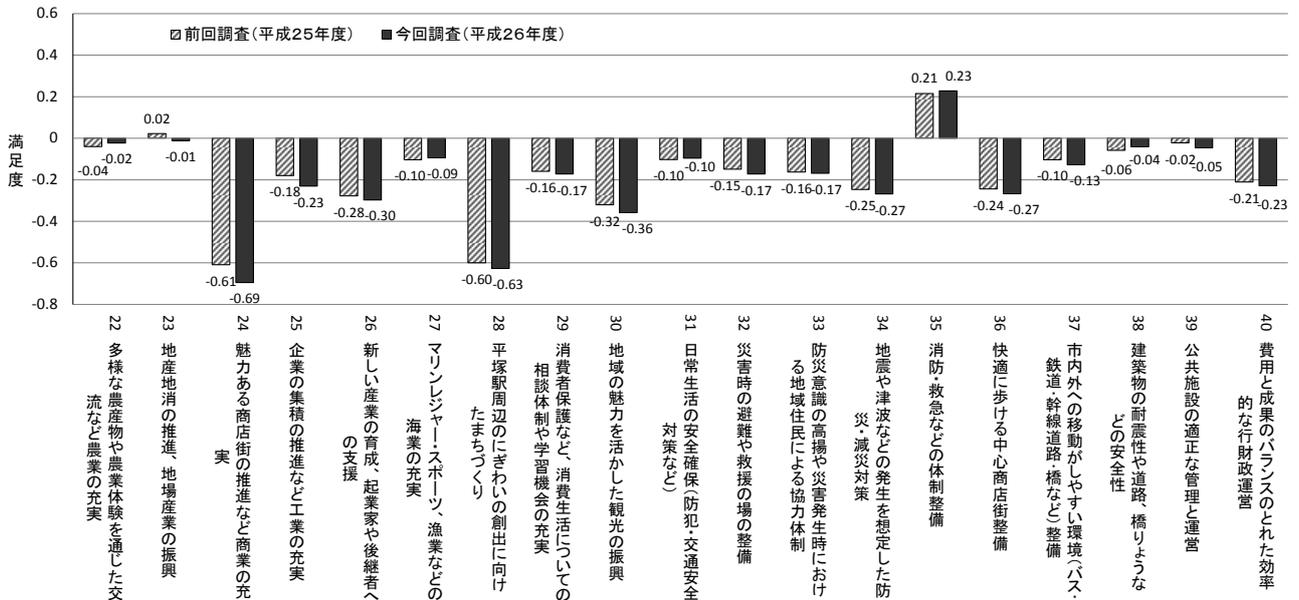
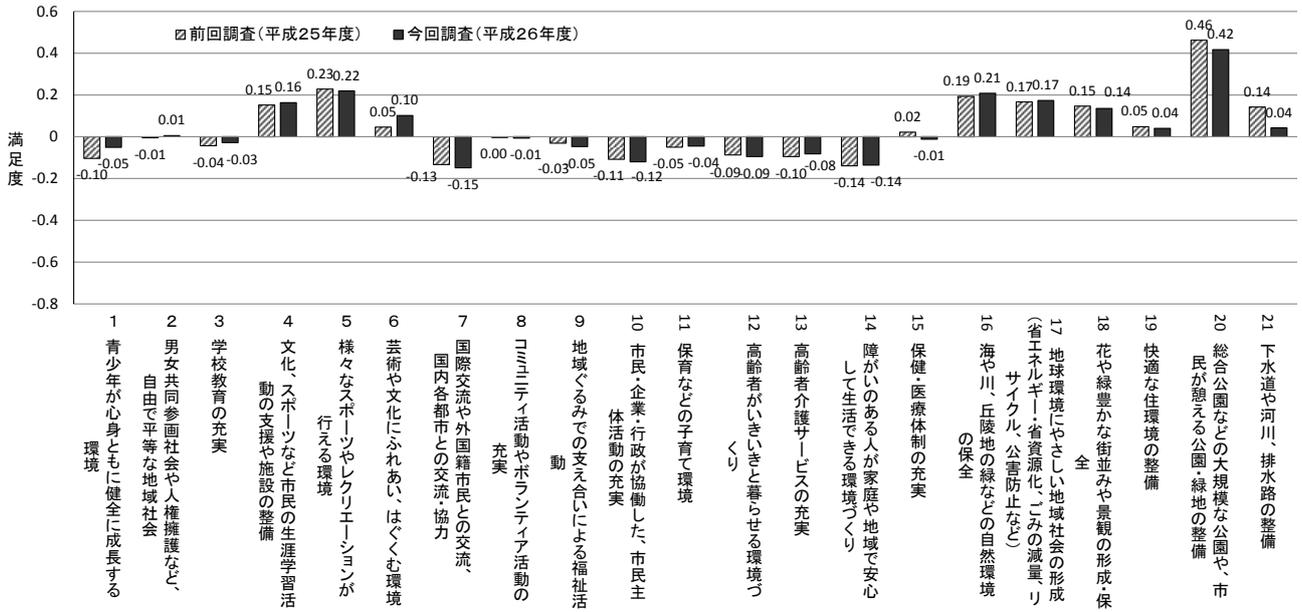
◆人口比補正による重要度の変化

項目	順位		補正前-補正後
	人口補正前	人口補正後	
32 災害時の避難や救援の場の整備	1	1	0
34 地震や津波などの発生を想定した防災・減災対策	2	2	0
1 青少年が心身ともに健全に成長する環境	3	3	0
31 日常生活の安全確保(防犯・交通安全対策など)	4	4	0
3 学校教育の充実	5	5	0
15 保健・医療体制の充実	6	6	0
33 防災意識の高揚や災害発生時における地域住民による協力体制	7	7	0
35 消防・救急などの体制整備	8	8	0
38 建築物の耐震性や道路、橋りょうなどの安全性	9	9	0
21 下水道や河川、排水路の整備	10	10	0
17 地球環境にやさしい地域社会の形成 (省エネルギー・省資源化、ごみの減量、リサイクル、公害防止など)	11	12	-1
11 保育などの子育て環境	12	11	1
14 障がいのある人が家庭や地域で安心して生活できる環境づくり	13	14	-1
16 海や川、丘陵地の緑などの自然環境の保全	14	13	1
13 高齢者介護サービスの充実	15	16	-1
40 費用と成果のバランスのとれた効率的な行財政運営	16	15	1
12 高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり	17	18	-1
37 市内外への移動がしやすい環境(バス・鉄道・幹線道路・橋など)整備	18	17	1
19 快適な住環境の整備	19	19	0
28 平塚駅周辺のにぎわいの創出に向けたまちづくり	20	20	0
24 魅力ある商店街の推進など商業の充実	21	21	0
20 総合公園などの大規模な公園や、市民が憩える公園・緑地の整備	22	22	0
36 快適に歩ける中心商店街整備	23	23	0
39 公共施設の適正な管理と運営	24	24	0
23 地産地消の推進、地場産業の振興	25	25	0
18 花や緑豊かな街並みや景観の形成・保全	26	26	0
4 文化、スポーツなど市民の生涯学習活動の支援や施設の整備	27	27	0
9 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	28	28	0
25 企業の集積の推進など工業の充実	29	30	-1
26 新しい産業の育成、起業家や後継者への支援	30	32	-2
30 地域の魅力を活かした観光の振興	31	29	2
2 男女共同参画社会や人権擁護など、自由で平等な地域社会	32	31	1
8 コミュニティ活動やボランティア活動の充実	33	33	0
5 様々なスポーツやレクリエーションが行える環境	34	35	-1
6 芸術や文化にふれあい、はぐくむ環境	35	37	-2
29 消費者保護など、消費生活についての相談体制や学習機会の充実	36	34	2
22 多様な農産物や農業体験を通じた交流など農業の充実	37	36	1
10 市民・企業・行政が協働した、市民主体活動の充実	38	38	0
27 マリンレジャー・スポーツ、漁業などの海業の充実	39	39	0
7 国際交流や外国籍市民との交流、国内各都市との交流・協力	40	40	0

満足度と重要度の変化

【満足度の傾向】

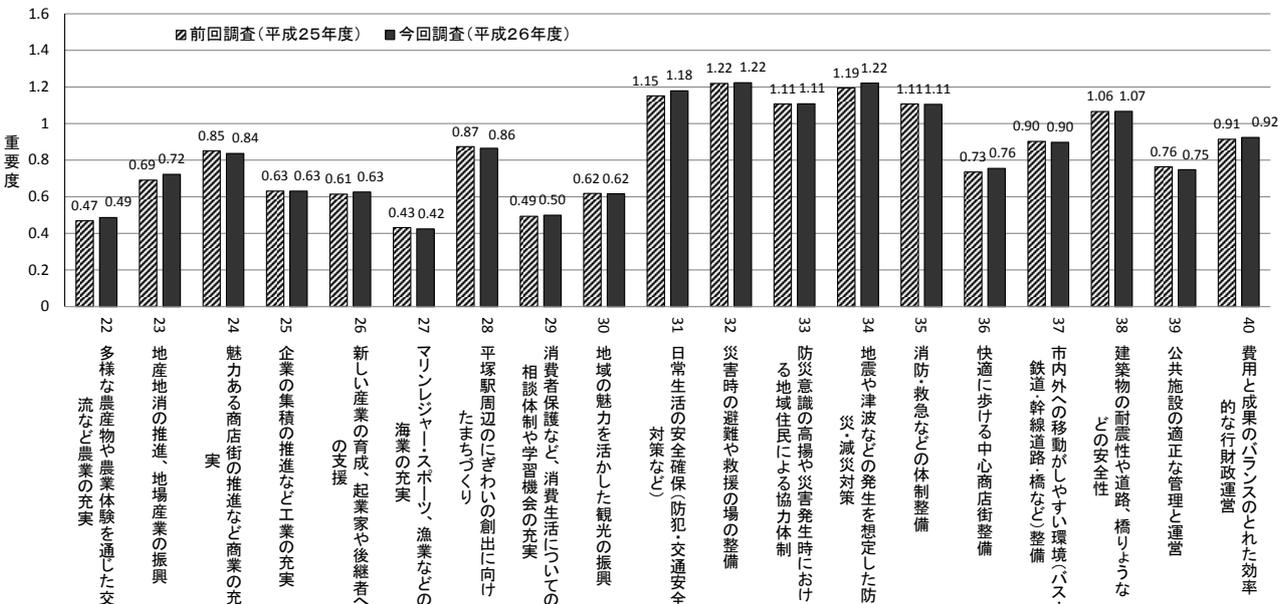
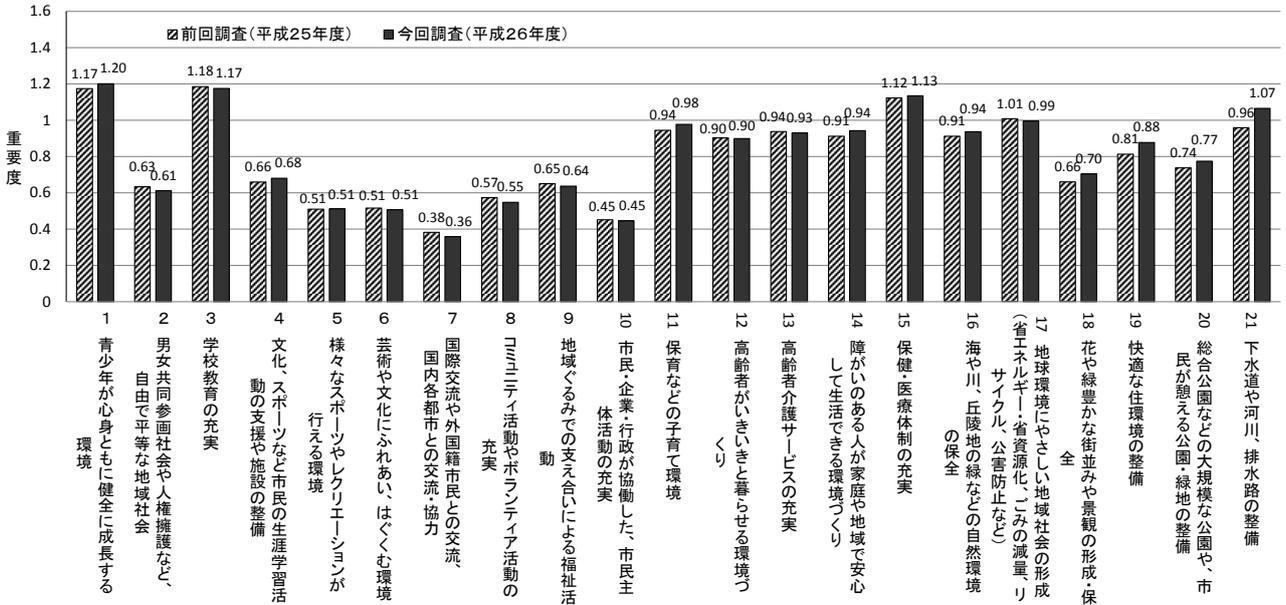
前回調査から最も満足度が高くなった項目は、『1 青少年が心身ともに健全に成長する環境』や『6 芸術や文化にふれあい、はぐくむ環境』で0.05ポイント上昇した。一方、満足度が低下した項目は、『21 下水道や河川、排水路の整備』で0.1ポイント減少した。



【評価点の算出方法は、P.70に示す計算式と同じ】

【重要度の傾向】

前回調査から最も重要度が高くなった項目は、『21 下水道や河川、排水路の整備』で0.11ポイント上昇した。一方、重要度が低下した項目は、『2 男女共同参画社会や人権擁護など、自由で平等な地域社会』や『7 国際交流や外国籍市民との交流、国内各都市との交流・協力』、『8 コミュニティ活動やボランティア活動の充実』で0.02ポイント減少した。



【評価点の算出方法は、P.70に示す計算式と同じ】